Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

ビクタープラズマシステム

型名 **PD-42DT3**
PD-35DT3

⚠ ご使用の前に**安全上のご注意**
（4～10ページ）を必ずお読みください。

DET
Digital Emotional Technology

DD Speaker

DVD Player
S-VHS
Digital
Ga

エ グ ゼ
EXE

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

LCT1157-001D

主な特長

ビクタープラズマシステム（PD-42DT3、PD-35DT3）は、プラズマディスプレイユニット（VM-42DT3、VM-35DT3）、レシーバーユニット（TU-42DT3、TU-35DT3）およびスピーカーユニット（TS-42DT3、TS-35DT3）の3つで構成されています。
ご購入の際は、この3つが別々の梱包となっております。

このビクタープラズマシステムには、当社が開発した独自の高画質技術、高音質技術を搭載しています。

DET
Digital Emotional Technology

DET(Digital Emotional Technology)とは、
現行TV放送からBSデジタル放送のD4フォーマットまで、様々な映像信号をXGA（PD-42DT3）、VGA（PD-35DT3）のハイビジョン画質に変して、キメ細かい高密度な映像を実現できる画像処理技術です。この技術により様々な映像入力を精細感のあるくっきりとした高画質でお楽しみいただけます。

DD Speaker

DD(Direct Drive)スピーカーとは、
当社が長年培ってきた音響技術とコンピュータシミュレーションとの融合により実現された音響デバイスです。
広く自然な音場、リアルな音像定位を実現して、どの視聴位置からでも指定席の臨場感を楽しむことができます。

今の番組を見ながら他のチャンネルの番組を確認できる
裏番組機能
☞54ページ

12番組を一度に表示してチャンネルを選べる
番組一覧機能
☞55ページ

2つの番組やビデオなどを同時に見る
2画面機能
☞52、53ページ

住所やレシピのメモをとりたい
メモ機能（静止画）
☞53ページ

画面の気になるところを拡大
どこでもズーム
☞51ページ

横長画面を生かした5種類の画面サイズ
画面サイズ切換
☞47ページ

映画ソフトを自動的に本来の質感で再現
オートナチュラルシネマ機能
☞56ページ

ボタンひとつで映画に最適な映像設定
映画ボタン
☞56ページ

3つの方法で電気代を節約
おトク設定
☞58、59ページ

BSデジタルチューナーやD-VHSビデオデッキ、DVDプレーヤーをよりきれいに見ることができる
D4端子2系統 コンポーネント入力端子1系統装備
☞77～79ページ

この取扱説明書について
・主にリモコンのボタンを使って説明しています。
・イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。
・イラストは主にPD-42DT3のものを使用しています。外観などはPD-35DT3とは多少異なります。

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

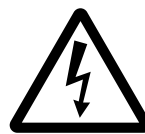


この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

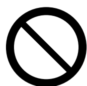
● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号


一般的注意


指をはさまれないように注意


感電注意

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

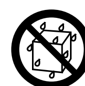

禁止


水場での使用禁止

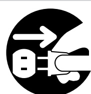

ぬれ手禁止


分解禁止


接触禁止


水ぬれ禁止

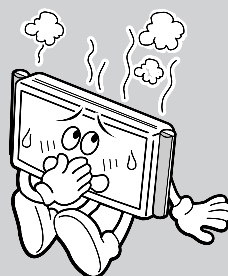
● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号


プラグをコンセントから抜く


警告 万一、次のような異常が発生したときは

●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
●本機の内部に水や物が入ってしまったとき。
●本機を落としたり、キャビネットが破損したとき。

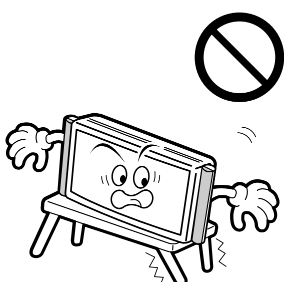
このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



⚠警告 設置するときの警告

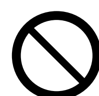
不安定な場所に置かない

本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

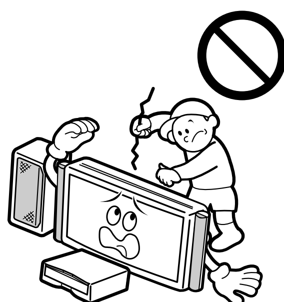
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠警告 使用するときの警告

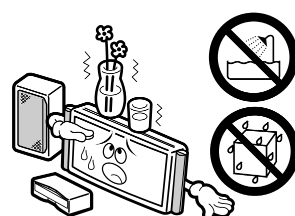
本機内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



本機に水をかけない

屋外や風呂場など水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、本機の上や近くに置かないでください。



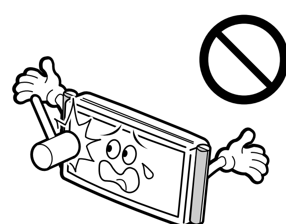
本機の上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



衝撃を与えない

ディスプレイの前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには、絶対に衝撃を加えないでください。

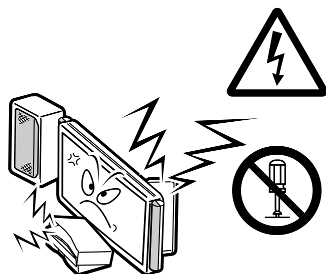


安全上のご注意（つづき）

⚠警告 使用するときの警告

パネルの裏ぶたやレシーバーのカバーは絶対に外さない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



本機を改造しない

火災・感電の原因となります。



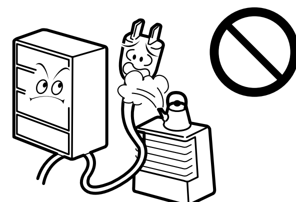
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

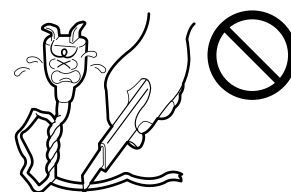


電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。



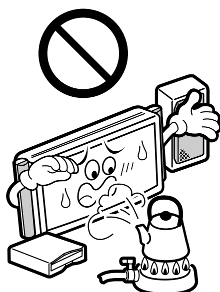
電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



⚠注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

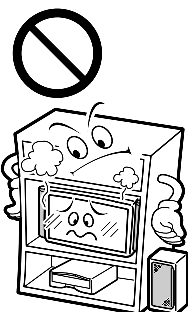
火災・感電の原因となることがあります。



- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやパネルが変質することがあります。

本機の通風孔をふさがない

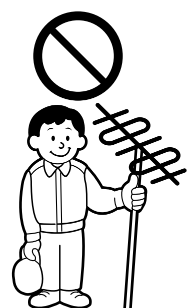
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。



- 壁や家具などから10cm以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

アンテナ工事は販売店に依頼する

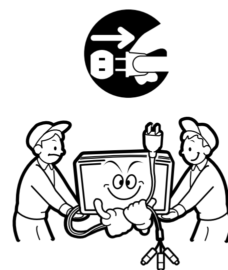
技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。



- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

移動するときは接続コード類をはずす

コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。



また、本機のディスプレイは質量が重く奥行きがなくて不安定なため、開梱や持ち運び、設置は二人以上で行ってください。

キャスター付きAVラックに乗せるときは、キャスターを固定する

キャスター止め(受け皿など)で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。

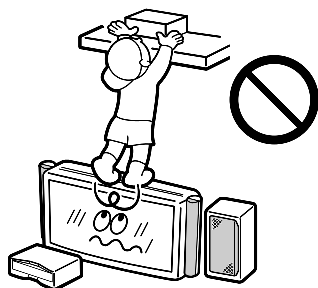


安全上のご注意（つづき）

⚠注意　使用するときの注意

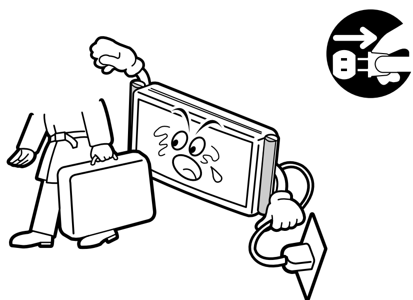
本機に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



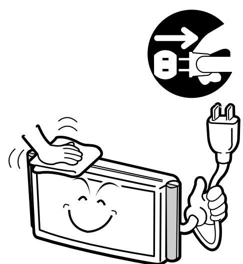
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



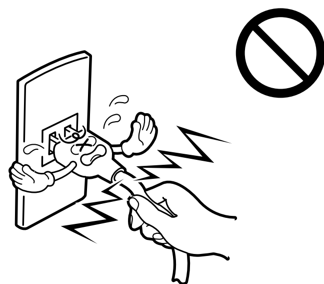
お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

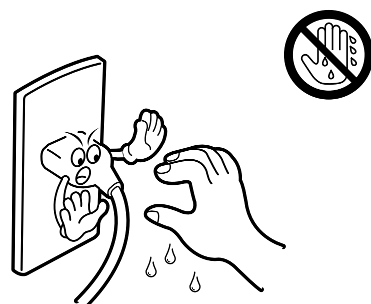


電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



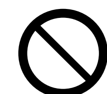
電源プラグのホコリに注意する

電源プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。



音が歪んだ状態で使用しない

長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



注意 その他の注意

1年に1度は本機内部の掃除を販売店に依頼する

内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



乾電池の使いかたに注意する

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

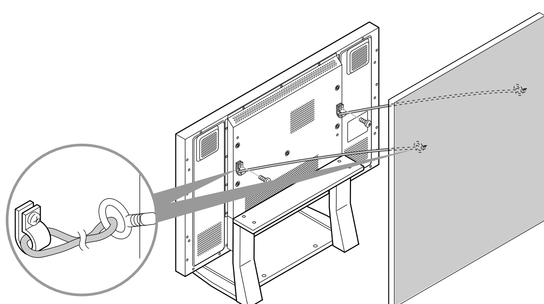


・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
・種類の違う電池を混ぜて使わない
・電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる
・指定された電池以外は使わない

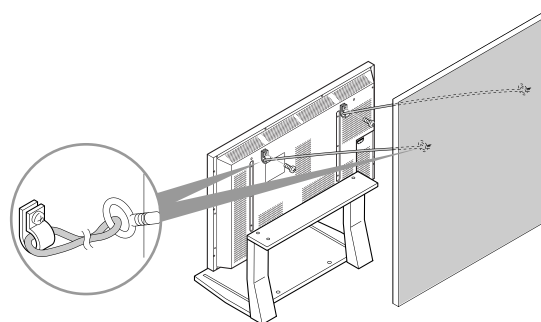
転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。

●ディスプレイ後面に付属のネジを使って付属の転倒防止用フックを取り付けていただき、市販の丈夫なひもなどでネジ、フックをご利用のうえ、本機を壁面や柱など堅牢部に固定してください。



＜ PD-42DT3 ＞



＜ PD-35DT3 ＞

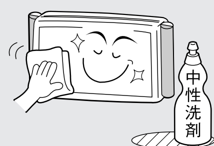
安全上のご注意（つづき）

⚠注意　その他の注意

お手入れのしかた

■ キャビネットやパネルの汚れは

● 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



● キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
- ・シンナーやベンジンでふかない
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

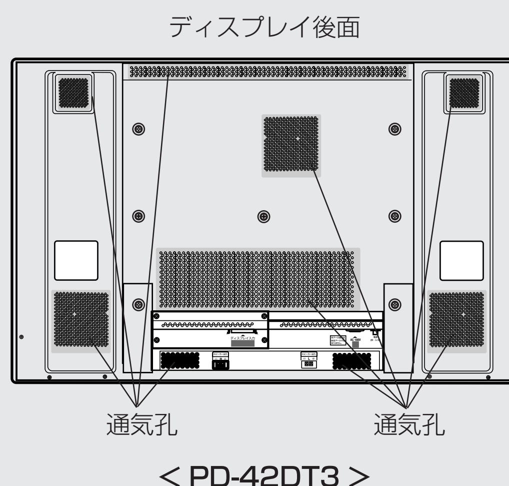


■ スピーカー部のよごれは

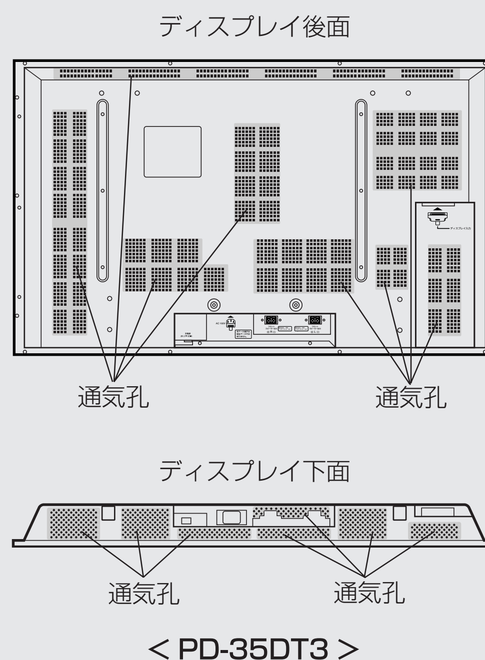
スピーカー部のホコリを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用してください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。やぶれる原因となります。

■ 通気孔に付着したほこりは

ディスプレイ後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障などの原因となることがあります。



< PD-42DT3 >

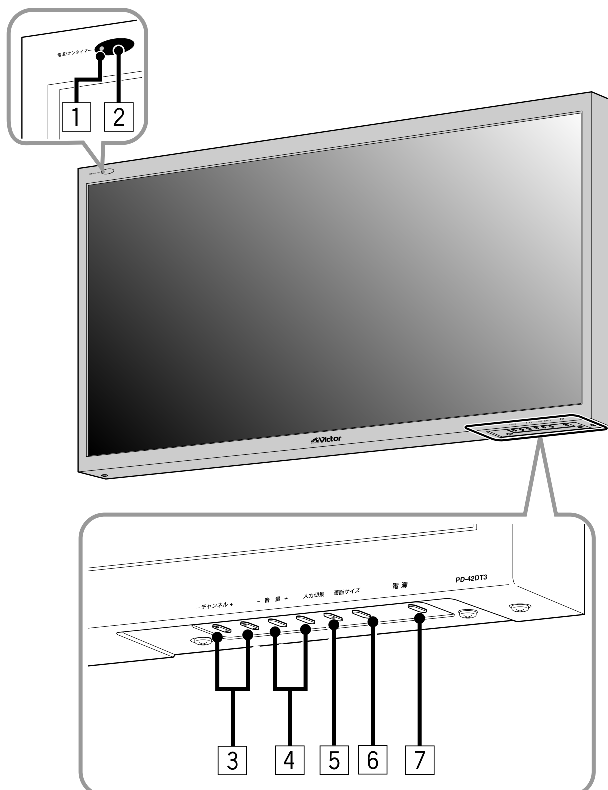


< PD-35DT3 >

各部のなまえ

プラズマディスプレイユニット（VM-42DT3）

前　面



1 **電源/オンタイマーランプ** ☞31、50ページ

本機の電源が「入」のときや、「おはようタイマー」を設定しているときに点灯します。

電源が「入」　　　　　　　　：赤色に点灯します
「おはようタイマー」動作中：緑色に点灯します

2 **リモコン受光部/デジタルE.E.センサー** ☞17、58、60ページ

リモコンを操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。また、省電力機能の「おトク設定」を利用したとき、周囲の明るさを感知する部分です。

3 **チャンネル+/ーボタン** ☞40ページ

チャンネルを順番に変えるときに使います。

4 **音量+/ーボタン** ☞40ページ

音量を調節するときに使います。

5 **入力切換ボタン** ☞41ページ

ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。

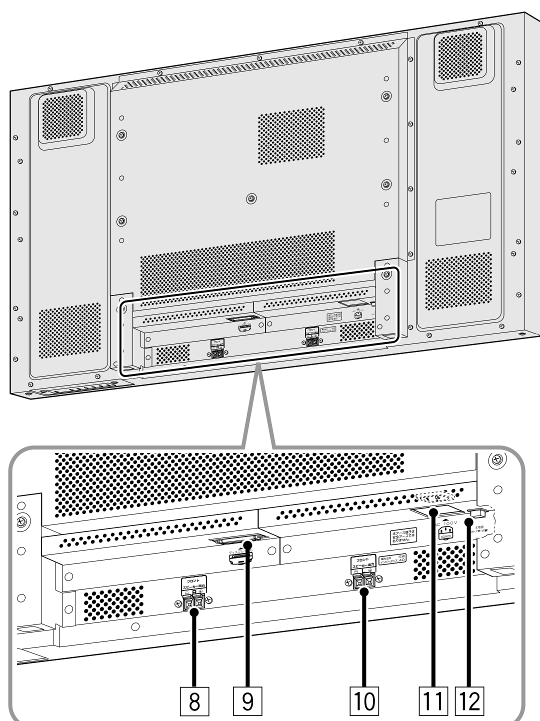
6 **画面サイズボタン** ☞47ページ

画面サイズを変更するときに使います。

7 **電源ボタン** ☞ 31、40ページ

ディスプレイの主電源ボタン12が「入」のときに押すと、ディスプレイとレシーバーの電源を入/切します。電源ボタン「入」で電源ランプが点灯し、ディスプレイと連動したレシーバーの電源も「入」になります。

後　面



8 **スピーカー(R)出力端子** ☞22、23ページ

付属のスピーカーコードでフロントスピーカーの入力端子をつなぎます。

9 **ディスプレイ入力端子** ☞22、23ページ

付属のシステムケーブルでレシーバーのディスプレイ出力端子をつなぎます。

10 **スピーカー(L)出力端子** ☞22、23ページ

付属のスピーカーコードでフロントスピーカーの入力端子をつなぎます。

11 **AC100V電源入力端子** ☞22、23ページ

付属の電源コードをつないで、コンセントに差し込みます。

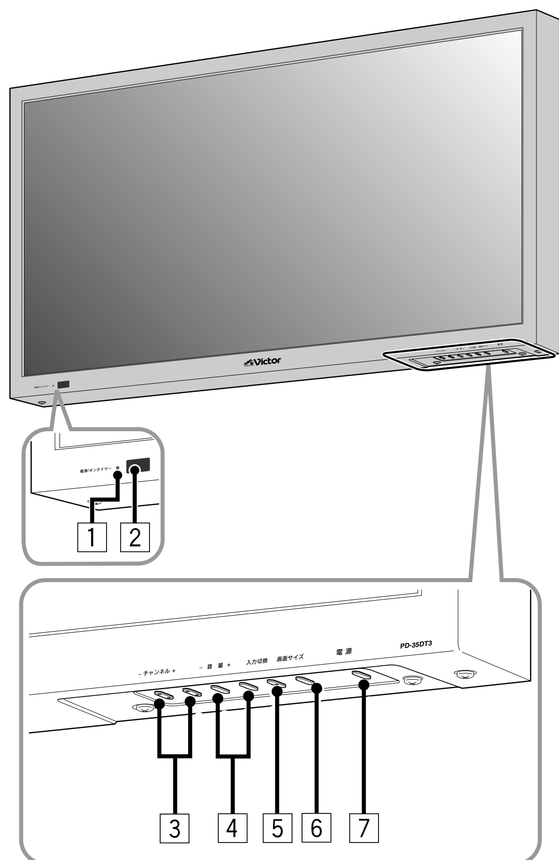
12 **主電源ボタン** ☞ 31ページ

ディスプレイ本体の主電源を入/切します。常時「入」の状態で使用します。主電源ボタンが「入」の状態では電源ランプは点灯しません。

各部のなまえ（つづき）

プラズマディスプレイユニット (VM-35DT3)

前　面



1 電源/オンタイマーランプ ☞31、50ページ

本機の電源が「入」のときや、「おはようタイマー」を設定しているときに点灯します。

電源が「入」　　：赤色に点灯します

「おはようタイマー」動作中：緑色に点灯します

2 リモコン受光部/デジタルE.E.センサー

☞17、58、60ページ

リモコンを操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。また、省電力機能の「おトク設定」を利用したとき、周囲の明るさを感知する部分です。

3 チャンネル+/−ボタン ☞40ページ

チャンネルを順番に変えるときに使います。

4 音量+/−ボタン ☞40ページ

音量を調節するときに使います。

5 入力切換ボタン ☞41ページ

ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。

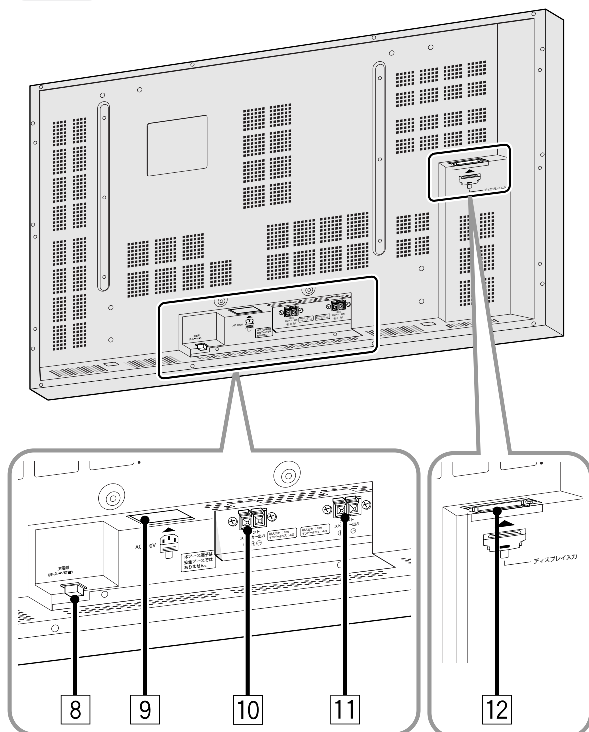
6 画面サイズボタン ☞47ページ

画面サイズを変更するときに使います。

7 電源ボタン ☞ 31、40ページ

ディスプレイの主電源ボタン⑫が「入」のときに押すと、ディスプレイとレシーバーの電源を入/切します。電源ボタン「入」で電源ランプが点灯し、ディスプレイと連動したレシーバーの電源も「入」になります。

後　面



8 主電源ボタン ☞ 31ページ

ディスプレイ本体の主電源を入/切します。常時「入」の状態で使用します。主電源ボタンが「入」の状態では電源ランプは点灯しません。

9 AC100V電源入力端子 ☞24、25ページ

付属の電源コードをつないで、コンセントに差し込みます。

10 スピーカー(R)出力端子 ☞24、25ページ

付属のスピーカーコードでフロントスピーカーの入力端子をつなぎます。

11 スピーカー(L)出力端子 ☞24、25ページ

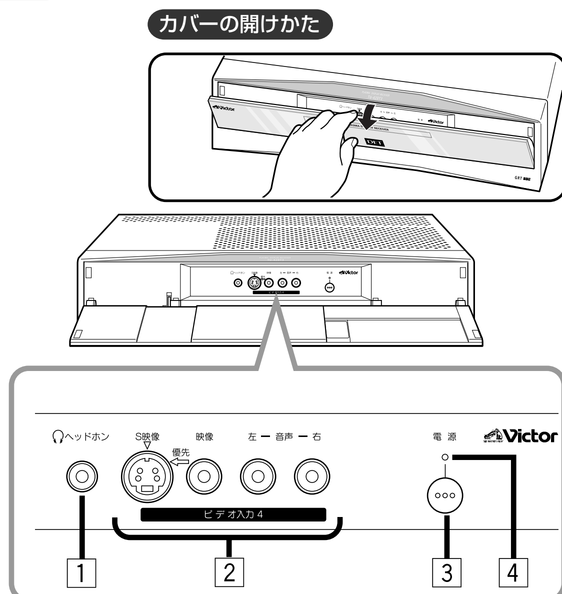
付属のスピーカーコードでフロントスピーカーの入力端子をつなぎます。

12 ディスプレイ入力端子 ☞24、25ページ

付属のシステムケーブルでレシーバーのディスプレイ出力端子をつなぎます。

レシーバーユニット

前面



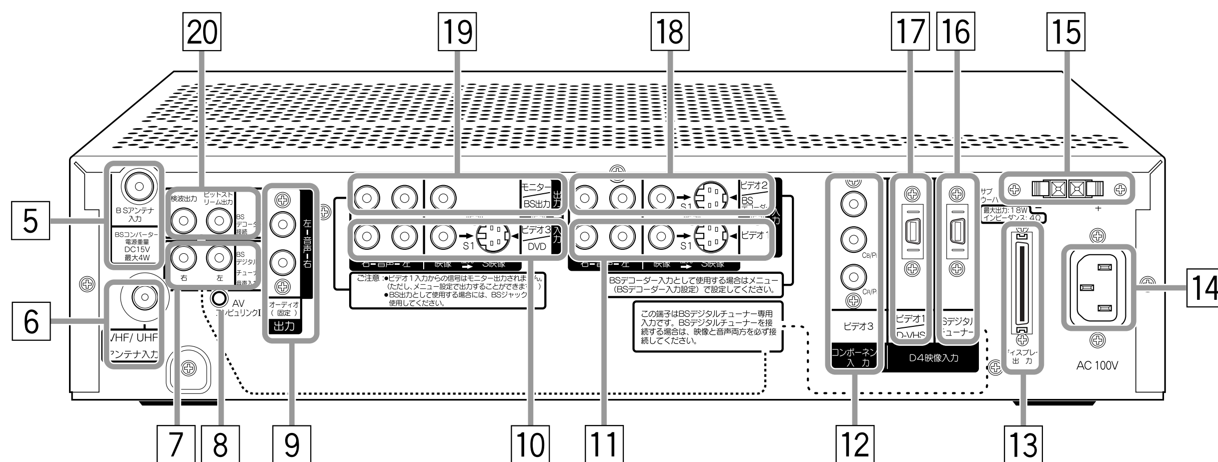
1 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ビデオ入力4端子** ☞74ページ
ビデオカメラやテレビゲーム機の映像･音声出力端子とつなぎます。
（S映像端子と映像端子を同時につないだときは、S映像端子の入力信号が優先されます）

3 **電源ボタン** ☞ 31、40ページ
レシーバーとディスプレイの電源を入/切します。

4 **電源ランプ** ☞ 31、40ページ
電源が「入」のとき点灯します。

後面



5 **BSアンテナ入力端子** ☞26～28ページ
BSアンテナをつなぎます。

6 **VHF/UHFアンテナ入力端子** ☞26～28ページ
VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

7 **BSデジタルチューナー音声入力端子** ☞78ページ
16の端子に接続した機器の音声出力端子をつなぎます。

8 **AVコンピュリンクⅢ端子** ☞81ページ
AVコンピュリンク対応の機器をつなぎます。

9 **オーディオ出力（固定）端子** ☞80ページ
AVアンプなどの音声入力端子をつなぎます。

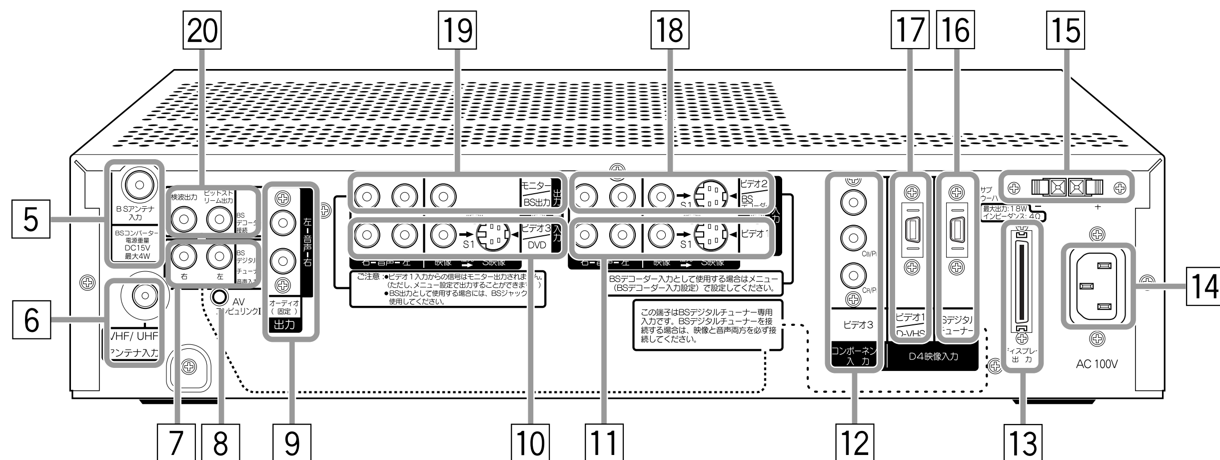
10 **ビデオ3/DVD入力端子** ☞77ページ
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像･音声出力端子をつなぎます。
（S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます）

11 **ビデオ1入力端子** ☞29、76、79ページ
ビデオデッキなどの映像･音声出力端子をつなぎます。
（S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます）

各部のなまえ（つづき）

レシーバーユニット

後　面



12 ビデオ3:コンポーネント入力端子

☞77ページ

DVDなどのコンポーネント出力端子を持った機器をつなぎます。

- コンポーネント入力端子に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力端子に入力されたS映像や映像信号より優先されます。

13 ディスプレイ出力端子 ☞22〜25ページ

付属のシステムケーブルでディスプレイのディスプレイ入力端子をつなぎます。

14 AC100V入力端子 ☞22〜25ページ

付属の電源コードをつないで、コンセントに差し込みます。

15 サブウーハー出力端子 ☞22〜25ページ

付属のスピーカーコードでサブウーハーをつなぎます。

16 BSデジタルチューナー:D4映像入力端子

☞78ページ

BSデジタルチューナーのD映像出力端子をつなぎます。

17 ビデオ1/D-VHS:D4映像入力端子

☞79ページ

D-VHSビデオデッキなどのD端子をもった機器をつなぎます。

- D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ1入力に入力されたS映像信号や映像信号より優先されます。

18 ビデオ2/BSデコーダー入力端子

☞75、76ページ

ビデオデッキまたはBSデコーダーの映像･音声出力端子をつなぎます。

- メニューの設定により、ビデオ2入力端子か、BSデコーダー入力端子かを選ぶことができます。
  （S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます）

19 モニター/BS出力端子 ☞29、79ページ

テレビに映っている映像･音声を出力したり（モニター）、BS放送の映像･音声を出力します。

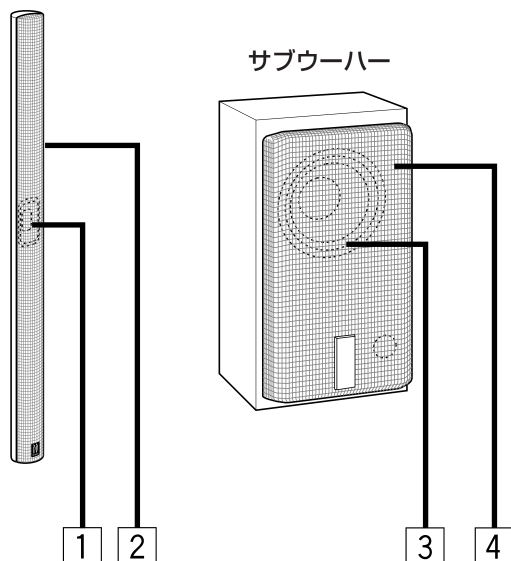
- BSジャックの設定で、この端子をモニター出力端子か、BS出力端子かを決めることができます。（☞64ページ）
- D4映像入力（ビデオ1/D-VHS、BSデジタルチューナー）端子、コンポーネント入力端子（ビデオ3）から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- 番組一覧中は、モニター出力端子からは出力されません。

20 BSデコーダー接続端子 ☞75、76ページ

BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子へつなぎます。

スピーカーユニット

前　面



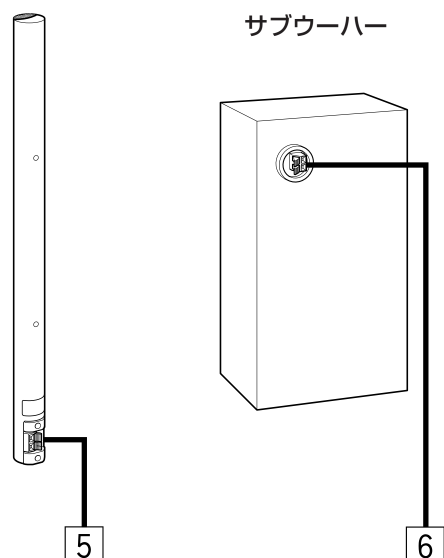
1 **スピーカー**

2 **サランネット**
スピーカー保護用のネットです。

3 **スピーカー**

4 **サランネット**
スピーカー保護用のネットです。

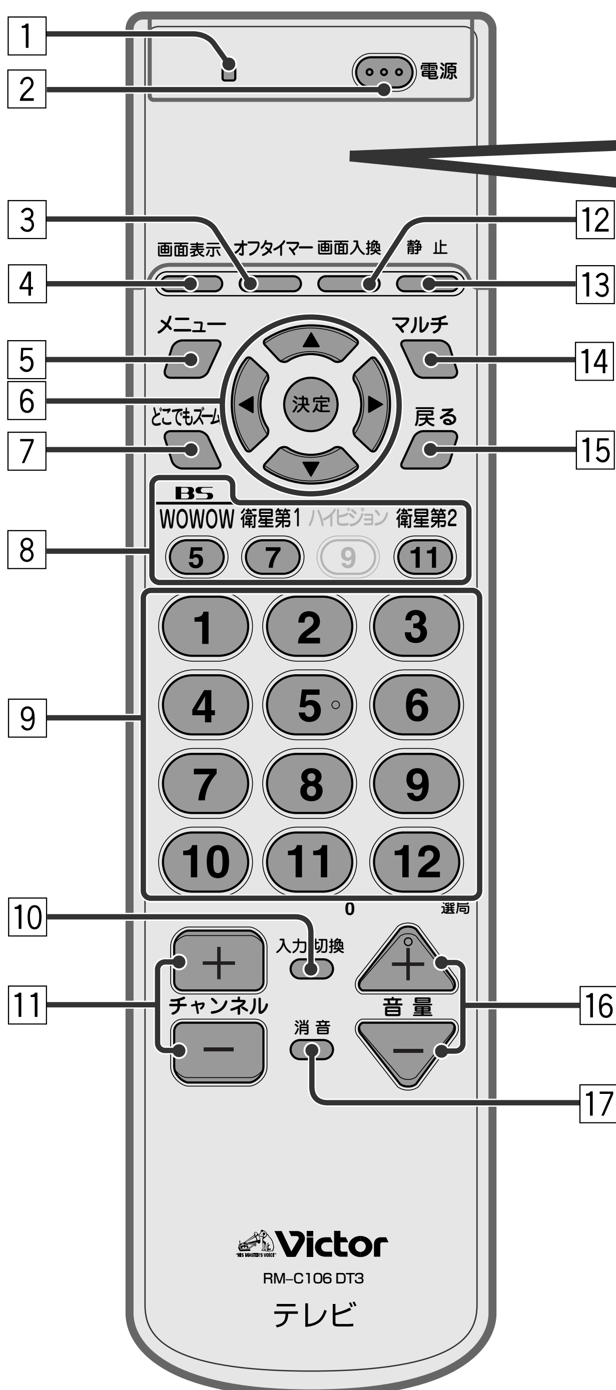
後　面



5 **スピーカー入力端子** ☞22～25ページ
付属のスピーカーコード（フロント用）を使って、ディスプレイのスピーカー出力端子をつなぎます。

6 **スピーカー入力端子** ☞22～25ページ
付属のスピーカーコード（ウーハー用）を使って、レシーバーのサブウーハー出力端子をつなぎます。

リモコン



1 **操作ランプ**
リモコンを操作すると点滅します。
ランプが暗くなったり、操作がしにくくなったら、電池を交換してください。

2 **電源ボタン** ☞31、40ページ
電源を入/切します。

3 **オフタイマーボタン** ☞49ページ
一定時間後に電源を切りたいときに使います。

4 **画面表示ボタン** ☞41ページ
チャンネル番号やビデオ入力番号などを画面に表示させたいときに使います。

5 **メニューボタン**
押すとメニューが表示されます。

6 **カーソル（◄/►/▼/▲）ボタン**
メニューの項目を選ぶときや設定を変えるときに使います。

決定ボタン
選んだ項目や設定を決定するときに使います。

7 **どこでもズームボタン** ☞51ページ
画面の好きな部分を拡大するときに使います。

8 **BSチャンネルボタン** ☞40ページ
BS放送のチャンネルを選ぶときに使います。
● **BS9（ハイビジョン）ボタンを押してもハイビジョン放送は映りません。**

9 **チャンネル数字ボタン** ☞40ページ
VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。
また設定中に番号を入力するときにも使います。

10 **入力切換ボタン** ☞41ページ
接続しているAV機器の映像を見るときに使います。

11 **チャンネル+/−ボタン** ☞40ページ
チャンネルを順番に選ぶときに使います。

12 **画面入換ボタン** ☞53ページ
2画面表示中、左右の画面を入れ換えるときに使います。

13 **静止ボタン** ☞53ページ
押すと2画面に切り換わり、右画面が静止画になります。

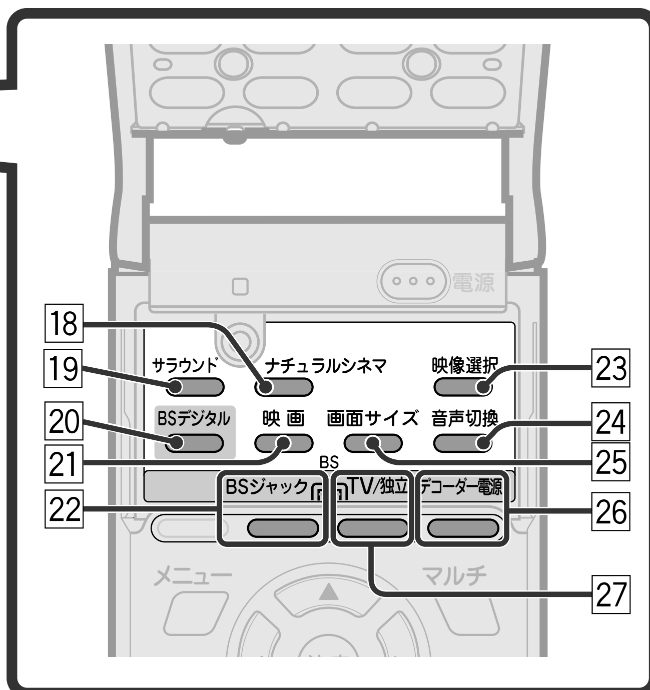
14 **マルチボタン** ☞52、54、55ページ
押すとマルチ画面（2画面、裏番組、番組一覧）を選ぶ画面（アイコン）が表示されます。

15 **戻るボタン**
前のメニュー画面に戻りたいときに押します。

16 **音量+/−ボタン** ☞40ページ
音量を調節するときに使います。

17 **消音ボタン** ☞41ページ
一時的に音を消すときに使います。もう1度押すと元の音量に戻ります。

ふたの中



18 **ナチュラルシネマボタン** ☞56ページ
ナチュラルシネマの設定を変えるときに使います。

19 **サラウンドボタン** ☞57ページ
ステレオサラウンド／モノラルサラウンドの状態を切り換えるときに使います。

20 **BSデジタルボタン** ☞41、78ページ
BSデジタルチューナー入力に切り換えるときに使います。（BSデジタルチューナーを接続しているときのみ）

21 **映画ボタン** ☞56ページ
映画に最適な映像設定にするときに使います。

22 **BSジャックボタン** ☞64ページ
BS放送を録画中、BS放送のチャンネルが切り換わらないようにするときに使います。

23 **映像選択ボタン** ☞42ページ
画質を切り換えるときに使います。

24 **音声切換ボタン** ☞45ページ
二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。

25 **画面サイズボタン** ☞47ページ
画面サイズを切り換えるときに使います。

26 **デコーダー電源ボタン** ☞75、76ページ
BSデコーダーの電源を入/切します。

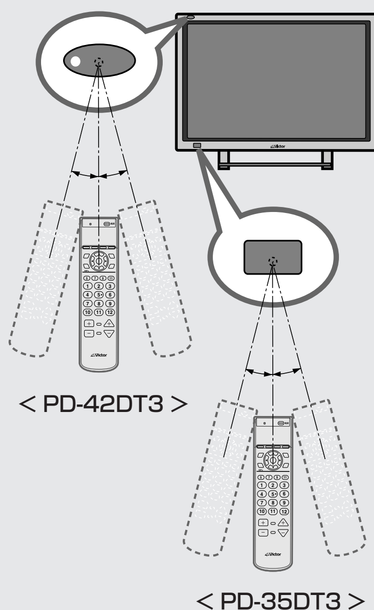
27 **TV/独立ボタン** ☞45ページ
BS放送のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

リモコンの使いかた

■ リモコンの操作可能範囲は

ディスプレイのリモコン受光部に向けてボタンを操作してください。
リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部の正面から約7m以内、左右30度以内で操作してください。

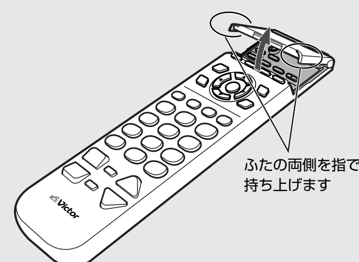
- リモコン受光部やリモコンの発信部に明るい光があたっていたり、途中に障害物があって信号をさえぎられていると動作しません。
- リモコンの操作は、ゆっくりと確実に行ってください。



< PD-42DT3 >

< PD-35DT3 >

■ ふたの開けかた



- **ふたを閉めるときは**
「カチッ」と音がするまで閉めてください。
ふたが閉まっていないと、ボタンが正しく働かないことがあります。

準備の進めかた

テレビを見る前に、次の手順で準備を進めてください。

手順	内容	参照
手順 1	梱包内容を確かめる	☞19 ページ



手順	内容	参照
手順 2	本機を設置する	☞20 ～ 25 ページ



手順	内容	参照
手順 3	アンテナをつなぐ	☞26、27 ページ



手順	内容	参照
手順 4	ビデオデッキをつなぐ	☞28、29 ページ

AV 機器を接続するときは、74 ～ 82 ページをお読みください。



手順	内容	参照
手順 5	電源を入れる用意をする	☞30、31 ページ



手順	内容	参照
手順 6	チャンネルを合わせる	☞32 ～ 37 ページ

CATV をご覧になる方は、68 ページの「CATV チャンネルを設定する」で設定してください。



手順	内容	参照
手順 7	時計を合わせる	☞38 ページ



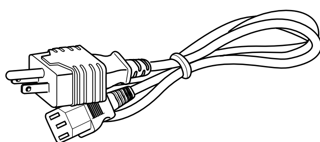
以上で準備は完了します

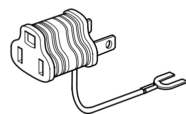
手順1
梱包内容を確かめる

本機は、次の3つの箱に分けて梱包されています。
付属品などを確認してください。付属品などで不足しているものがありましたら、お手数でもお買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。

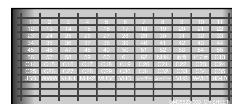
プラズマディスプレイニット

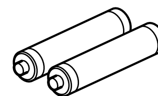

ディスプレイ

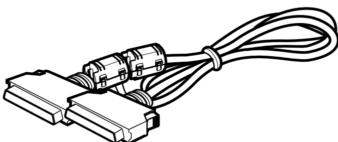

電源コード

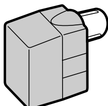

3極-2極変換プラグ

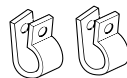

リモコン
(RM-C106)


局名シール


単3形乾電池
(動作確認用)


システムケーブル

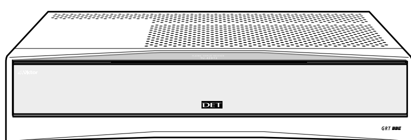

アンテナコネクター

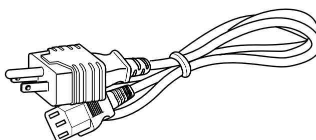

転倒防止用
フック(2 個)

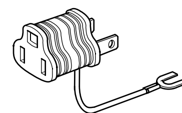

取付けねじ
(2本)

その他の印刷物
取扱説明書
保証書

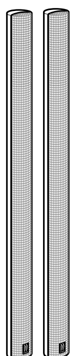
レシーバーユニット

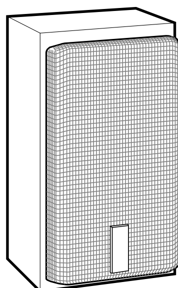

レシーバー

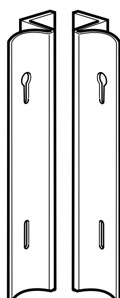

電源コード

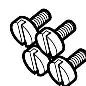

3極-2極変換プラグ

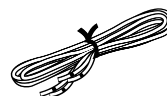
スピーカーユニット

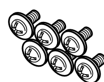

フロントスピーカー(L､R)

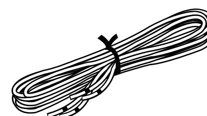

サブウーハー

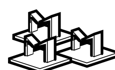

取付け金具(2個)

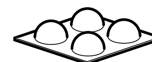

スピーカー取付け
ねじ(4本)


スピーカーコード
(フロント用)
(約1m×2束)


取付け金具ねじ
(6本)


スピーカーコード
(ウーハー用)
(約3m×1束)


コードクランプ
(3個)


サブウーハー用ゴム足
(4個)

手順2
本機を設置する

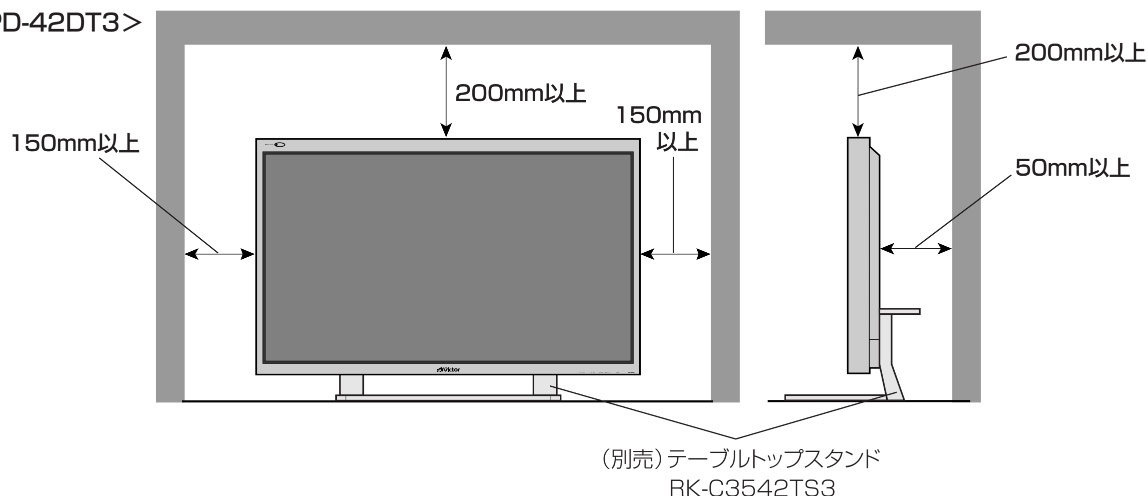
ディスプレイ、レシーバーを設置する

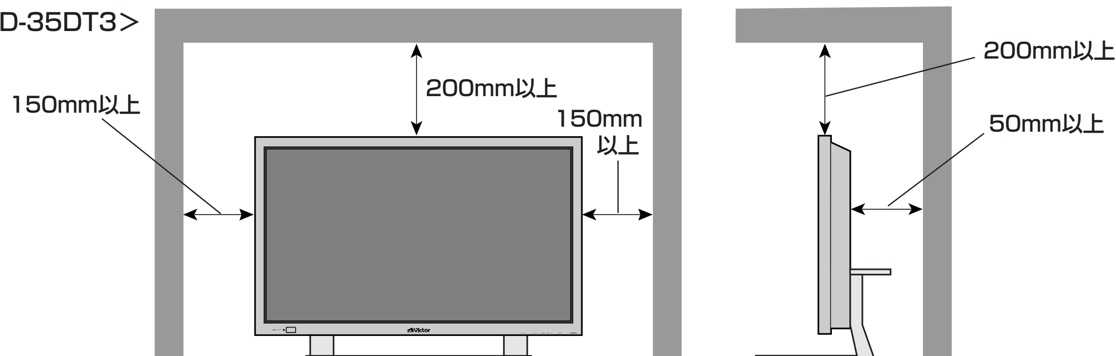
本機には設置用のスタンドが付属していません。
ディスプレイを設置の際は、専用のスタンドや壁掛け金具をご使用ください。
専用スタンドをご使用のときは、スタンドの取付説明書をご覧ください。また、壁に掛けてご使用になるときの設置、据え付けは工事専門業者に依頼してください。

設置するときの注意点

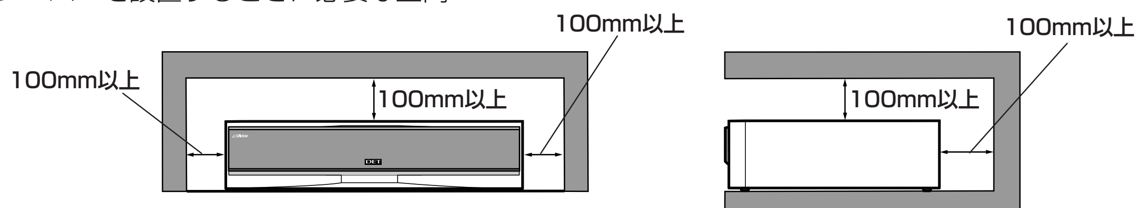
- ディスプレイを左右および背面方向へ傾けないでください。
- 電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配置してください。
- 設置場所によっては、周囲の影響を受け、正しくリモコン操作ができないことがあります。影響のでない場所に設置してください。
- ディスプレイにフロントスピーカーを取り付けた後で、ディスプレイを持ち運び、設置するときは、フロントスピーカーを持たずに、ディスプレイ本体を持ってください。
- 据え付け場所の周囲温度は、0℃～40℃の範囲で使用してください。
- 放熱をよくするため周囲には下図の**空間距離（最低距離）**を保つようにしてください。
  本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

ディスプレイを設置するときに必要な空間





レシーバーを設置するときに必要な空間



フロントスピーカー、サブウーハーの取付け・設置をする

フロントスピーカーの取付け・設置

■ フロントスピーカーの 取付け

付属の取付け金具を使って、スピーカーをディスプレイの左右に取り付けます。
取り付けられるスピーカーは、ビクター製のD.Dスピーカーセットに限られます。

1. フロントスピーカーにねじを取り付ける

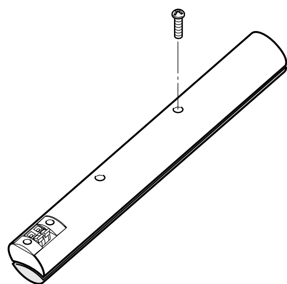
フロントスピーカーにスピーカー取付けねじ(1本)を完全にしめずに3mmくらい残して取り付けます。

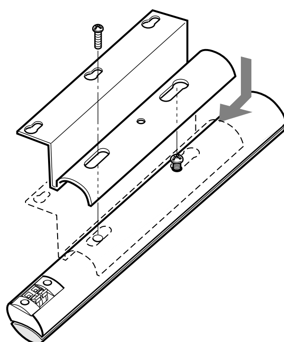
2. フロントスピーカーに取付け金具を取り付ける

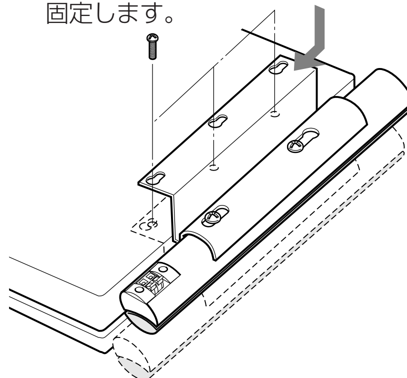
取付け金具のねじ穴に、手順1で取り付けたねじを通し、スライドさせます。
次に下側のスピーカー取付けねじ(1本)を取り付けてから、マイナスドライバーを使って2本のねじをしめて金具を固定します。

3. フロントスピーカーをパネル後面に取り付ける

パネル後面に、ねじ(3本)を3mmくらい残して取り付け、次にスピーカー取付け金具をねじ穴を通して取り付け、スライドさせます。
取り付けられたら、プラスドライバーを使って3本のねじをしめて固定します。







■ フロントスピーカーの設置

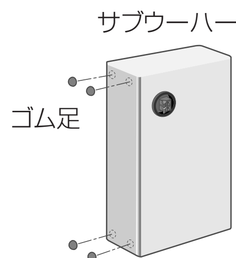
専用のスピーカースタンド（別売：TS-42SS1)で設置する対応もしています。
スピーカースタンドで設置の際は、スピーカースタンドの取扱説明書をお読みください。

- フロントスピーカーは防磁型ではありません。
  設置するときは、フロントスピーカーの近くにビデオテープなど磁力に弱いものを置かないでください。

サブウーハーの設置

■ サブウーハー用ゴム足の取付け

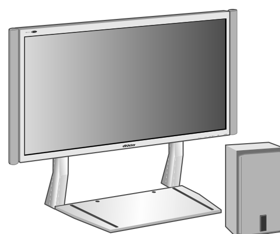
サブウーハー用にゴム足(4個)が付属しています。
床面に置くときなど不必要な共振音を防いだり、すべり止めとして使います。また、スピーカーコードの保護にもなります。
ゴム足のシールをはがして、サブウーハー底面の4隅に取り付けてください。



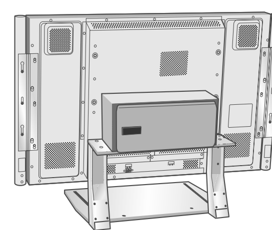
■ サブウーハーの設置

サブウーハーは、縦置きにも横置きにも対応しています。

- サブウーハーは防磁型ではありません。また、振動しますので設置のときは、ビデオデッキなどの機器や震動、磁気の影響を受けるものには近づけないでください。



（設置例）



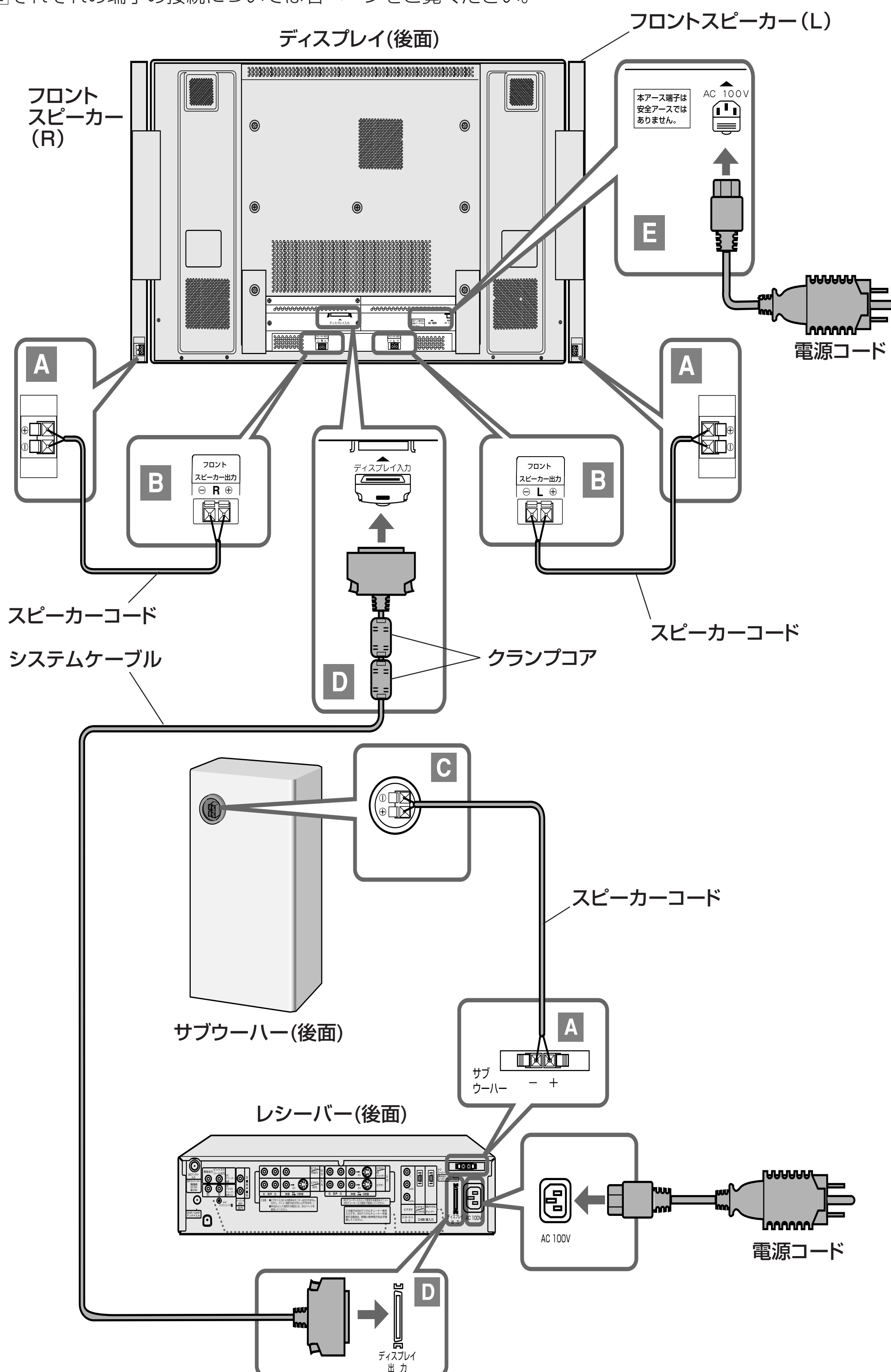
（設置例）サブウーハーを専用スタンドにのせたとき
別売の専用スタンド
RK-C3542FT3、RK-C3542TS3
の組立説明書をお読みください。

本機の接続のしかた (PD-42DT3)

レシーバーにディスプレイとフロントスピーカー、サブウーハーを接続する

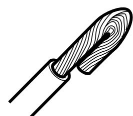
端子によって接続のしかたが異なります。

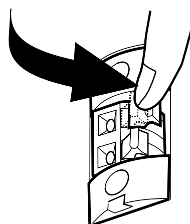
A～Eそれぞれの端子の接続については右ページをご覧ください。

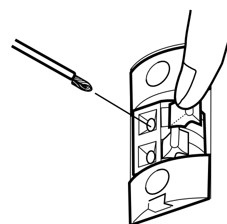


A

1. コード芯線を下図のように2つに曲げる。
2. スピーカーの入力端子のレバー（ばね式）を矢印の方向へ押す。
3. コード芯線を端子に差し込み、レバーをはなして固定する。



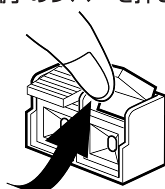


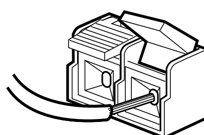


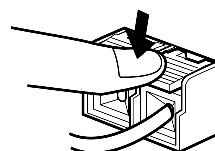
- 付属のスピーカーコードと本機を接続する際は、スピーカーコードの先端を２つに曲げないとショートするおそれがあります。
- 黒い線が入っている方のコードを ⊖ 側へつないでください。
- スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。

B

1. ディスプレイ部のスピーカー出力端子のレバーを押し上げる。
2. コード芯線を端子に差し込む。
3. 端子のレバーを矢印の方向へたおして固定する。



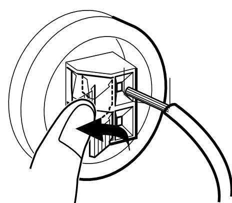


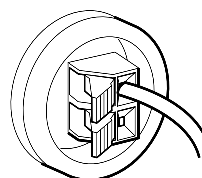


- 黒い線が入っている方のコードを ⊖ 側へつないでください。
- スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。

C

1. サブウーハーのスピーカー入力端子のレバー（ばね式）を矢印の方向へ押す。
2. コード芯線を端子に差し込み、レバーをはなして固定する。

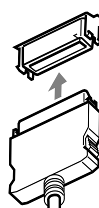




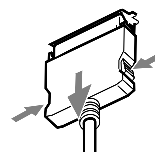
- 黒い線が入っている方のコードを ⊖ 側へつないでください。
- スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。

D

取付けるとき:
コネクターの形を合わせて矢印の方向へカチッと音がして、ロックされるまでしっかり差し込みます。



取り外すとき:
両端のロック機構解除ボタンを押しながら、矢印の方向へ引き抜きます。

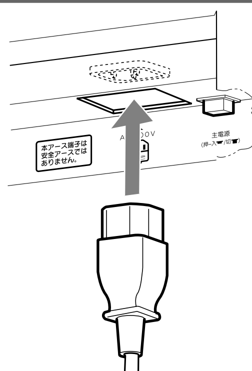


- クランプコアがついている方をディスプレイ側に取り付けてください。

E

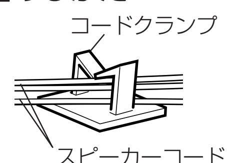
ディスプレイのAC 100V電源入力端子について

電源入力端子は、ディスプレイ内部にあります。位置を確認して、矢印の方向へしっかり差し込んでください。



スピーカーコードの処理のしかた

接続したスピーカーコードを付属のコードクランプを使って右図のように束ねると、すっきりとうまくまとめることができます。



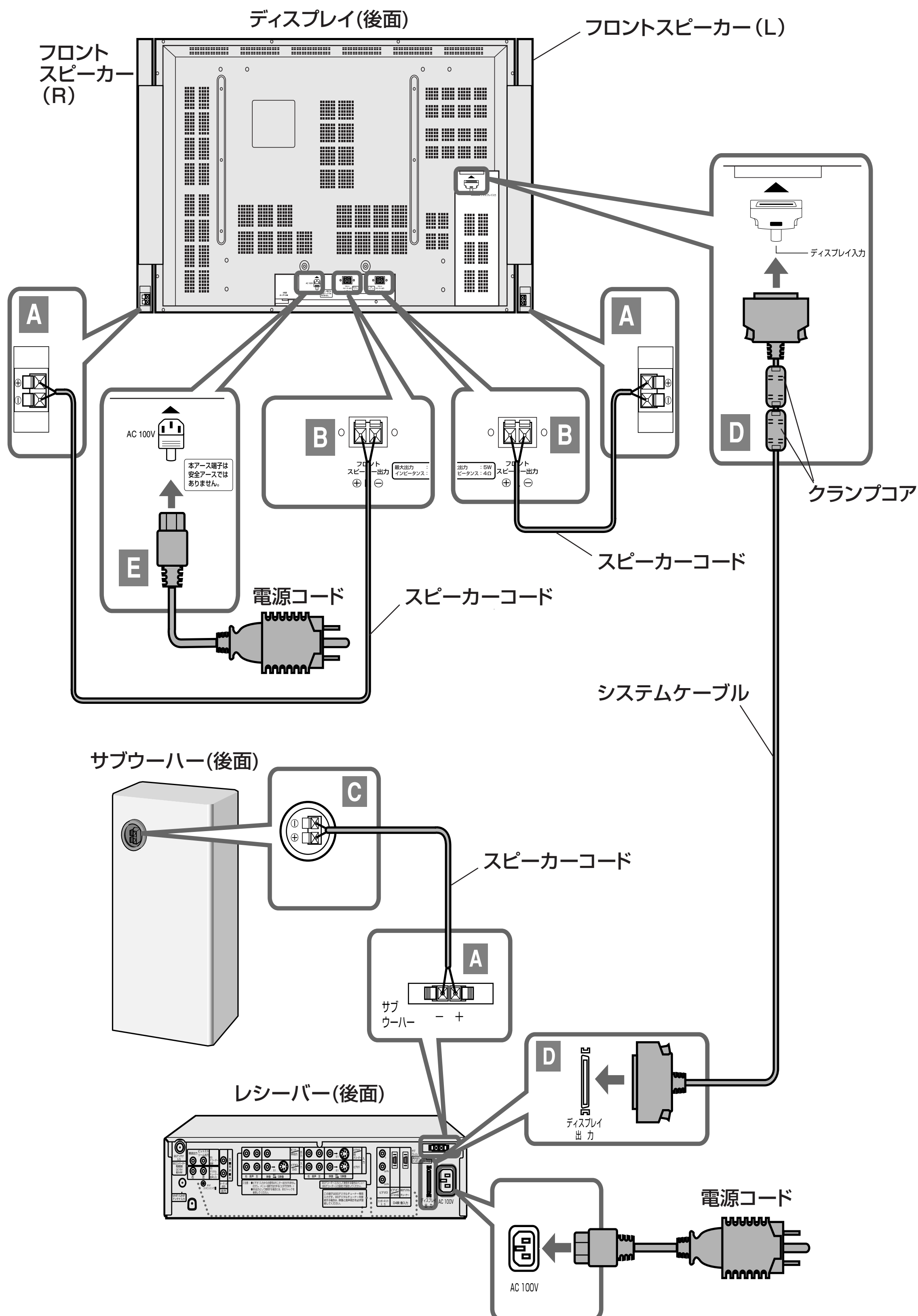
- コードクランプのシールをはがして取り付けてください。時間をおいてからスピーカーコードを束ねてください。はがれてしまいます。
- ディスプレイ後面に取り付けるときは、通気孔の上には、はらないでください。

本機の接続のしかた (PD-35DT3)

レシーバーにディスプレイとフロントスピーカー、サブウーハーを接続する

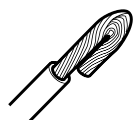
端子によって接続のしかたが異なります。

A～Eそれぞれの端子の接続については右ページをご覧ください。

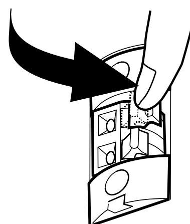


A

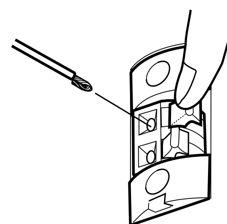
1. コード芯線を下図のように2つに曲げる。



2. スピーカーの入力端子のレバー（ばね式）を矢印の方向へ押す。



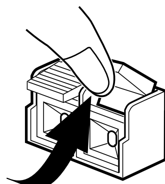
3. コード芯線を端子に差し込み、レバーをはなして固定する。



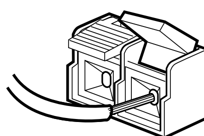
- 付属のスピーカーコードと本機を接続する際は、スピーカーコードの先端を 2 つに曲げないとショートするおそれがあります。
- 黒い線が入っている方のコードを ⊖ 側へつないでください。
- スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。

B

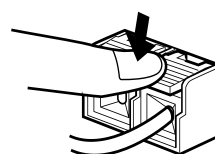
1. ディスプレイ部のスピーカー出力端子のレバーを押し上げる。



2. コード芯線を端子に差し込む。



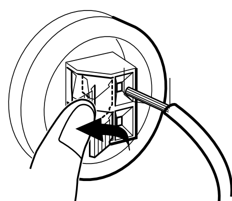
3. 端子のレバーを矢印の方向へたおして固定する。



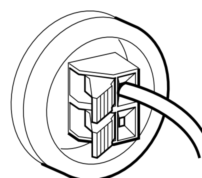
- 黒い線が入っている方のコードを ⊖ 側へつないでください。
- スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。

C

1. サブウーハーのスピーカー入力端子のレバー（ばね式）を矢印の方向へ押す。



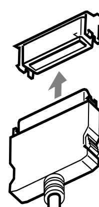
2. コード芯線を端子に差し込み、レバーをはなして固定する。



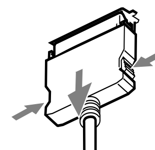
- 黒い線が入っている方のコードを ⊖ 側へつないでください。
- スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。

D

取付けるとき:
コネクターの形を合わせて矢印の方向へカチッと音がして、ロックされるまでしっかり差し込みます。



取り外すとき:
両端のロック機構解除ボタンを押しながら、矢印の方向へ引き抜きます。

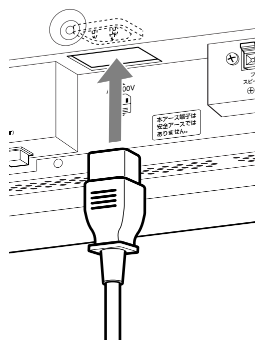


- クランプコアがついている方をディスプレイ側に取り付けてください。

E

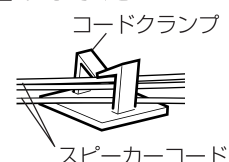
ディスプレイのAC 100V電源入力端子について

電源入力端子は、ディスプレイ内部にあります。位置を確認して、矢印の方向へしっかり差し込んでください。



スピーカーコードの処理のしかた

接続したスピーカーコードを付属のコードクランプを使って右図のように束ねると、すっきりとうまくまとめることができます。



- コードクランプのシールをはがして取り付けてください。時間をおいてからスピーカーコードを束ねてください。はがれてしまいます。
- ディスプレイ後面に取り付けるときは、通気孔の上には、はらないでください。

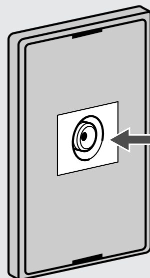
手順3
アンテナをつなぐ

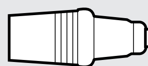
●ビデオデッキを本機に接続するときは、アンテナケーブルはビデオデッキに接続してから本機に接続します。28ページの「ビデオデッキをつなぐ（アンテナ編）」をご覧になって接続してください。

VHF/UHF アンテナの接続

壁面アンテナ端子
（VHF/UHF 混合）

● VHF端子とUHF端子が別々にあるときは下をご覧ください。
● 先バラの同軸ケーブルをお使いの場合など、付属のアンテナコネクターの取り付けが必要なときは27ページの「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。





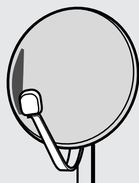
75Ω同軸ケーブル（F型プラグ～F型プラグ）

BS アンテナの接続

ご注意

個別にBSアンテナを設置しているときはBSアンテナの設定が必要です。接続が終わったら、70ページの「BSアンテナを設定する」をご覧になって設定してください。

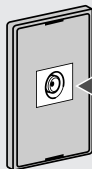
BS アンテナ

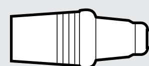


BS用75Ω同軸ケーブル（F型コネクター）*

または

壁面 BS アンテナ端子



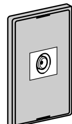


BS用75Ω同軸ケーブル（F型プラグ～F型プラグ）

VHF/UHFとBSが一緒のとき

別売の分波器が必要です。

壁面アンテナ端子
（BS/VHF/UHF混合）



BS/VHF・UHF
分波器（別売）

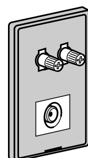
VHF/UHF
VHF/UHFアンテナ入力端子へ

BS
BSアンテナ入力端子へ

VHFとUHFが分かれているとき

別売の混合器（VZ-84）が必要です。

壁面アンテナ端子
（VHF・UHF分離）



UHF（フィーダー線）

VHF（同軸ケーブル）

混合器（VZ-84）

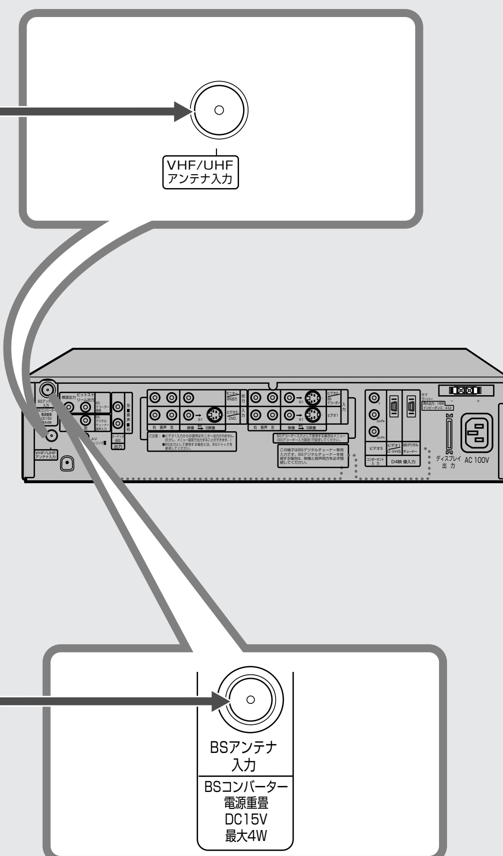
ねじをしめる

75Ω同軸ケーブルが先バラのときは、付属のアンテナコネクターにつないでから、混合器につなぎます。F型プラグのときはそのまま混合器につなぎます。

● 先バラの同軸ケーブルをお使いの場合など、付属のアンテナコネクターの取り付けが必要なときは27ページの「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。

●アンテナの設置・接続は、できるだけお買い上げの販売店にご依頼ください。
●アンテナケーブルには同軸ケーブル（別売）をお使いください。フィーダー線の使用はできるだけ避けてください。

レシーバー後面のアンテナ入力端子に
アンテナケーブルを接続します。

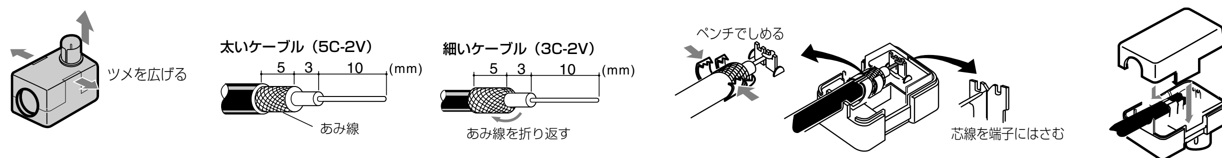


＊ レシーバー後面のBSアンテナ入力端子にケーブルの芯線を差し込んで、ナットを締め付けてください。
（ケーブルにF型コネクターを取り付けるときは下記の「コネクターのつなぎかた」をご覧ください。）

コネクターのつなぎかた

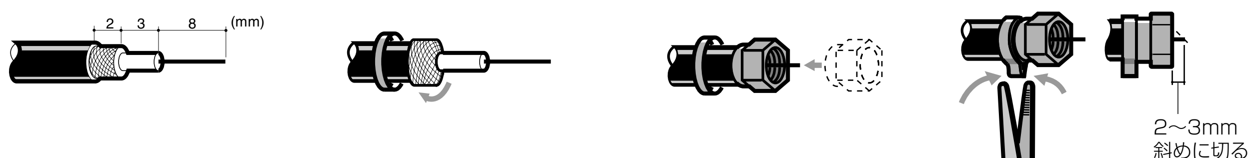
●付属のアンテナコネクターのつなぎかた（BSアンテナには使用できません。）

1 カバーをはずす　2 ケーブルを加工する　3 ケーブルをつなぐ　4 カバーをつける



●F型コネクター（別売）のつなぎかた

1 ケーブルを加工する　2 リングをとおす　3 コネクターを差し込む　4 リングをペンチで締める



アンテナをつなぐときは

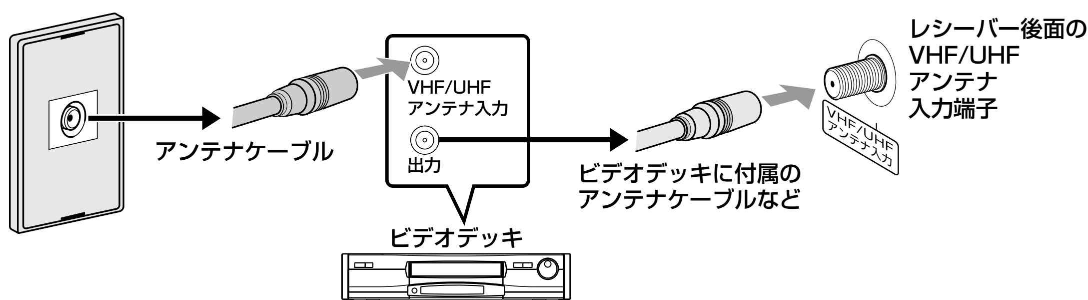
● 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
● アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

手順4
ビデオデッキをつなぐ

アンテナ編

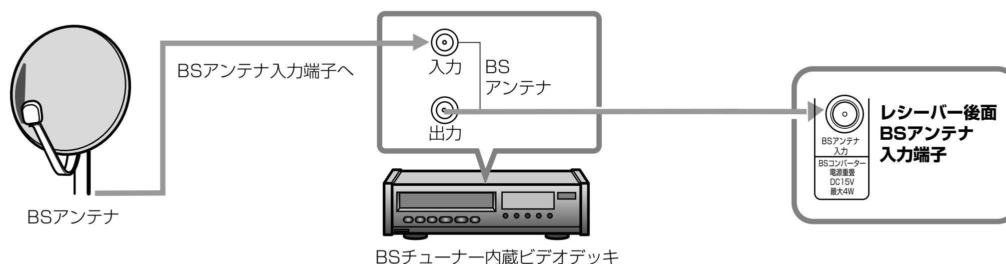
VHF/UHFアンテナをビデオデッキ経由でつなぐ

1 アンテナケーブルをビデオデッキにつなぐ
2 ビデオデッキの出力をレシーバーの VHF/UHF アンテナ入力端子につなぐ



BSアンテナをビデオデッキ経由でつなぐ

■BSアンテナ出力端子がある場合

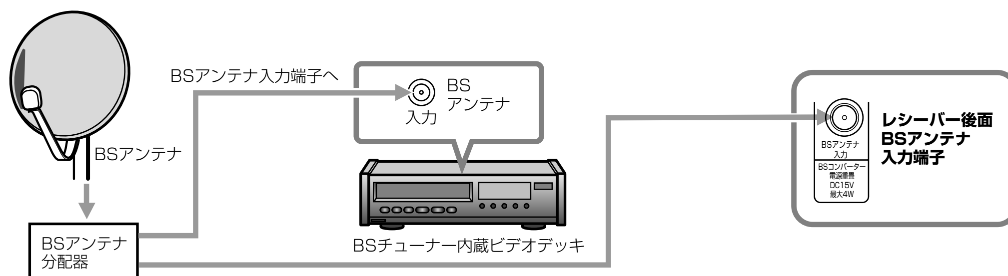


接続後に「BSアンテナへの電源供給設定」（☞70ページ）を次のようにおこないます。

- 個別にアンテナを設置しているとき：**ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。**
  「BSアンテナへの電源供給設定」で「供給しない」を選び、ビデオデッキを操作してBSアンテナへ電力を供給するように設定する。
- マンション、集合住宅などで、共聴アンテナをお使いのとき：**本機、ビデオデッキ共に供給しません。**

■BSアンテナ出力端子がない場合（BSアンテナ分配器が必要です。）

●BSアンテナ分配器は両通電のものをお使いください。



接続後に「BSアンテナへの電源供給設定」（☞70ページ）を次のようにおこないます。

- 個別にアンテナを設置しているとき：**本機またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。**
  ・本機から電力を供給する場合：「供給する」を選ぶ
  ・ビデオデッキから電力を供給する場合：「供給しない」を選ぶ
- マンション、集合住宅などで、共聴アンテナをお使いのとき：**本機、ビデオデッキ共に供給しません。**

映像・音声編

● お手持ちのビデオデッキにＳ映像出力端子があるときは、別売のＳ映像ケーブルでつないでください。映像端子よりも鮮明な画像で再生できます。

● ビデオデッキで録画、再生しているときに、映像、音声にノイズが入ることがあります。本機からの電磁波による影響です。影響をうけなくなるまで、ビデオデッキを離してご使用ください。

手順5

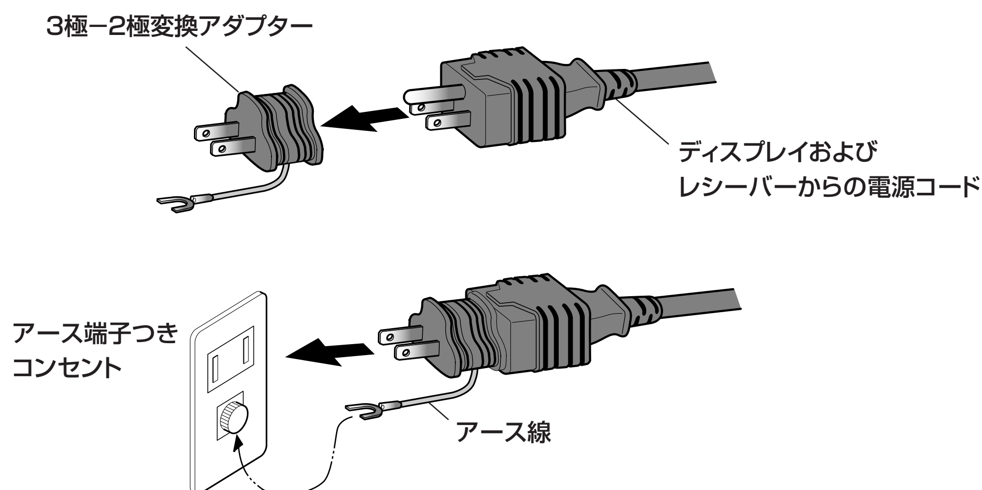
電源を入れる用意をする

1. 壁のコンセントに電源プラグを差し込む

■ディスプレイとレシーバーの電源プラグを壁のコンセントに差し込む

本機の電源プラグはアース付きの3極端子です。
家庭のコンセントに接続するには、付属の3極－2極変換アダプターを使います。
本機のアースは確実に取ってご使用ください。
電波妨害の原因となることがあります。
なお、コンセントが2極専用の場合はアース工事を行い、添付の3極－2極変換アダプターをご使用ください。

- 感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。



2. リモコンに乾電池を入れる

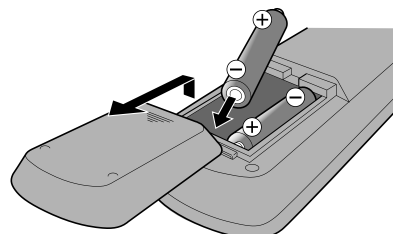
■付属の単3乾電池2本を入れる

付属の乾電池は動作確認用です。
操作できる距離が短くなったら、早めに新しい電池と交換してください。

■電池の入れかた

ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。



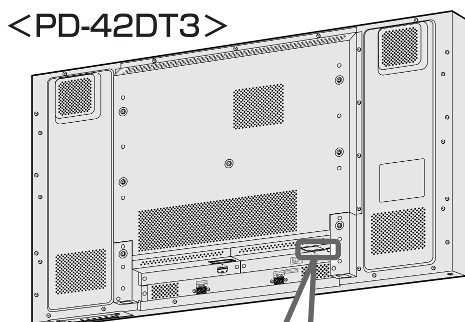
3. ディスプレイの主電源を入れる

■ディスプレイ後面の主電源ボタンを押して、ディスプレイをスタンバイ状態にする

ディスプレイの主電源ボタンは、本体後面の下部にあります。
主電源ボタンは、常時「入」の状態で使用します。
（お買いあげ時の設定は「入」になっています。ご確認ください。）
主電源ボタンを入れた後はリモコンやディスプレイ前面下部、レシーバーの電源ボタンだけで電源の「入/切」が行えます。

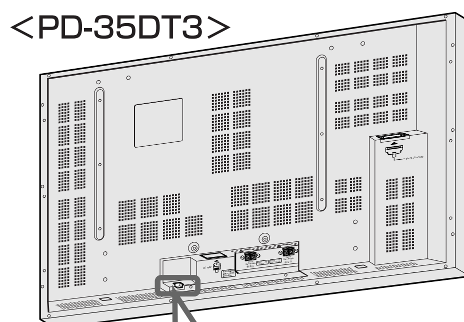
● 主電源ボタンが「入」の状態では電源ランプは点灯しません。

<PD-42DT3>





<PD-35DT3>



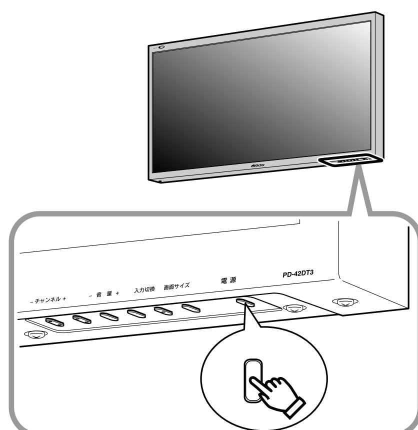


4. 電源を入れる

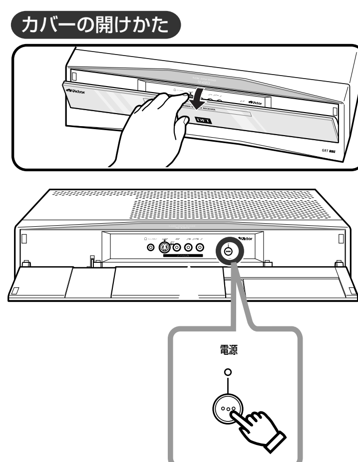
■ディスプレイまたはレシーバーの電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

ディスプレイまたはレシーバーの電源ボタンを押すと、連動して本機の電源が入/切します。
電源が「入」になると、ディスプレイの電源ランプとレシーバーの電源ランプが点灯し、映像が画面に表示されます。また、この操作はリモコンでもできます。

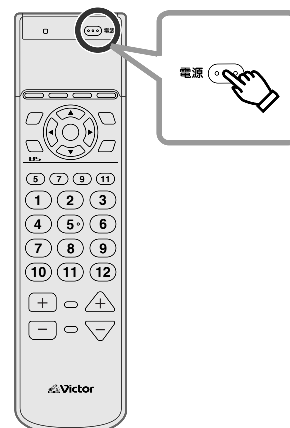
ディスプレイの電源ボタン



レシーバーの電源ボタン



リモコンの電源ボタン



手順6

チャンネルを合わせる

お住まいの地域を選ぶと、チャンネルを一括して自動的に設定します。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

●設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。
ひとつ前の画面に戻ります。

お住まいの地域名がないとき

34～37ページの地域チャンネル表から、今まで受信していたチャンネルに近い地域名をさがして設定してください。

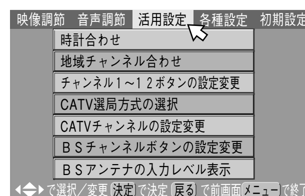
うまく受信できないチャンネルがあるときは

お住まいの場所によっては、近隣の地域を選んだ方がうまく受信できることがあります。近県または近隣の地域を選び、もう一度地域チャンネル合わせを行ってみてください。

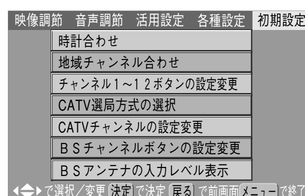
例1: 八王子市にお住まいの方で「はちおうじ」で放送が受信できないときは「23区」に設定してください。

例2: 横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

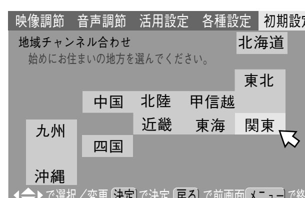
1 メニューボタンを押してメニューを表示させる



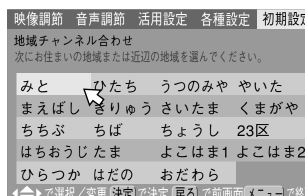
2 カーソルボタン（◀▶）を押して「初期設定」を選ぶ



3 カーソルボタン（▼）を押して「地域チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す

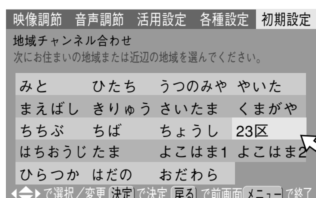


4 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押してお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す



例:「関東」を選んだとき

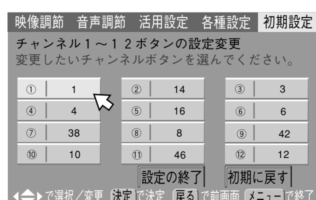
5 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してお住まいの地域を選ぶ



例:「23区」を選んだとき

6 決定ボタンを押す

選んだ地域のチャンネルが自動的に設定されます。
「チャンネル1～12ボタンの設定変更」画面が表示されます。

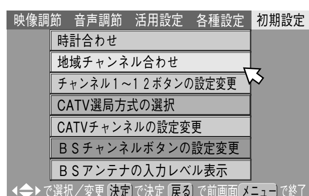


7 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、各チャンネルが受信できることを確認する

選んだチャンネルに切り換わります。

8 カーソルボタン(◀▶▲▼)で「設定の終了」を選び、決定ボタンを押す

初期設定メニューに戻ります。



9 メニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順7で「初期に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

■ 次のようなときは66ページの「チャンネルをひとつずつ設定する」をご覧ください。

受信状態が悪い

「受像微調整」で調節します。

空きチャンネルの設定を変えたい

チャンネル+/－ボタンで切り換えるときに空きチャンネルを選ばないように設定できます(チャンネルスキップ)。
また、空きチャンネルに受信できる他のチャンネルを割り当てることができます。

チャンネルの画面表示を変えたい

お買い上げ時には、押したチャンネル数字ボタンの番号が画面表示されるように設定されています。
チャンネル番号と画面表示が異なるときは、一致するように設定できます。(例えば、42チャンネルを選んだら、画面表示も「42」になるように設定できます。)

ご注意

地域チャンネル合わせはテレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせをおこなってください。(☞66ページ)

設定が終わったら38ページへ

地域チャンネル表

リモコンのチャンネル番号

都道府県名	地域名 地域名（対応都市）	放送局名・受信チャンネル 1	2
		放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

● 放送局名･受信チャンネルは当社の調査によるものです。
（2001 年 10 月現在）

	地域名	放送局名・受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ー		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別）	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小樽		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名寄			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室蘭		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函館		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯広		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網走	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北見		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森（弘前）	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜石		NHK総合 2				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石巻	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大館				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大曲		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビユー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	鶴岡(酒田)	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビユー山形 22				山形テレビ 39
	米沢		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビユー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島（郡山）		NHK教育 2		テレビユー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
	いわき		テレビユー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
	会津若松	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビユー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		

	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸（勝田）	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
茨城	日立	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	とちぎテレビ 31	テレビ東京 17
栃木	矢板	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	とちぎテレビ 33	テレビ東京 61
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
群馬	桐生	NHK総合 43		NHK教育 45	日本テレビ 39	群馬テレビ 41	TBS 37	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 33		テレビ東京 31
埼玉	さいたま（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
埼玉	熊谷	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	テレビ埼玉 28	テレビ東京 17
埼玉	秩父	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
千葉	銚子	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
東京	八王子	NHK総合 51	MXテレビ 47	NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
東京	多摩	NHK総合 30	MXテレビ 28	NHK教育 32	日本テレビ 26		TBS 24		フジテレビ 22		テレビ朝日 20		テレビ東京 18
神奈川	*1 横浜１（横浜の一部）	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
神奈川	*1 横浜２（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
神奈川	平塚（茅ヶ崎）	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
神奈川	秦野	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
神奈川	小田原	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野１		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
長野	長野２		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11	
長野	松本		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40/11	
長野	飯田			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
長野	岡谷・諏訪				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟（長岡）			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
新潟	上越	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		
富山	富山	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
富山	高岡	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42

手順6
チャンネルを合わせる（つづき）

リモコンのチャンネル番号

都道府県名	地域名	放送局名・受信チャンネル 1	2
	地域名（対応都市）	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

● 放送局名・受信チャンネルは当社の調査によるものです。（2001年10月現在）

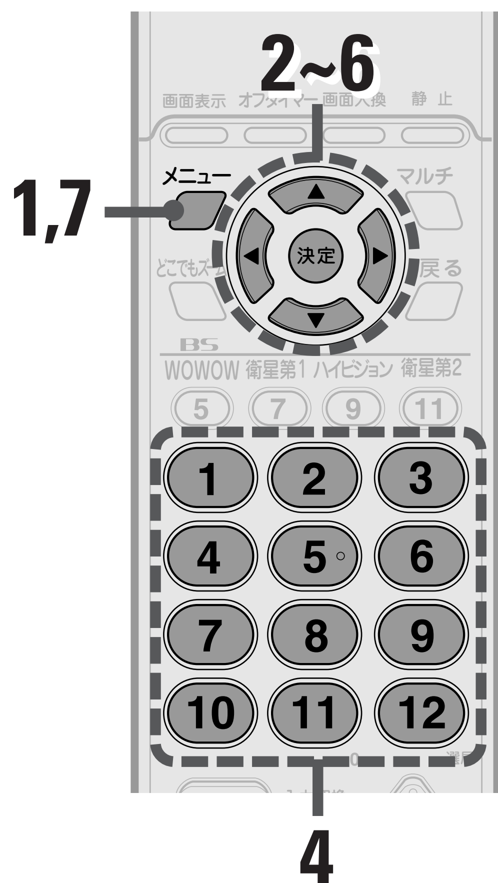
	地域名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石川	金沢（小松）		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
	七尾	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
	敦賀						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12
岐阜	岐阜（大垣）	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	高山		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
	中津川				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静岡（清水・焼津）		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
	浜松		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
	富士（富士宮）		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
	三島・沼津		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
	島田	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
	藤枝	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	豊橋（豊川）	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
	豊田	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市）	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	伊勢	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
	名張	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	
滋賀	大津		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
	彦根		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都（宇治）		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞鶴		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	福知山		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18		朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24	テレビ大阪 19	NHK教育 26
	神戸灘		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川西		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
	三木		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
	姫路		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	明石（加古川）		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良（橿原）		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	五條		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
	海南・田辺		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松江	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			

	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岡山	岡山（倉敷）	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
	笠岡		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	
広島	広島	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
	福山	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
	尾道	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
	呉	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口（徳山・防府）	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
	宇部	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
	岩国	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
	丸亀	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
愛媛	松山		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
	新居浜		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
	今治		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	宇和島	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
熊本	熊本（八代）		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分（別府）			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎（都城）						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇（沖縄）		NHK総合 2			琉球朝日 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

手順7

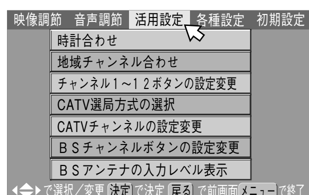
時計を合わせる

本機は時計機能を内蔵しています。本機を活用していただくために、時計の設定をおこなってください。時計の設定をしていないと「おはようタイマー」などの機能が使えません。

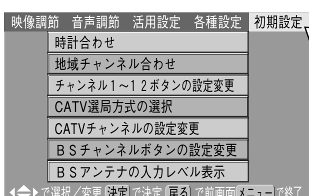


● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

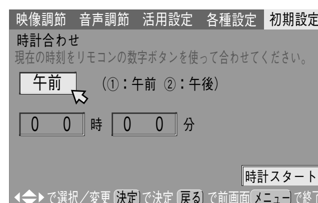
1 メニューボタンを押してメニューを表示させる



2 カーソルボタン(◀▶)を押して「初期設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(▼)を押して「時計合わせ」を選び、決定ボタンを押す



4 チャンネル数字ボタンで時刻を設定する

設定のしかた

「午前・午後の設定」

リモコンのチャンネル数字ボタンで設定します。

午前なら「1」、午後なら「2」を押します。

「時刻の設定」

リモコンのチャンネル数字ボタンで、現在の時刻を入力します。

0を入力するときは「11」ボタンを使います。

● **設定を途中でやり直すには**

カーソルボタン(◀▶▲▼)で他の項目に移動できます。

5 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「時計スタート」を選ぶ

6 時報などに合わせて、決定ボタンを押す

時計が動き始めます。

7 メニューボタンを押して終了する

以上でテレビの準備は終了です

テレビを見る前に —本機をお楽しみになる前にお読みください—

お買い上げ時の設定は、メリハリのきいた絵づくりになっております。
ご家庭の環境に適した映像や効果的な省エネ(節電)をするために以下の3つの設定･調節をされることをおすすめします。

1. 映像選択を選びましょう(☞42ページ)

ふだんは**「スタンダード」**でご覧になることをおすすめします。

2. 映像調節をしましょう(☞43ページ)

画面がざらついて見えるときは、映像調節の**「ノイズクリア」**を調節してください。

3. 節電機能を設定しましょう(☞58ページ)

ふだんはおトク設定を**「すべて設定する」**にしてご使用になることをおすすめします。

また、本機をお使いになるときに、次のようなことにご注意ください。

やや離れてご覧ください

画面のたての長さの5～7倍を目安にした場所でご覧ください。
見やすく、疲れにくくなります。

部屋の明るさは新聞が楽に読める程度で…

暗すぎる部屋は、目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。
また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせますので、**ときどき目を休めてください。**

夜間の音量は適度に…

周辺の人の迷惑にならないよう適度な音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めるなどの隣り近所への配慮(思いやり)を十分にし、生活環境を守りましょう。

赤外線機器への影響について

赤外線通信機器(赤外線コードレスヘッドホンなど)をご使用中に、通信障害が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。

点欠陥について

プラズマディスプレイは微細な画素の集合で表示しています。そのため、99.99%以上の有効画素を実現していますが、ごく一部に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがありますので、あらかじめご了承ください。

画面の焼きつきについて

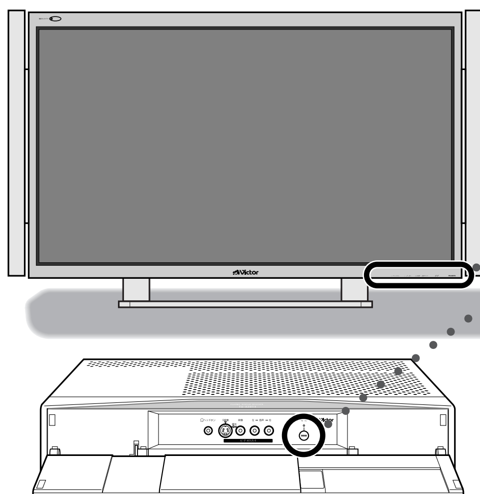
プラズマディスプレイの特性として、一定時間同じ画面を表示し続けますと、部分的に消えない残像(焼きつき)が発生します。
これは、蓄積効果により輝度劣化が生じるためです。
この焼きつきを避けるために、一定時間同じ画面を表示することや、画面サイズを長時間ノーマルモードでのご使用は避けてください。
焼きつきが発生したときは、メニューの「各種設定」「焼きつき低減画面へ」(☞61ページ)を行ってください。焼きつきのレベルが軽いときは、次第に目立たなくなる場合があります。しかし、一度発生した焼きつきは、完全には消えません。
特に、固定表示を頻雑に使用される場合は、輝度を落とし、画面のスクロールや表示文字の反転(背景画面と表示画面の反転)を行うことや、ワイド画面でのご使用をお奨めします。

ノーマルモードでのご注意

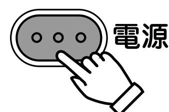
画面サイズがノーマルモードのとき、表示部と非表示部(映像のない部分)は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼きつきを起こす原因となります。映像調節(☞43ページ)の「ピクチャー」と「黒レベル」を弱めることをお奨めします。

ふだんの使いかた

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
ディスプレイとレシーバーにある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。



1 電源を入れる

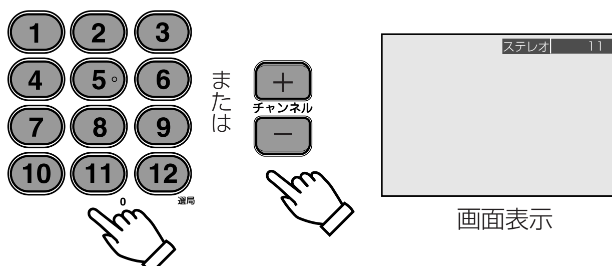


リモコンまたはレシーバーの電源ボタン、またはディスプレイ下部の電源ボタンを押します。
レシーバーとディスプレイの電源ランプが点灯します。

2 チャンネルを選ぶ

●地上波放送/CATVを見るとき

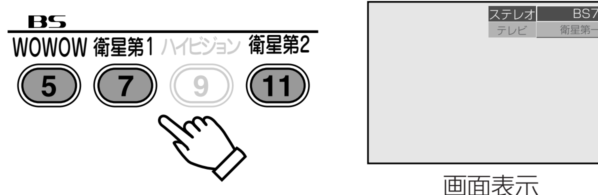
チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを使ってチャンネルを選びます。選んだチャンネルが画面に表示されます。



画面表示

●BS（アナログ）放送を見るとき

BSチャンネルボタンを押します。（チャンネル+/−ボタンでも選べます。）選んだチャンネルが画面に表示されます。

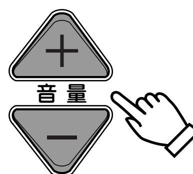


画面表示

* BSデジタル放送を見るにはBSデジタルチューナー（別売）が必要です。（☞78ページ）

3 音量を調節する

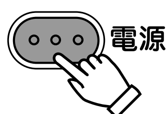
音量+/−ボタンを押すと、画面に音量が表示されます。





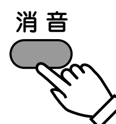
画面表示

電源を切るには



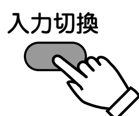
リモコンまたはレシーバーの電源ボタン、またはディスプレイ下部の電源ボタンを押します。レシーバーとディスプレイの電源ランプが消えます。

急いで音を消すには



電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。もう1度押すと、元の音量に戻ります。

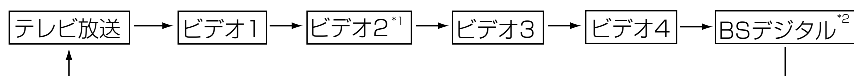
ビデオなどの映像を見るには



入力切換
5
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
BSデジタル

選択中の設定が矢印で示されます。

入力切換ボタンを押すと設定画面が表示されます。
押すたびに、入力が次のように切り換わります。



*1 メニューの「各種設定」の「ビデオ2 へのBS デコーダー入力」を「自動切換する」または「常に使用する」に設定しているときは「ビデオ2」を選べません。(☞75ページ)

*2 BSデジタルチューナー用のD4映像入力端子に何も接続されていないときは、「BSデジタル」を選べません。

- 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。
- 「BSデジタル」に切り換えるには、BSデジタルボタンを押しても切り換えることができます。(☞78ページ)

チャンネルなどを画面に表示させるには



画面表示
入力表示
時計表示
表示なし

選択中の設定が矢印で示されます。

画面表示ボタンを押すと設定画面が表示されます。
画面表示の設定をおこないます。
選んだ設定により画面の表示が変わります。

「入力表示」: 画面右上にチャンネル番号やビデオ入力名を表示します。
「時計表示」: 画面右下に時計を表示します。
「表示なし」: チャンネルを変えたときや外部入力に切り換えたとき、一定時間チャンネル番号や外部入力を表示します。

- 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。
- 「入力表示」「時計表示」の設定をしていても、画面焼きつきを防ぐために、3分間操作をおこなわないと画面表示は消えます。

ご注意

画面表示ボタンを操作するときは、リモコンのふたを閉めた状態で操作してください。(リモコンのふたを開けた状態では操作できません。)

●このテレビでBS9チャンネルを選んでもハイビジョン放送は映りません。
●BS5チャンネルのWOWOWを見るには、BSデコーダーが必要です。

お好みの映像にする

必要に応じて、以下の①～③の操作をしてください。
ふだんは画質を選ぶ(①)だけでもお楽しみいただけます。

① **画質を選ぶ**

４種類の画質から選びます。

② **映像を調節する** (☞43ページ)

選んだ画質を調節します。

③ **シアタープロの調節をする** (☞62ページ)

①で「シアター」の画質を選んだときはさらに細かな調節ができます。
詳しい知識をお持ちの方向けの調節です。

● 映像選択や映像調節は、ハイビジョン信号とそれ以外（地上波放送やビデオなど）で別々に選択や調節ができます。

画質を選ぶ



● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

映像選択のめやす	
スタンダード	ふつうの明るさの部屋でくっきりとした映像を見たいとき
ダイナミック	明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき
シアター	映画番組や映画ソフトを楽しむとき
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき 明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります

1 映像選択ボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに↖マークが表示されます。

映像選択
スタンダード
ダイナミック
シアター
ゲーム

例:「スタンダード」を選んでいるとき

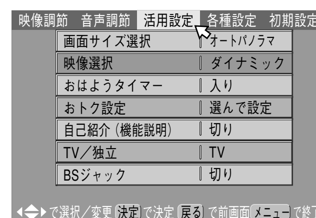
● 数秒間操作をおこなわないと、通常の画面に戻ります。

2 映像選択ボタンをくり返し押して、お好みの画質を選ぶ

選んだ画質に切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

■ メニューから画質を選ぶには

1 **メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ**



2 **カーソルボタン(▼)を押して「映像選択」を選び、決定ボタンを押す**

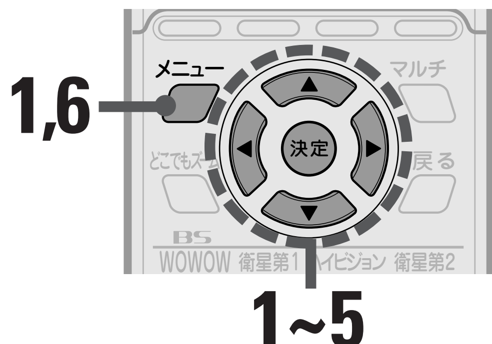
設定画面が表示されます。
現在の設定のところに↖マークが表示されます。

3 **カーソルボタン(▲▼)を押して画質を選ぶ**

選んだ画質に切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

映像を調節する

選んだ画質をお好みに合わせて調節できます。(4種類の画質を別々に調節できます。)



● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

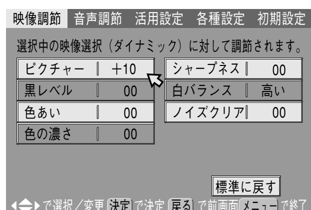
調節項目の内容と調節のめやす

調節項目	◀	▶	調節のめやす
ピクチャー	薄く	濃く	明るさ･色の濃さを決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
色あい	赤っぽく	緑っぽく	健康的な肌色に
色の濃さ	薄く	濃く	(交互に調節)
シャープネス*	やわらかく	くっきり	好みの輪郭に
白バランス	高	低	画面全体の色調を選ぶ 高：標準 低：赤みが強くなる
ノイズクリア	弱	強	画面のざらつきが少なくなるように調節

* 画質に「シアター」を選んでいるときはシャープネスの調節はできません。シアタープロ設定のHシャープネス、Vシャープネスの調節をおこなってください。(☞62ページ)

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「映像調節」を選ぶ

映像調節メニューが表示されます。



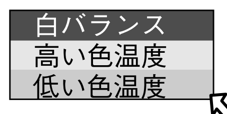
2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して項目を選び、決定ボタンを押す

調節画面が表示されます。

例:「ピクチャー」を選んだとき



例:「白バランス」を選んだとき



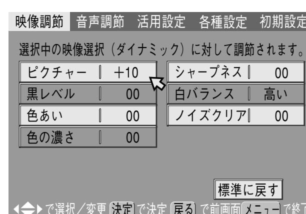
● 数秒間操作をおこなわないと、手順1の画面に戻ります。

3 カーソルボタン(◀▶)で調節する

白バランスの調節はカーソルボタン(▲▼)を使います。

4 調節が終わったら決定ボタンを押す

映像調節メニューに戻ります。



● 決定ボタンのかわりに、戻るボタンを押しても映像調節メニューに戻ります。

5 他の項目も調節するときは手順2～4をくり返す

6 メニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

音声を調節する

お好みの音声に調節できます。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

音声調節のめやす

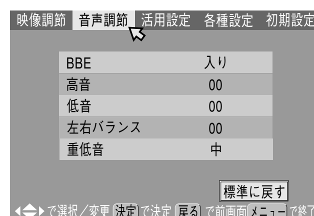
調節項目	◀	▶
BBE	「入り」と「切り」の切り換え 「入り」に設定すると、原音に忠実で聞きやすい音を再現します。	
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく
重低音	「強」、「中」(標準)、「弱」を選択	

● ヘッドホンを使用しているときは「音声調節」はできません。

BBEとは

BBEは、音声をより原音に忠実な臨場感ある音で再現する回路です。
このBBE回路によって、音楽のみならず人の声や効果音なども、鮮明で存在感のある音で再現されます。
BBEは、BBE Sound社の登録商標です。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「音声調節」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して、調節や設定したい項目を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して調節・設定をする

4 他の項目も調節するときは手順2〜3をくり返す

5 メニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

音声を選ぶ

二重音声放送やステレオ音声放送のときに、聞きたい音声を選びます。



1 音声切換ボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに↖マークが表示されます。

音声切換
主音声
副音声
主+副音声

例:二重音声放送を受信しているとき

● 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

2 音声切換ボタンをくり返し押して、お好みの音声を選ぶ

押すたびに、次のように音声が切り換わります。

二重音声放送受信中は:

→「主音声」→「副音声」→「主＋副音声」─

ステレオ放送受信中は:

→「ステレオ」→「モノラル」─

しばらくすると、設定画面が消えます。

BS（アナログ）放送のときは

● BSジャック（☞64ページ）が「入り」のときは、音声は切り換えられません。

● 有料放送をご覧のときはBSデコーダーで切り換えてください。

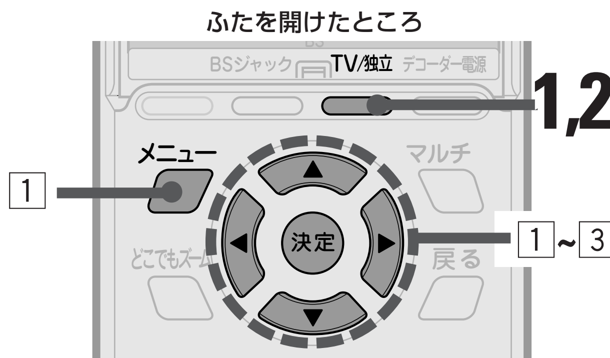
ご注意

設定画面に選べる項目が1つしかないときは、音声の切り換えはできません。

BS放送の独立音声を聞く

Aモード音声*で放送されているBS（アナログ）放送の番組の、テレビ音声と独立音声を切り換えます。（*「用語解説」☞92ページ）

● BSジャックが「入り」のときは操作できません。（☞64ページ）



1 TV/独立ボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに↖マークが表示されます。

TV／独立
テレビ音声
独立音声

● 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

2 TV/独立ボタンをくり返し押して、「独立音声」を選ぶ

独立音声に切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

■ メニューから独立音声を選ぶには

1 **メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン（◄►）で「活用設定」を選ぶ**

2 **カーソルボタン（▼）を押して「TV/独立」を選んで、決定ボタンを押す**
設定画面が表示されます。
現在の設定のところに↖マークが表示されます。

3 **カーソルボタン（▲▼）を押して「独立音声」を選ぶ**
独立音声に切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

BS有料放送で独立音声を聞くには

BSデコーダーで切り換えてください。

テレビ音声に戻すには

手順1と手順2をおこない、手順2で「テレビ音声」を選びます。

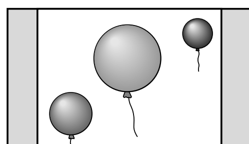
画面サイズの種類

このテレビでは、横縦比（画面サイズ）16：9の横長画面を活かして、いろいろな画面サイズで映像を楽しむことができます。ここでは画面サイズの種類と、その見えかたを説明しています。

ノーマル

●テレビ番組をオリジナルのサイズ(4:3)で見るとき

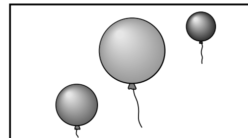
従来のテレビの映像は、横と縦の比率が4:3となっています。映像をこのオリジナルのサイズで映します。このとき、左右に帯が残ります。



シネマ

●映画番組を見るとき

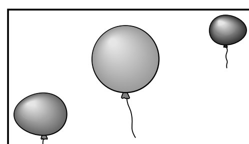
劇場サイズの映画番組や映画ソフトを黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては帯が残ることがあります。



パノラマ

●テレビ番組を自然に拡大して見るとき

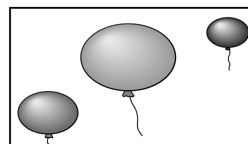
テレビの映像を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。



フル

●テレビ番組を画面いっぱいに拡大して見るとき

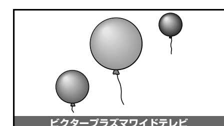
従来のテレビの映像（4：3）を、そのまま画面いっぱいに映します。



字幕パノラマ

●字幕入りの映画番組を見るとき

映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。



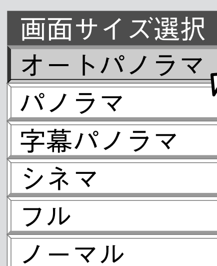
オートパノラマ

●画面サイズを自動で切り換えたいとき

「パノラマ」（または「ノーマル」）「シネマ」「字幕パノラマ」の中から、最適な画面サイズを自動的に設定します。（右ページもご覧ください。）

画面サイズを変えるときは、ご覧になっている放送や入力によって選べる画面サイズが異なります。

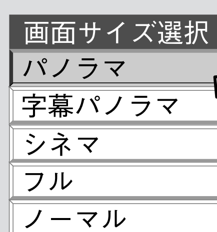
■ 従来のテレビ放送やビデオなどのとき



「オートパノラマ」、「パノラマ」、「字幕パノラマ」、「シネマ」、「フル」、「ノーマル」が選べます。

● 525iのときは、オートパノラマは動作しません。

■ ハイビジョン＊（1125i）やプログレッシブ＊（525p、750p）、D4映像入力＊のとき



「パノラマ」、「字幕パノラマ」、「シネマ」、「フル」、「ノーマル」が選べます。

（＊「用語解説」☞92ページ）

著作権の侵害について

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能（パノラマ）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

「ノーマルサイズ」ご使用時は

長期間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面左右に帯が残る「焼きつき」が発生しやすくなります。また非常に明るい映像でご覧になると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

画面サイズを変える（画面サイズ切換）



本体のボタンで操作するときは

画面サイズボタンを使います。

1 画面サイズボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに マークが表示されます。

● 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

2 画面サイズボタンをくり返し押して、お好みの画面サイズを選ぶ

選んだ画面サイズに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

「オートパノラマ」のときは…

● 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定により異なります。くわしくは「オートパノラマの画面サイズを設定する」(☞48ページ)をご覧ください。

● 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間時間がかかることがあります。

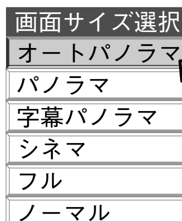
● 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このようなときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると…

画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。
(*「用語解説」☞92ページ)

1 画面サイズボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに マークが表示されます。



例:従来のテレビ放送のとき

● 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

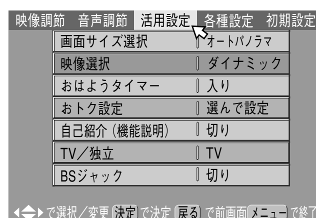
2 画面サイズボタンをくり返し押して、お好みの画面サイズを選ぶ

選んだ画面サイズに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

● ご覧になっている放送や外部入力端子により、選べる画面サイズが異なります(左ページ参照)。

■ メニューから画面サイズを選択するには

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◄►)で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して「画面サイズ選択」を選び、決定ボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに マークが表示されます。

● 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

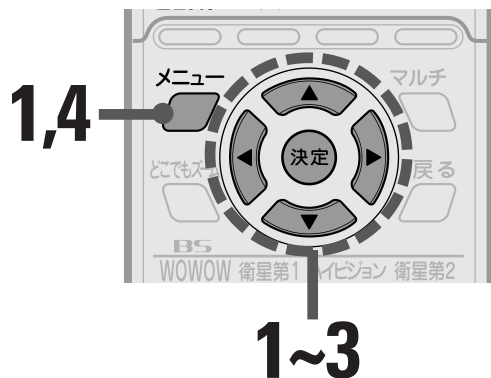
3 カーソルボタン(▲▼)を押してお好みの画面サイズを選ぶ

選んだ画面サイズに切り換わります。
しばらくすると、設定画面が消えます。

● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

オートパノラマの画面サイズを設定する

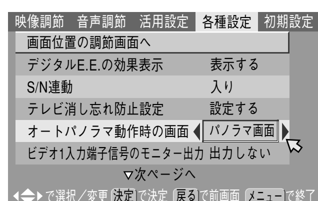
オートパノラマのとき、画面サイズ(横:縦の比率)4:3の映像を、画面いっぱいに拡大して映すか、画面サイズ4:3のままで映すかを設定します。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▼)を押して「オートパノラマ動作時の画面」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定する

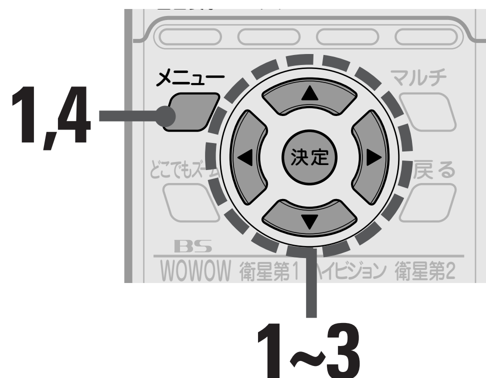
「ノーマル画面」
画面サイズが4:3の画面になります。
パノラマ画面での映像の変形が気になるときに選びます。

「パノラマ画面」
画面いっぱいの映像になります。

4 メニューボタンを押して終了する

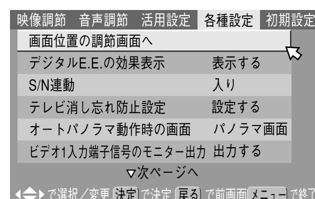
画面の位置を調節する

映画の字幕が隠れてしまうときなどに、画面の上下の位置を調節します。



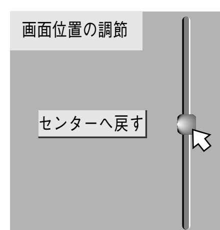
●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して「画面位置の調節画面へ」を選び、決定ボタンを押す

調節画面が表示されます。



3 カーソルボタン(▲▼)を押して画面の位置を調節する

● センターに戻すときは、カーソルボタン(◄)で「センターへ戻す」を選んで決定ボタンを押します。

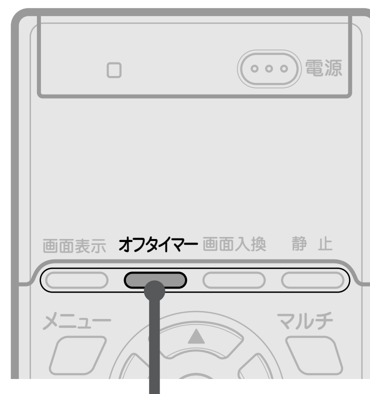
4 メニューボタンを押して終了する

ご注意

● ノーマルサイズでご覧になっているときは、画面の上下移動はできません。
● 画面サイズを切り換えると、画面の上下移動の設定は解除されます。

指定した時間に電源を切る(オフタイマー)

テレビを見ながら寝てしまいそうなときなどに、テレビの消し忘れを防ぎます。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。



1,2

1 オフタイマーボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところに⇖マークが表示されます。

オフタイマー
切り(解除)
30分
1時間
1時間30分
2時間

● 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

2 オフタイマーボタンをくり返し押して、設定したい残り時間を選ぶ

押すたびに、設定時間が変わります。
しばらくすると設定画面が消えて、画面右下に残り時間が表示されます。

残り時間表示

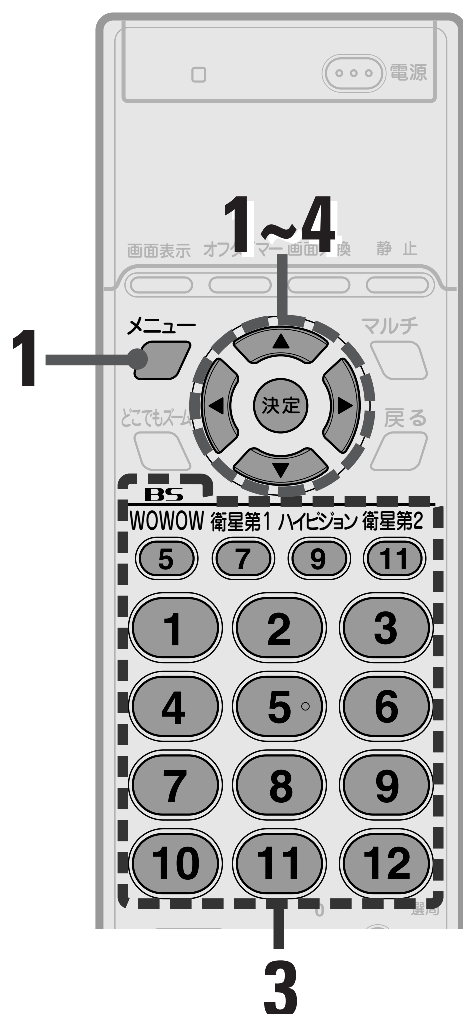
残り時間はテレビの操作をすると消えます。
ただし、動作3分前になると、残り時間が強制的に表示されます。

再設定または解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定画面を表示して、設定し直します。

おはようタイマーを設定する（おはようタイマー）

設定した時刻になると自動的にテレビの電源が入ります。お好きな時刻とチャンネルを設定できます。
準備: 38ページの「時計を合わせる」にしたがって時計の設定をおこなってください。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

おはようタイマーの設定について

「午前・午後の設定」
チャンネル数字ボタンで設定します。
午前なら「1」、午後なら「2」を押します。

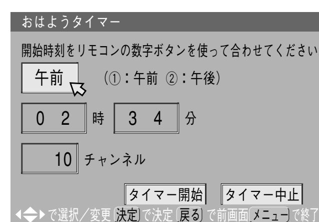
「時刻の設定」
チャンネル数字ボタンで電源を入れたい時刻を入力します。

「チャンネルの設定」
電源が入ったときに映したいチャンネルを選びます。
VHF/UHF/CATVチャンネルは、チャンネル数字ボタンで選びます。
BSチャンネルは、BSチャンネルボタンで選びます。

ご注意
電源プラグを抜いたり、ディスプレイ後面の主電源を「切」にすると、おはようタイマーは働きません。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◄►)で「活用設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▼)を押して「おはようタイマー」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(◄►▲▼)とチャンネル数字ボタンを押して順番に項目を設定する

● 設定のしかたは、左記の「おはようタイマーの設定について」をご覧ください。

設定を途中でやり直すには
カーソルボタン(◄►▲▼)で他の項目に移動できます。

4 カーソルボタン(◄►▲▼)を押して「タイマー開始」を選び、決定ボタンを押す

オンタイマーランプが緑色に点灯します。

リモコンまたはディスプレイ、レシーバーの電源ボタンを押して電源を切ったとき、設定された時間になると自動的にテレビの電源が入ります。

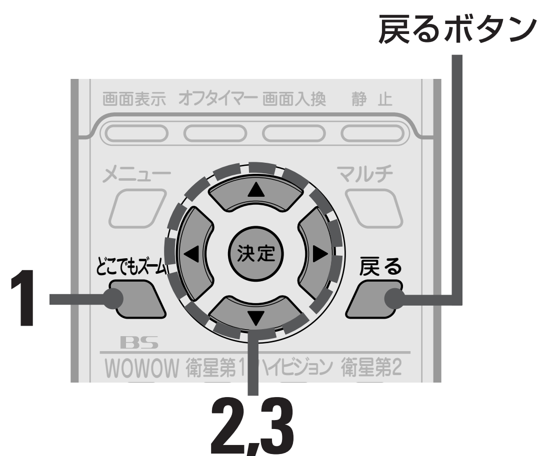
「おはようタイマー」を止めるには
手順4で「タイマー中止」を選びます。

「おはようタイマー」の設定をあとから変えるには
「おはようタイマー」で設定した時刻とチャンネルは記憶されます。
設定した時刻とチャンネルを変えるには、上記の手順で設定し直します。

見たいところを拡大する（どこでもズーム）

画面の気になる部分を拡大することができます。

● どこでもズーム機能で拡大された映像は、デジタル処理により拡大しているので、元の映像よりも粗い感じになります。



1 どこでもズームボタンを押す

画面に拡大範囲をしめす枠が表示されます。（このとき画面サイズはフルに変わります。）



拡大される範囲(ズーム枠)

2 カーソルボタン（◀▶▲▼）で、ズームしたい場所に枠を移動させる



ズーム枠

● ズーム枠は拡大したい部分を指定するめやすの枠です。実際に拡大される位置や場所は異なることがあります。

3 決定ボタンを押す

ズーム枠で囲まれた範囲が、画面いっぱいに表示されます。



ズーム中に拡大したい部分を移動するには

カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して拡大したい部分を移動することができます。

ズームする部分を選び直すには

ズーム後に戻るボタンを押します。
手順2に戻ります。

元の大きさに戻すには

どこでもズームボタンを押します。
ズームが解除されて、元の大きさの映像に戻ります。

ご注意

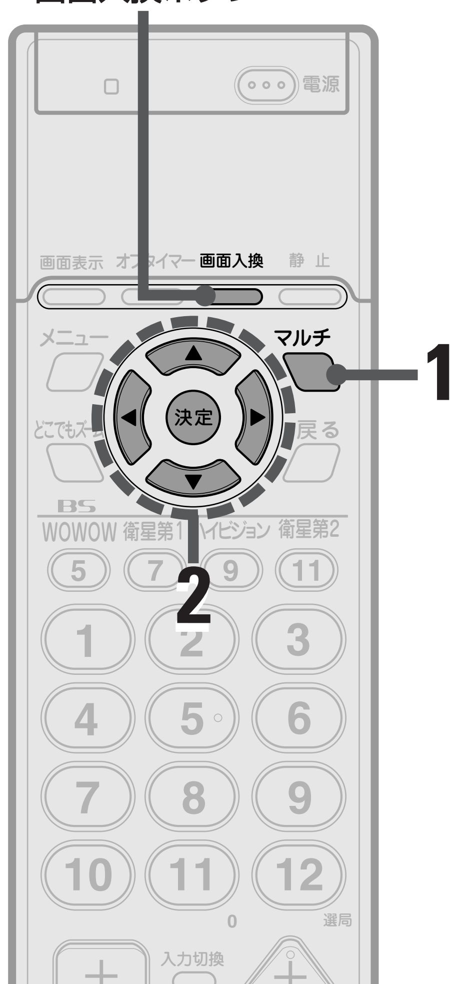
次のボタンを操作すると「どこでもズーム」は解除されます。

メニューボタン、音量ボタン、消音ボタン、入力切換ボタン、チャンネル数字ボタン、チャンネル+/−ボタン

2つの番組を同時に楽しむ（2画面）

異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しむことができます。

画面入換ボタン



1 マルチボタンを押して、画面に選択表示を出す



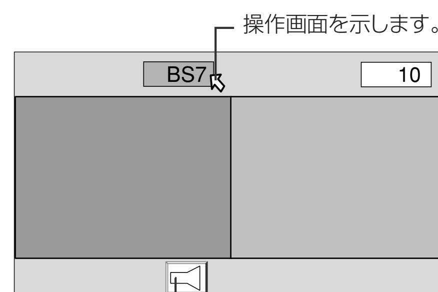
選択表示

- 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す

2画面表示になります。
それまでご覧になっていた画面が左画面になります（操作画面）。

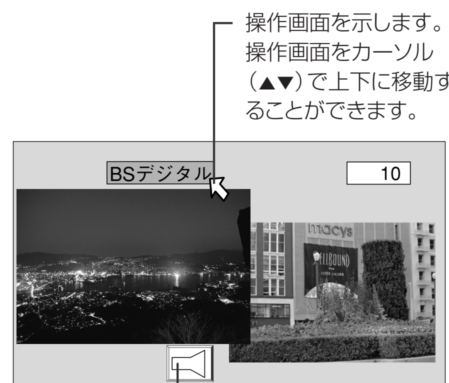
操作画面を示します。



スピーカーから音が出ていることを示します。

- ハイビジョン（1125i）やプログレッシブ（525P、750P）の映像をご覧のとき

操作画面を示します。
操作画面をカーソル（▲▼）で上下に移動することができます。



スピーカーから音が出ていることを示します。

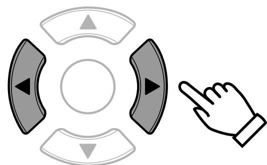
2画面で見ることができる組み合わせ

左画面		右画面：テレビ VHF／UHF／CATV	テレビ BS（アナログ）	ビデオ1 映像・S映像入力	ビデオ1 D4映像入力	ビデオ2	ビデオ3 映像・S映像入力	ビデオ3 コンポーネント入力（Y, C_B/P_B, C_R/P_R）	ビデオ4	BSデジタルチューナー
テレビ	VHF／UHF／CATV	○*	○	○	×	○	○	×	○	×
テレビ	BS（アナログ）	○	×	○	×	○	○	×	○	×
ビデオ1	映像・S映像入力	○	○	×	×	○	○	×	○	×
ビデオ1	D4映像入力	○	○	×	×	○	○	×	○	×
ビデオ2		○	○	○	×	×	○	×	○	×
ビデオ3	映像・S映像入力	○	○	○	×	○	×	×	○	×
ビデオ3	コンポーネント入力（Y, C_B/P_B, C_R/P_R）	○	○	○	×	○	×	×	○	×
ビデオ4		○	○	○	×	○	○	×	×	×
BSデジタルチューナー		○	○	○	×	○	○	×	○	×

*左右両方の画面に同じチャンネルを映すことはできません。

メモ機能を使う（静止画）

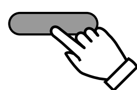
操作画面を変えるには



操作画面を変えるにはカーソルボタン（◀▶）を押します。

2画面にしたときは、左画面が操作できる画面（操作画面）になっています。
音声は操作画面の音声がスピーカーから聞こえてきます。

左右の画面を入れ換えるには



画面入換ボタンを押します。
左右の画面が入れ換わります。
（操作画面の位置は入れ換わりません。）

● 画面の入換えをすると右画面ではD4映像入力端子、コンポーネント入力端子からの映像は映りません。
ビデオ1、ビデオ3/DVD入力端子につながれている映像が映ります。

2画面中にヘッドホンをつなぐと

スピーカーからは左画面の音声、ヘッドホンからは右画面の音声が聞こえてきます。
（ヘッドホンからのテレビ放送の音声はモノラル音声になります）

●ヘッドホンを接続中に2画面にすると、右画面の音声がヘッドホンから聞こえてきます。
左画面の音声はスピーカーからでますが、音量は「0」になっています。

1画面に戻すには

●ご覧になりたい方の画面を操作画面にして、決定ボタンを押します。選んだ画面の映像が1画面になります。

●手順1と手順2をおこない、手順2で「1画面」を選び、決定ボタンを押します。左画面の映像が1画面になります。

ご注意

2画面中は･･･

●次のボタンは操作できません。
静止、どこでもズーム、ナチュラルシネマ、画面サイズ

●右画面では音声切換（☞45ページ）はできません。

●オートパノラマ機能（☞46ページ）は働きません。

今見ている映像を、静止画面で見ることができます。
応募先の住所や、料理番組のレシピなどをメモするときに便利です。同時に今まで見ていた番組も楽しめます。



静止させたい場面で、静止ボタンを押す

押すたびに、次のように画面が切り換わります。







● メニューボタンを押すと、静止が解除され、メニューが表示されれます。

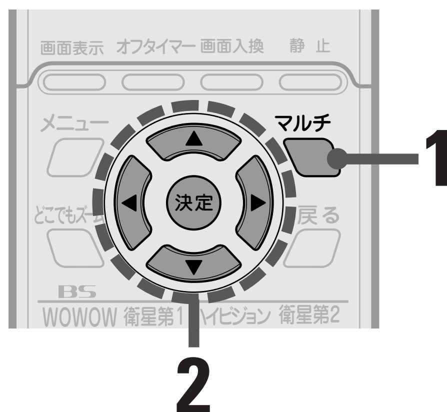
ご注意

2画面、裏番組、番組一覧を表示中は静止ボタンは使えません。

裏番組を見る（裏番組）

現在見ている番組のほかに、3つの番組（裏番組）を同時に映すことができます。

●裏番組は静止画（音声無し）で表示されます。
●裏番組として表示できるのは VHF/UHF/CATV のチャンネルです。



1 マルチボタンを押して、画面に選択表示を出す



選択表示

● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「裏番組」を選び、決定ボタンを押す

次のような画面が表示されます。

今まで見ていた番組



は操作画面を示します。

スピーカーから音が出ていることを示します。（ヘッドホンをつないでいるときは、ヘッドホンのマークになります。）

裏番組（静止画）

裏番組の静止画は、上から順番に新しい画像に切り換わります。

裏番組を1画面で見るには

見たい裏番組をカーソルボタン（▲▼◀▶）で選び、決定ボタンを押します。

裏番組のチャンネルを変えるには

1 カーソルボタン（▲▼◀▶）で操作したい裏番組の映像を選びます。

2 チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/ーボタンでチャンネルを変えます。

1画面に戻すには

手順1と手順2をおこない、手順2で「1画面」を選び、決定ボタンを押します。左画面の映像が1画面になります。

ご注意

裏番組中は･･･

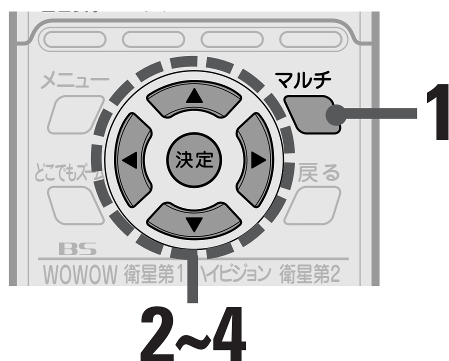
●オートパノラマ機能（☞46ページ）は働きません。
●メニューボタンを押すと、裏番組は解除され、メニューが表示されます。

次のときは裏番組を表示できません。

●ハイビジョン（1125i）やプログレッシブ（525p、750p）をご覧のとき
●ビデオ入力、BSデジタルチューナー入力をご覧のとき

放送されている番組を一覧表示する（番組一覧）

現在放送されている番組を一度に表示します。どのチャンネルでどんな番組が放送されているのかを見ながら、番組を選べます。



1 マルチボタンを押し、画面に選択表示を出す



選択表示

- 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

2 カーソルボタン（◀▶）を押して「番組一覧」を選び、決定ボタンを押す

画面が12分割されて、番組が静止画で映ります。（音声は聞こえません。）



受信できる放送局が12以上あるときは、カーソルボタン（▲▼）を押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

- 一通り分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。（このときは音声も聞こえます。）
- 番組一覧で表示できるチャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選局できるチャンネルです。（☞66、69、72ページ）

3 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して見たい番組を選ぶ

4 決定ボタンを押す

選んだチャンネルが1画面で映ります。

BSジャック中は

BSジャック（☞64ページ）が「入り」のときのBS（アナログ）放送は、BSジャックしているチャンネルだけが番組一覧に表示されます。

ご注意

番組一覧中は･･･

- オートパノラマ機能（☞46ページ）は働きません。
- 次のボタンは操作できません。
  チャンネル+/ー、入力切換、BSデジタル、映像選択、音声切換、TV/独立、画面サイズ、オフタイマー、画面入換、静止、どこでもズーム、ナチュラルシネマ、BSジャック、映画、サラウンド、戻る
- メニューボタンを押すと、番組一覧は解除され、メニューが表示されます。

映画に最適な映像にする（映画ボタン）

映画ボタンを押すと、番組や映画ソフトに最適な画面設定になります。



映画ボタンを押す

「入り」にすると、画面サイズ、映像選択、デジタルE.E.センサー、白バランスが自動的に設定されます。
押すたびに「入り」「切り」が切り換わります。
「入り」にすると、画面に「映画に最適な映像設定にしました。」と表示されます。

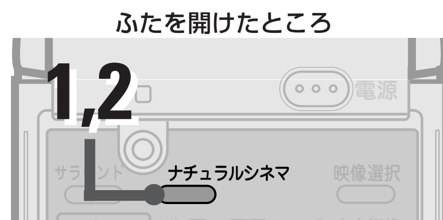
映画ボタンを使うときは

- 2画面中は映画ボタンを押しても、画面サイズは設定されません。
- 次のようなときは映画ボタンの設定は「切り」になります。
  - ・ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
  - ・チャンネルや入力を切り換えたとき
  - ・S1映像信号が入力されたとき

フィルム撮影された映画などをキレイに見る（オートナチュラルシネマ）

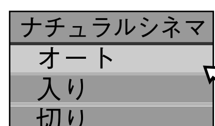
フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。
ナチュラルシネマを使うと、動きの速いところもぼんやり感のない映像でご覧になれます。

ふたを開けたところ



1 ナチュラルシネマボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところにマークが表示されます。



- 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

2 ナチュラルシネマボタンをくり返し押して設定する

押すたびに、「オート」「入り」「切り」が切り換わります。

「オート」
映像に合わせて自動的に「入り」「切り」します。

「入り」
常にナチュラルシネマを使います。

「切り」
そのままの映像で表示します。

しばらくすると、設定画面が消えます。

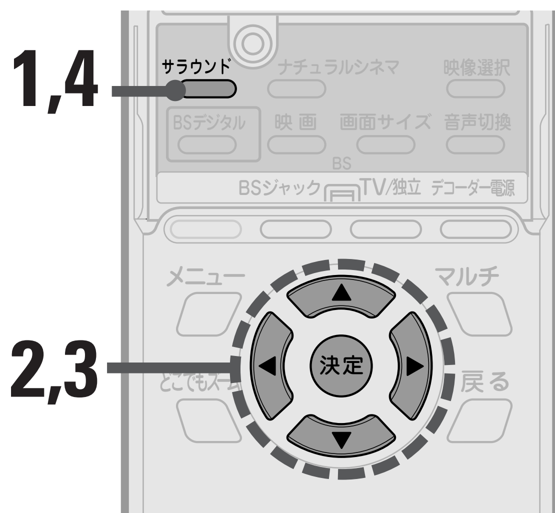
ナチュラルシネマに関するお願い

- 通常は「オート」に設定してください。
- 地上波放送などではナチュラルシネマを「入り」にすると、輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。
- 2画面中や裏番組表示中、番組一覧中はナチュラルシネマは使えません。
- 次のようなときはナチュラルシネマの設定は「オート」になります。
  - ・ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
  - ・チャンネルや入力を切り換えたとき
  - ・2画面や裏番組、番組一覧に画面を切り換えたとき
  - ・D4映像入力端子につないだ機器からの映像を見ているとき
- プログレッシブ（525pや750p）を見ているときは切り換えできません。

臨場感のある音で楽しむ

臨場感溢れる豊かなサウンドをお楽しみいただくための機能です。

ふたを開けたところ



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

サラウンド効果について

ステレオサラウンド
ステレオ放送受信時(☞45ページ)の設定をします。

「強」
より強い音源の広がりを楽しめます。

「弱」
やや強い音源の広がりを楽しめます。

「切り」
お買い上げ時の設定です。

モノラルサラウンド
モノラル放送受信時、二重音声放送の「主音声」「副音声」受信時(☞45ページ)の設定をします。

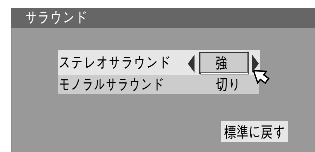
「入り」
広がりのある効果を楽しめます。

「切り」
お買い上げ時の設定です。

- ●外部入力動作時はモノラルサラウンドの設定はできません。
- ●二重音声放送の「主+副音声」(☞45ページ)はステレオサラウンド、モノラルサラウンドとも設定はできません。
- ●ヘッドホンを接続中は設定できません。

1 サラウンドボタンを押す

サラウンドメニューが表示されます。
現在の設定のところに↖マークが表示されます。



2 カーソルボタン(▲▼)を押して、項目を選ぶ

ステレオサラウンドとモノラルサラウンドの選択ができます。

3 カーソルボタン(◀▶)を押して、設定する

4 サラウンドボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

ご注意

サラウンド機能をご使用のときは、音声調節の「左右バランス」(☞44ページ)は調整できません。

節電機能を使うには（おトク設定）

このテレビには次のような節電機能があります。「おトク設定」メニューを使って、節電機能をすべて使うか、選んで使うか、節電機能を使わないかの設定を行います(おトク機能)。

おトク設定の節電機能

■ デジタルE.E.

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になり、目にやさしい機能です。

● 「**入り**」「**切り**」から選びます。

Ecology & Economy(目にやさしい省電力)＋ Electronic Eye(電子の目)の略です。

■ 無信号電源オートオフ

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの再生終了後、約4分間経過すると電源を切って節電します。

● 「**する**」「**しない**」を選びます。

■ 深夜電源オートオフ

設定された時間になると、テレビの電源を切って節電する機能です。

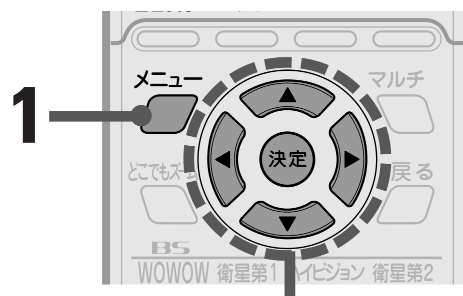
● 「**午前0時**」「**午前1時**」「**午前2時**」「**しない**」から選びます。

おトク設定以外の節電機能

■ テレビ消し忘れ防止 (☞60ページ)

テレビの操作を3時間以上しなかったときに、テレビの電源を自動的に切ります。
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

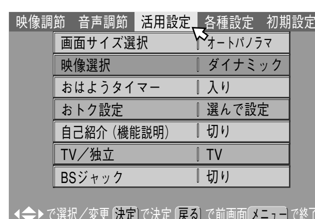
3つの節電機能をすべて使う



1~3

●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して「おトク設定」を選び、決定ボタンを押す

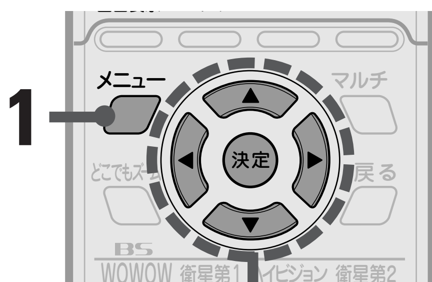
おトク設定
すべて設定する
選んで設定する
設定しない

3 カーソルボタン(▲▼)を押して「すべて設定する」を選び、決定ボタンを押す

設定の内容が数秒間表示されます。

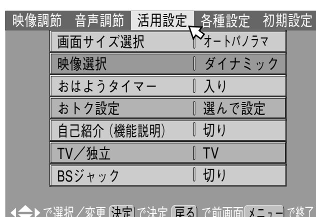
すべて設定	
次のように設定しました	
デジタル E.E.	： 入り
無信号電源オートオフ	： する
深夜電源オートオフ	：午前2時

3つの節電機能から選んで使う



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

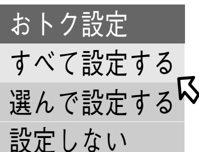


映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定

項目	設定値
画面サイズ選択	オートパノラマ
映像選択	ダイナミック
おはようタイマー	入り
おトク設定	選んで設定
自己紹介(機能説明)	切り
TV／独立	TV
BSジャック	切り

◀◆▶で選択／変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで終了

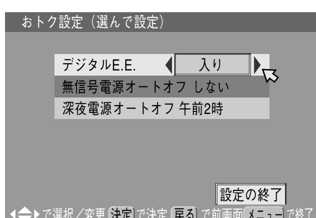
2 カーソルボタン(▼)を押して「おトク設定」を選び、決定ボタンを押す



おトク設定
すべて設定する
選んで設定する
設定しない

3 カーソルボタン(▲▼)を押して「選んで設定する」を選び、決定ボタンを押す

設定画面が表示されます。



おトク設定(選んで設定)

項目	設定値
デジタルE.E.	◀ 入り ▶
無信号電源オートオフ	しない
深夜電源オートオフ	午前2時

設定の終了

◀◆▶で選択／変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで終了

4 カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して必要な項目を設定する

● カーソルボタン(▲▼)で、設定する項目を選ぶ
● カーソルボタン(◀▶)で、設定値を選ぶ

5 カーソルボタン(▼)を押して「設定の終了」を選ぶ

6 決定ボタンを押す

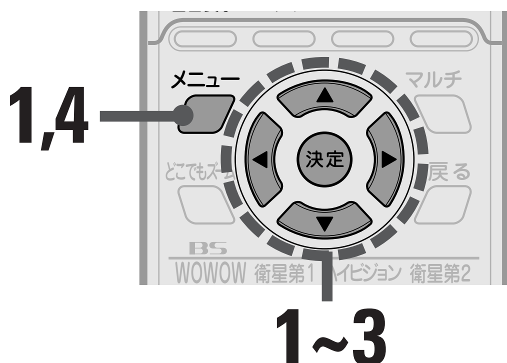
設定画面が消えます。

おトク機能を使わないときは

手順1～手順3をおこない、手順3で「設定しない」を選び、決定ボタンを押します。

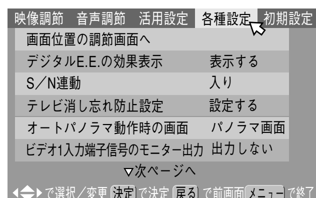
テレビの消し忘れを防ぐ

何も操作しない状態が約3時間以上続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

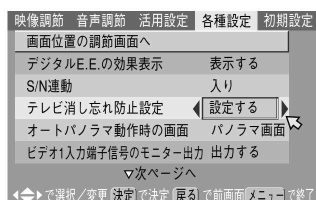


●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して「テレビ消し忘れ防止設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を選ぶ

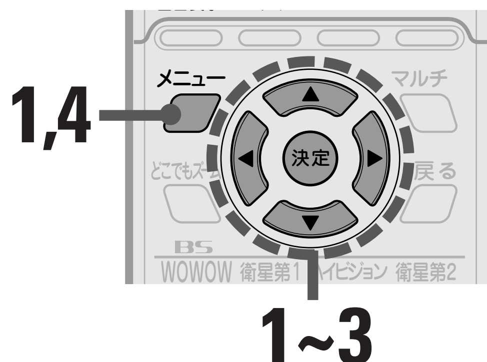
「設定する」
何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。

「設定しない」
この機能は働きません。

4 メニューボタンを押して終了する

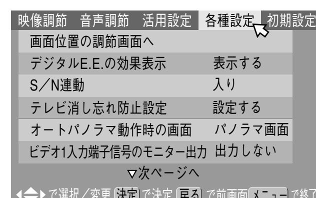
デジタルE.E.の効果を表示する

部屋の明るさが変化したとき、「デジタルE.E.」(☞58ページ)の効果レベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。

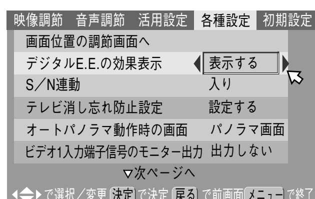


●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を選ぶ

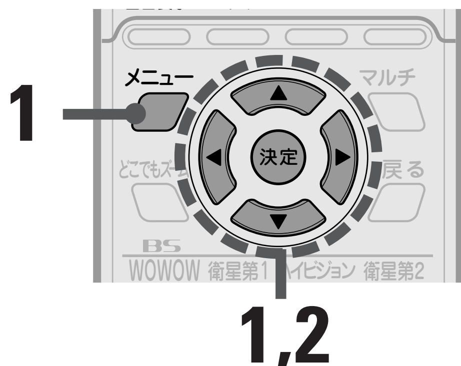
「表示する」
部屋の明るさが変化したとき、デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。

「表示しない」
デジタルE.E.の効果のレベルは表示されません。

4 メニューボタンを押して終了する

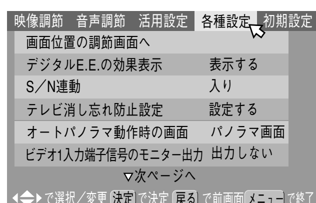
画面の焼きつきをやわらげる

画面の焼きつきや残像を補正するときに使います。
画面の焼きつきが軽減され、残像が消えます。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して次ページ目の「焼きつき低減画面へ」を選び、決定ボタンを押す



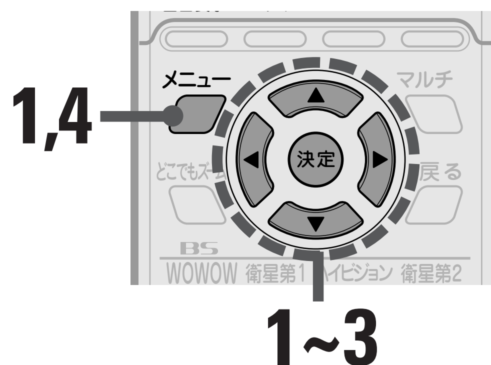
白い帯が画面の左から右へ移動する焼きつき低減画面に変わります。

焼きつき低減機能を解除するには

メニューボタン、戻るボタン、決定ボタンを押すと、焼きつき低減機能が解除されます。

本来の解像度で表示する

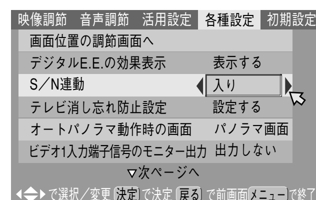
本機はノイズを抑えた見やすい映像でご覧いただく「S/N連動」機能を持っています。通常は、「S/N連動」を「入り」にしてご使用ください。
ノイズを抑えた見やすい映像よりも、解像度を優先したい場合は、「切り」に設定してください。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▼)を押して「S/N連動」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して「入り」「切り」を選ぶ

「入り」
ノイズを抑えた見やすい映像になります。

「切り」
本来の解像度で映像を表示します。

4 メニューボタンを押して終了する

シアタープロを設定する

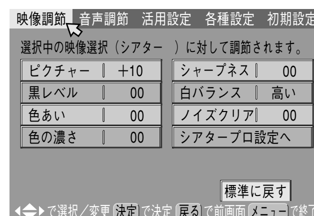
映像選択で「シアター」を選択しているときは、さらに細かい映像の調節ができます。（通常は、お買い上げ時の設定のままで十分な画質になるように調節されています。）
シアタープロの設定は、ご覧になる映像をより細かく調節する機能です。設定できる項目は、微妙な調節をおこなうために専門的な内容になっています。調節するときは、少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら、設定項目の内容を把握されることをおすすめします。

準備： 映像選択で「シアター」を選んでください。（☞42 ページ）



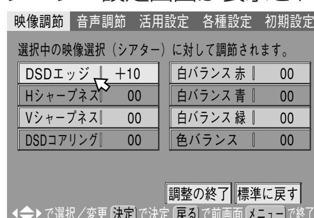
● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン（◀▶）で「映像調節」を選ぶ



2 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「シアタープロ設定へ」を選び、決定ボタンを押す

シアタープロ設定画面が表示されます。



3 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して調節したい項目を選び、決定ボタンを押す

調節画面が表示されます。

例：「DSDエッジ」を選んだとき



例：「白バランス 赤」を選んだとき

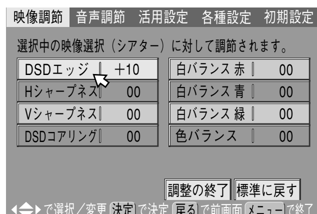


4 カーソルボタン（◀▶）を押して調節する

● 数秒間、操作を行わないと、手順2の画面に戻ります。

5 決定ボタンを押す

シアタープロ設定画面に戻ります。



6 他の項目も調節するときは手順3～5をくり返す

7 カーソルボタン（◀▶▲▼）を押して「調節の終了」を選び、決定ボタンを押す

8 メニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順1～手順3をおこない、手順3で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押します。

「シアタープロ」の設定について

「DSDエッジ」

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻（きゅうしゅん）にして、映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。
設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。
（設定値：輪郭をつけない −30･･･＋30 輪郭をつける）

「Hシャープネス、Vシャープネス」

映像の輪郭部に、明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて、輪郭を強調してはっきりとした映像にします。
調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち、不自然な映像になることがあります。
（設定値：輪郭を強調しない −30･･･＋30 輪郭を強調する）

「DSDコアリング」

画面のざらざら感（ノイズ）を抑えるため、原因となる微少信号成分を除去します。よりノイズを抑えたいときに＋側に調節します。
（設定値：あまりノイズを除去しない −5･･･＋5 よりノイズを除去する）

「白バランス 赤、白バランス 青、白バランス 緑」

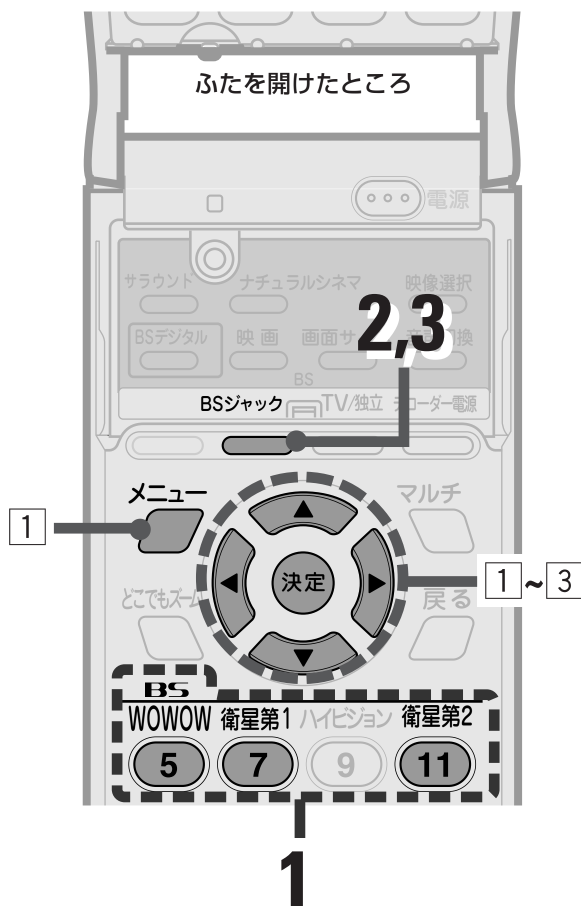
映像の基準となる白をより白く見えるように調節するときに使います。
調節するときには「白バランス赤」、「白バランス青」および「白バランス緑」を相互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。
（設定値：赤色を弱くする−30･･･＋30赤色を強くする）
（設定値：青色を弱くする−30･･･＋30青色を強くする）
（設定値：緑色を弱くする−30･･･＋30緑色を強くする）

「色バランス」

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると、他の色もわずかに変化してしまいます。（例：肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかった葉になってしまった。）このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。
（設定値：青色を弱くする−5･･･＋5 青色を強くする）

BS放送のチャンネルを固定する/タイマー録画する

BSチューナーが内蔵されていないビデオデッキでBS放送を録画したいときは、あやまって別のチャンネルを録画することを防ぐため、BSチャンネルを固定(BSジャック)します。



● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

BSジャックとは

レシーバーのBS(アナログ)チューナーを、接続されているビデオデッキでの録画用に固定する機能です。
そのためBSジャック中は、BS放送のチャンネルや音声を切り換えることはできません。(地上波放送やCATV、ビデオ入力は見ることができます。)

ご注意

BSジャックを「入り(固定)」にして録画しているときに本機の電源を切るときは、リモコンまたはディスプレイ、レシーバーの電源ボタンで切ってください。電源プラグを抜いて電源を切ったり、ディスプレイ後面の主電源を「切」にすると、モニター/BS出力端子からBS放送の映像と音声は出力されませんので、録画が中断されます。

1 録画したいBSチャンネルを選ぶ

● BSチャンネル以外では設定できません。

2 BSジャックボタンを押す

設定画面が表示されます。
現在の設定のところにマークが表示されます。

BSジャック
切り
入り (BS固定)

● 数秒間操作をおこなわないと、設定画面が消えます。

3 BSジャックボタンをくり返し押して、「入り(BS固定)」を選ぶ

しばらくすると、設定画面が消えて、「BSチャンネルを固定しました。」と表示されます。

■ メニューから選ぶ

● BSチャンネル以外では設定できません。

1 **メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ**

映像調節　音声調節　活用設定　各種設定　初期設定

画面サイズ選択	オートパノラマ
映像選択	ダイナミック
おはようタイマー	入り
おトク設定	選んで設定
自己紹介(機能説明)	切り
TV/独立	TV
BSジャック	切り

◀⇔▶で選択/変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで終了

2 **カーソルボタン(▼)を押して「BSジャック」を選び、決定ボタンを押す**
設定画面が表示されます。
現在の設定のところにマークが表示されます。

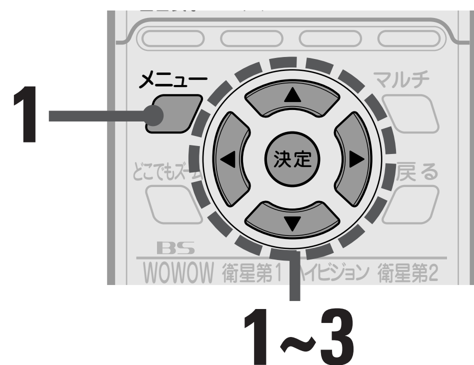
3 **カーソルボタン(▲▼)を押して「入り(BS固定)」を選ぶ**
しばらくすると、設定画面が消えて、「BSチャンネルを固定しました。」と表示されます。

BSジャックを切るときは

手順1～手順3をおこない、手順3で「切り」を選びます。

自己紹介機能を使う

本機には自己紹介機能があります。
本機の持っている機能を自動的に紹介する機能です。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

映像調節　音声調節　**活用設定**　各種設定　初期設定

画面サイズ選択	オートパノラマ
映像選択	ダイナミック
おはようタイマー	入り
おトク設定	選んで設定
自己紹介（機能説明）	切り
TV／独立	TV
BSジャック	切り

◀◆▶で選択／変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで終了

2 カーソルボタン(▼)を押して「自己紹介(機能説明)」を選び、決定ボタンを押す

自己紹介（機能説明）
入り
切り

3 カーソルボタン(▲▼)を押して「入り」を選び、決定ボタンを押す

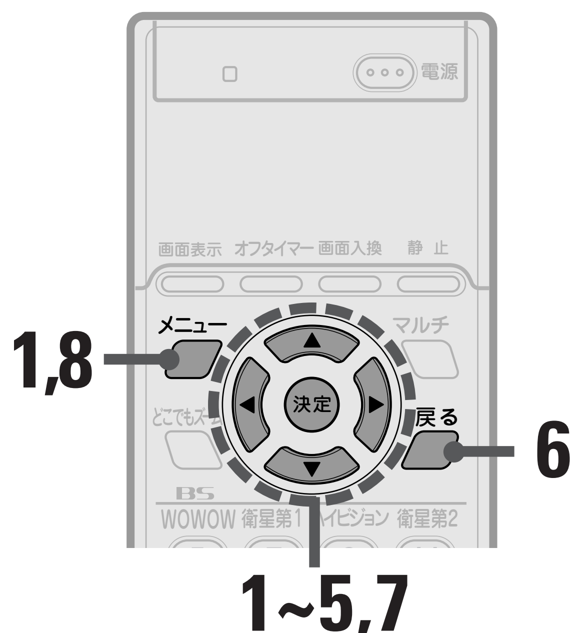
「どこでもズーム」、「デジタルE.E.」の順に自己紹介をおこないます。

自己紹介を止めるには

手順1～手順3をおこない、手順3で「切り」を選び、決定ボタンを押します。
画面には「自己紹介（機能説明）を中止しました」と表示されます。

チャンネルをひとつずつ設定する

各チャンネルを個別に設定します。「チャンネルを合わせる」(☞32ページ)では、全く受信できないときや、一部のチャンネルが受信できないときにこの設定をおこないます。
また、空きチャンネルや画面表示の設定も変更できます。



- **画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。**
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。
  ひとつ前の画面に戻ります。

チャンネルボタン設定の項目について

「見るチャンネル」
チャンネル数字ボタンを押したときに受信するチャンネルを選びます。
(1〜12:VHF放送、13〜62:UHF放送、C13〜C38:CATV放送)

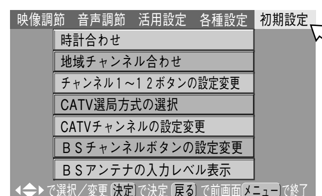
「画面の表示」
テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。
(お買い上げ時は、押したチャンネル数字ボタンの番号が表示されるように設定されています。)

「+−ボタン選局」
チャンネル+/−ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします(チャンネルスキップ)。放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

「GRT(ゴースト低減)」
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
通常は「入り」を選びます。(「地域チャンネル合わせ」をおこなうと、自動的に「入り」に設定されます。ただし、1または2チャンネルでビデオを見るときのために、1、2チャンネルのゴースト低減機能は「切り」に設定されています。)

「受像微調整」
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して「チャンネル1〜12ボタンの設定変更」を選び、決定ボタンを押す

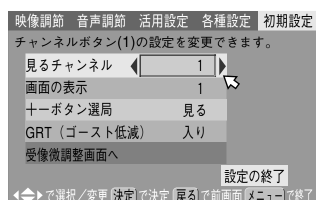
チャンネル数字ボタンの番号



受信するチャンネルの番号
(例:「23区」のとき)

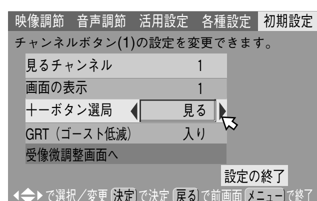
3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して変更したいチャンネル数字ボタンを選び、決定ボタンを押す

設定画面に切り換わります。メニュー背景には選んだチャンネル数字ボタンに設定されているチャンネルの映像に切り換わります。

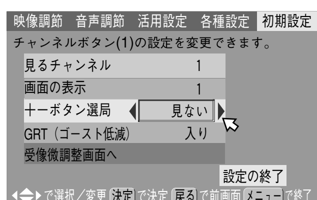


4 カーソルボタン(▲▼)を押して、調節したい項目を選ぶ

● 各項目の内容は、左ページの「チャンネルボタン設定の項目について」をご覧ください。



5 カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する



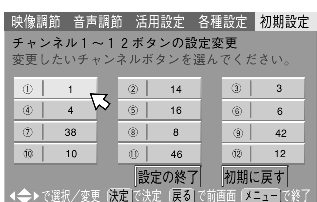
● **受像微調整をおこなうには**
決定ボタンを押して調整画面を表示させ、カーソルボタン(◀▶)を押して調整します。



6 他のチャンネル数字ボタンの設定も変更するときは、戻るボタンを押す

手順3に戻ります。
手順3〜手順6をくり返して設定します。

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「設定の終了」を選び、決定ボタンを押す



8 メニューボタンを押して終了する

空きチャンネルに受信できる他のチャンネルを割り当てるには

1 手順1〜手順3をおこない、手順3で放送を受信していないチャンネル数字ボタンを選ぶ

2 手順4で「見るチャンネル」を選ぶ

3 受信できるチャンネルの番号をカーソルボタン(◀▶)で選ぶ

チャンネルの画面表示を変えるには

例えば、42チャンネルを選んだときに、画面表示も「42」になるように設定できます。

1 手順1〜手順3をおこない、手順3で画面表示を変更したいチャンネル数字ボタンを選ぶ

2 手順4で「画面の表示」を選ぶ

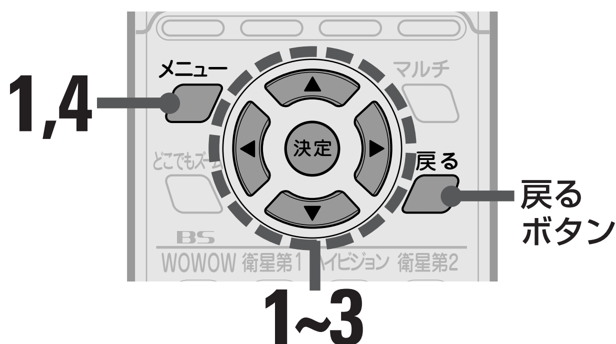
3 表示させたい番号をカーソルボタン(◀▶)で選ぶ

CATVチャンネルを設定する

CATVチャンネルの選局方法を選ぶ

CATVをご覧の方は、まずこちらの設定をおこなってください。
チャンネル番号をチャンネル数字ボタンで直接入力して選局することができます。

● CATVをご覧にならない場合、CATVをご覧の場合でも受信できるチャンネル数が12以下のときは、この設定は必要ありません。受信できるチャンネル数が12以下のときには、「チャンネルをひとつずつ設定する」(☞66ページ)の方法で設定を行ってください。



● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

● 設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。
ひとつ前の画面に戻ります。

CATVについて

CATV（ケーブルテレビ）はサービスのおこなわれている地域でだけ受信できます。
CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。
また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

数字入力方式でのチャンネルの選びかた

「数字入力方式」に設定した場合、地上波放送とCATVのチャンネルを選ぶには、チャンネル番号をチャンネル数字ボタンで入力します。

例：VHFの1チャンネルを選局するときは
　0(11)、1と押す

例：VHFの12チャンネルを選局するときは
　1、2と押す

例：CATVのチャンネル34を選局するときは
　3、4と押す

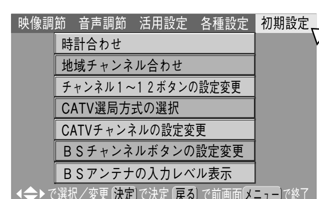
● 1けたのチャンネル番号を入力するときは、チャンネル番号を入力したあと、12（選局）ボタンを押しても入力できます。

例：VHFの1チャンネルを選局するときは
　1、12(選局)と押す

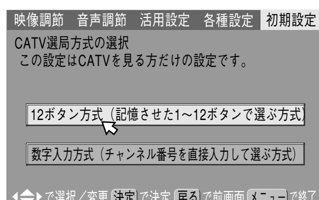
ご注意

「数字入力方式」に設定すると、地上波放送のチャンネルも数字入力方式になります。CATVをご覧にならないときは「12ボタン方式」を選んでください。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▼)を押して「CATV選局方式の選択」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(▲▼)を押して「数字入力方式」を選び、決定ボタンを押す

初期設定メニューに戻ります。



4 メニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの1～12ボタンで直接選局できるように戻すには、手順1～手順3をおこない、手順3で「12ボタン方式」を選び、決定ボタンを押します。

CATVチャンネルをひとつずつ設定する

受信するCATVチャンネルを個別に設定します。
準備:「CATV選局方式の選択」(☞68ページ)で「数字入力方式」を選びます。



● **画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。**
● **設定を途中でやり直すには**
戻るボタンを押します。
ひとつ前の画面に戻ります。

CATVチャンネル設定の項目について

「設定チャンネル」
設定するチャンネルの番号を選びます。
(C13〜C38)

「+−ボタン選局」
チャンネル+/−ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

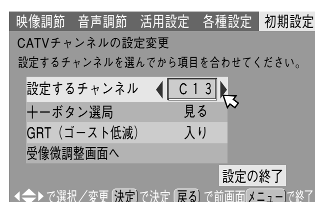
「GRT(ゴースト低減)」
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
通常は「入り」を選びます。(お買い上げ時はすべてのCATVチャンネルで「入り」になっています。)

「受像微調整」
受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ

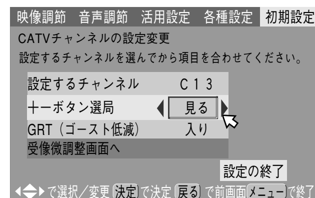
2 カーソルボタン(▼)を押して「CATVチャンネルの設定変更」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(◀▶)を押して「設定するチャンネル」を選ぶ



4 カーソルボタン(▲▼)を押して項目を選ぶ

● 各項目の内容は、左記の「CATVチャンネル設定の項目について」をご覧ください。



5 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する

● **受像微調整をおこなうには**
決定ボタンを押して調整画面を表示させ、カーソルボタン(◀▶)を押して調整します。



6 他のチャンネルも変更するときは手順3〜5をくり返す

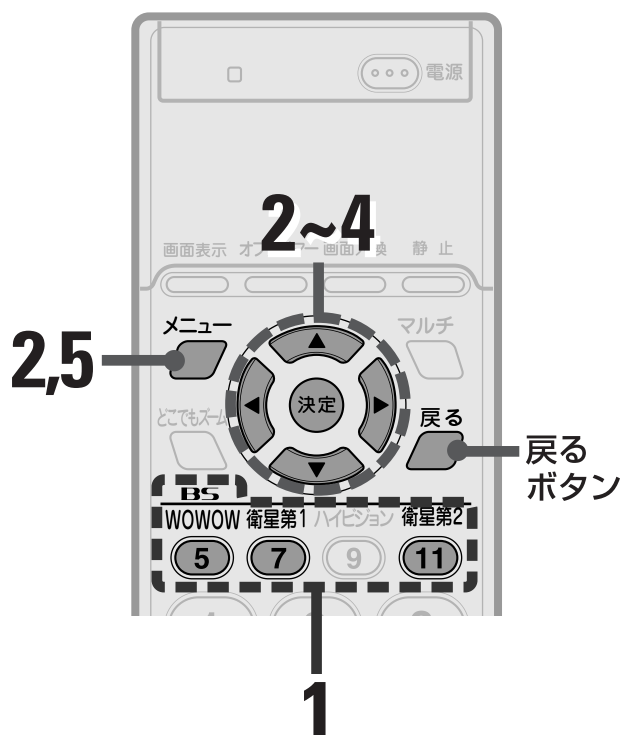
7 変更が終わったらカーソルボタン(▼)を押して「設定の終了」を選び、決定ボタンを押す

8 メニューボタンを押して終了する

BSアンテナを設定する

BSアンテナへの電源供給を設定する

BSアンテナに電源を供給するか、しないかを設定します。
（BS内蔵ビデオデッキを接続している場合は、28ページもご覧ください。）



- **画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。**
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。
  ひとつ前の画面に戻ります。

BSアンテナへの電源供給設定について

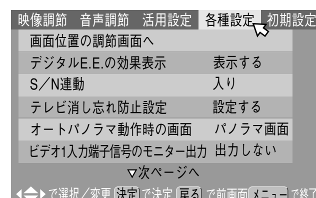
「供給する」
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給します。ただし本機の電源を切ると、電源は供給されません。（電源を切ったときに、BSジャックが「入り（BS固定）」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。）
一般家庭などで個別にBSアンテナを設置している場合に選びます。

「供給しない」
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給しません。
マンションなどで共聴アンテナに接続している場合や他のBS機器から電源を供給している場合に選びます。

ご注意
共聴アンテナの設備によっては、「BSアンテナへの電源供給設定」を「供給する」にする必要があることがあります。ご不明の際は建物の管理者などにお問い合わせください。

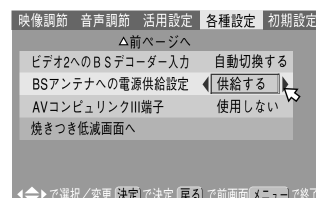
1 BS放送のチャンネルを選ぶ

2 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン（◀▶）で「各種設定」を選ぶ



3 カーソルボタン（▲▼）を押して、次ページ目の「BSアンテナへの電源供給設定」を選ぶ

- 「BSアンテナへの電源供給設定」はカーソルボタン（▼）をくり返し押すと表示されます。



4 カーソルボタン（◀▶）を押して設定を変更する

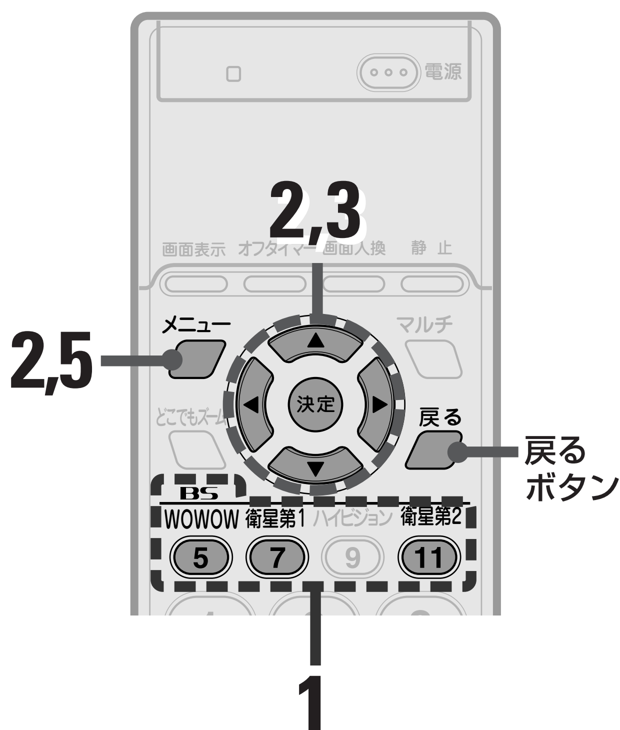
- 設定の内容は、左記の「BSアンテナへの電源供給設定について」をご覧ください。

5 メニューボタンを押して終了する

- **個別にBSアンテナを設置したとき（本機に直接接続しているとき）は、次ページの「BSアンテナの向きを調節する」に進んでください。**

ＢＳアンテナの向きを調節する

個別にBSアンテナを設置するときに使用します。
画面で入力レベルを確認しながら、BSアンテナの向きを調節します。



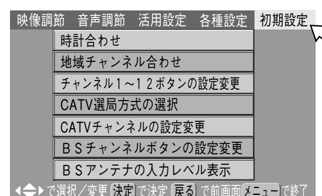
- **画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。**
- **設定を途中でやり直すには**
  戻るボタンを押します。
  ひとつ前の画面に戻ります。

BSアンテナの向きを調節するときは

- 入力レベルの数値が最大レベルに近づくようにBSアンテナの向きを調整します。
- BSアンテナは少しずつ動かしてください。入力レベルの表示は、アンテナの動きより少し遅れます。
- 入力レベルの数値は目安です。放送がきれいに映っていれば、数値の大小を気にする必要はありません。
- BSアンテナの設置は、販売店に依頼されることをおすすめします。

1 BS放送のチャンネルを選ぶ

2 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◄►)で「初期設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(▲▼)を押して「ＢＳアンテナの入力レベル表示」を選び、決定ボタンを押す

ＢＳアンテナの入力レベル表示
入力レベルが最大レベルになるように、
アンテナの向きを調節してください。
入力レベル ０ ０
最大レベル ０ ０
設定の終了

4 画面を見ながらBSアンテナの向きを調節する

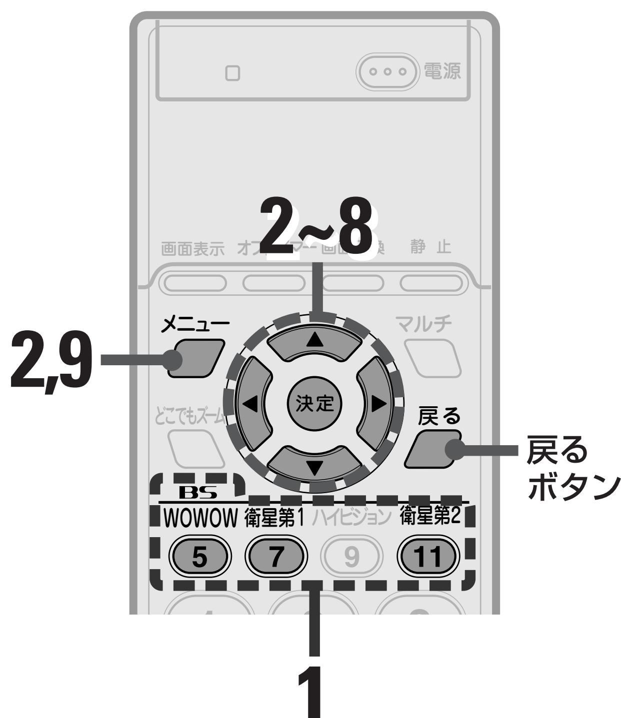
- 調節については、左記の「BSアンテナの向きを調節するときは」をご覧ください。

ＢＳアンテナの入力レベル表示
入力レベルが最大レベルになるように、
アンテナの向きを調節してください。
入力レベル ２ ０
最大レベル ２ ０
設定の終了

5 メニューボタンを押して終了する

BSチャンネルの設定を変更する

BS(アナログ)放送の設定を変更できます。
チャンネル+/−ボタンで切り換えるときに受信していないBSチャンネルを選ばないようにする(チャンネルスキップ)設定や、画面表示の変更ができます。



●画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。
●設定を途中でやり直すには
戻るボタンを押します。
ひとつ前の画面に戻ります。

BSチャンネルの設定について

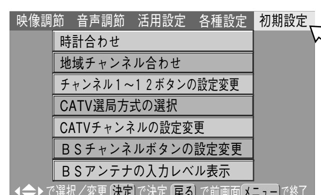
「設定チャンネル」
設定を変更するBSチャンネルを選びます。
(BS1、3、5、7、9、11、13、15)

「画面の表示」
テレビ画面の表示を選びます。
(表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン)
通常は変える必要はありません。

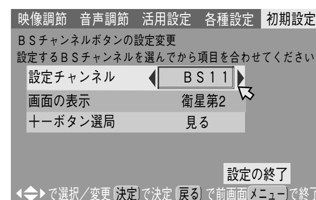
「+−ボタン選局」
チャンネル+/−ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないチャンネルをスキップしたいときは、「見ない」を選びます。

1 BS放送のチャンネルを選ぶ

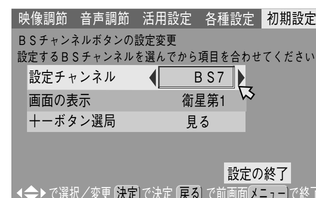
2 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(▼)を押して「BSチャンネルボタンの設定変更」を選んで、決定ボタンを押す

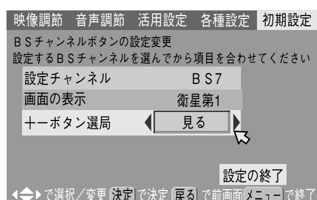


4 カーソルボタン(◀▶)を押して設定するチャンネルを選ぶ

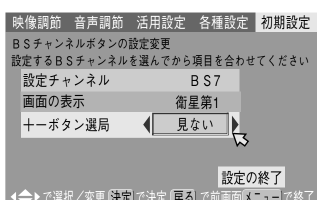


5 カーソルボタン(▲▼)を押して項目を選ぶ

● 各項目の内容は、左ページの「BSチャンネルの設定について」をご覧ください。



6 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する



7 他のBSチャンネルボタンの設定を変更するときは手順4〜6をくり返す

8 変更が終わったら、カーソルボタン(▼)を押して「設定の終了」を選び、決定ボタンを押す

初期設定メニューに戻ります。



9 メニューボタンを押して終了する

BS（アナログ）放送のチャンネルについて

2001年11月現在、放送がおこなわれているBSアナログ放送のチャンネルは次のとおりです。

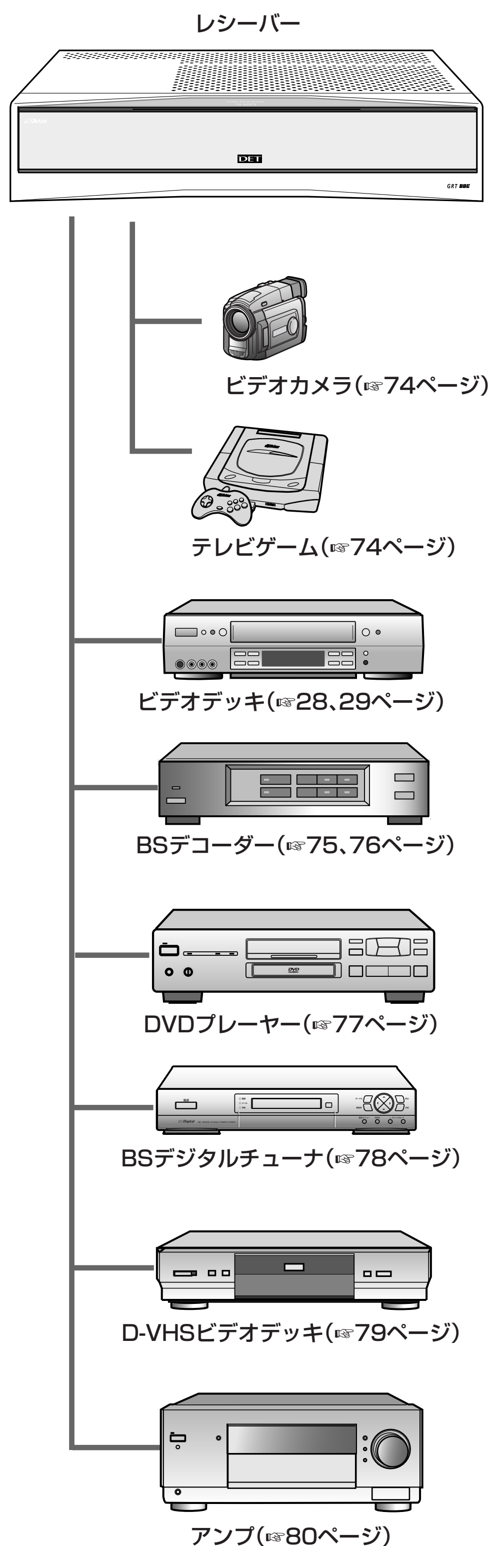
BS 5	WOWOW
BS 7	衛星第 1
BS 9	NHK ハイビジョン
BS 11	衛星第 2

ご注意

● お買い上げ時は、本機の画面表示の設定も上の表と同じ組み合わせになっています。変更する必要はありません。
● BSチャンネルボタンに割り当てられているチャンネルを変更することはできません。
● 本機では、BS9のハイビジョン放送を受信することはできません。

レシーバーの入力端子に接続できる機器

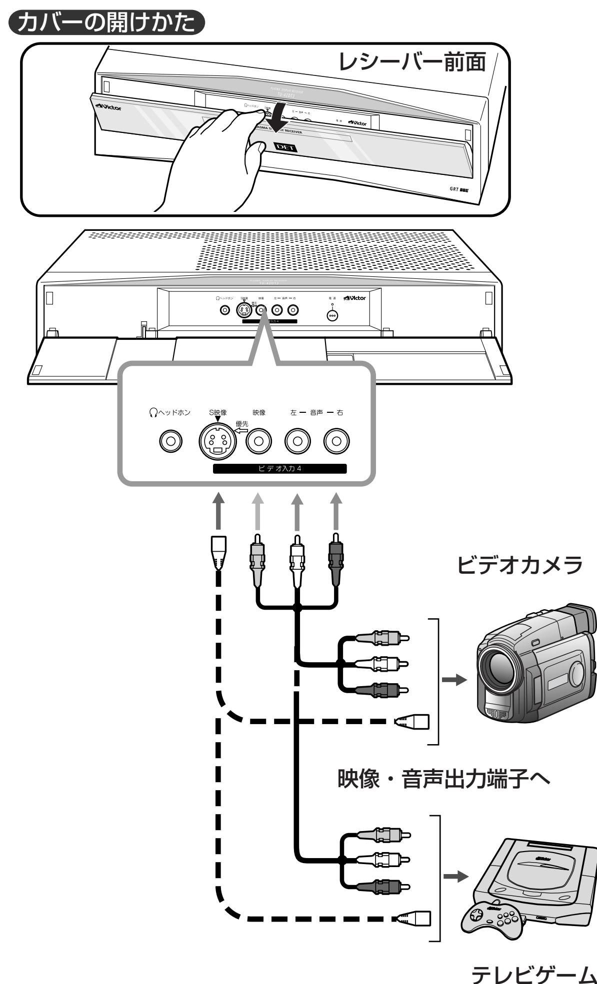
接続が終わるまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



● MUSEデコーダーは接続できません。

ビデオカメラ/テレビゲームをつなぐ

レシーバー前面のビデオ入力4端子に接続します。
接続が終わるまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



● ビデオカメラやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要なときがあります。詳しくは、ビデオカメラやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
● S映像出力があるときは、S映像コードで接続することをおすすめします。映像コードも同時に接続されているときは、S映像コードからの信号が優先されます。

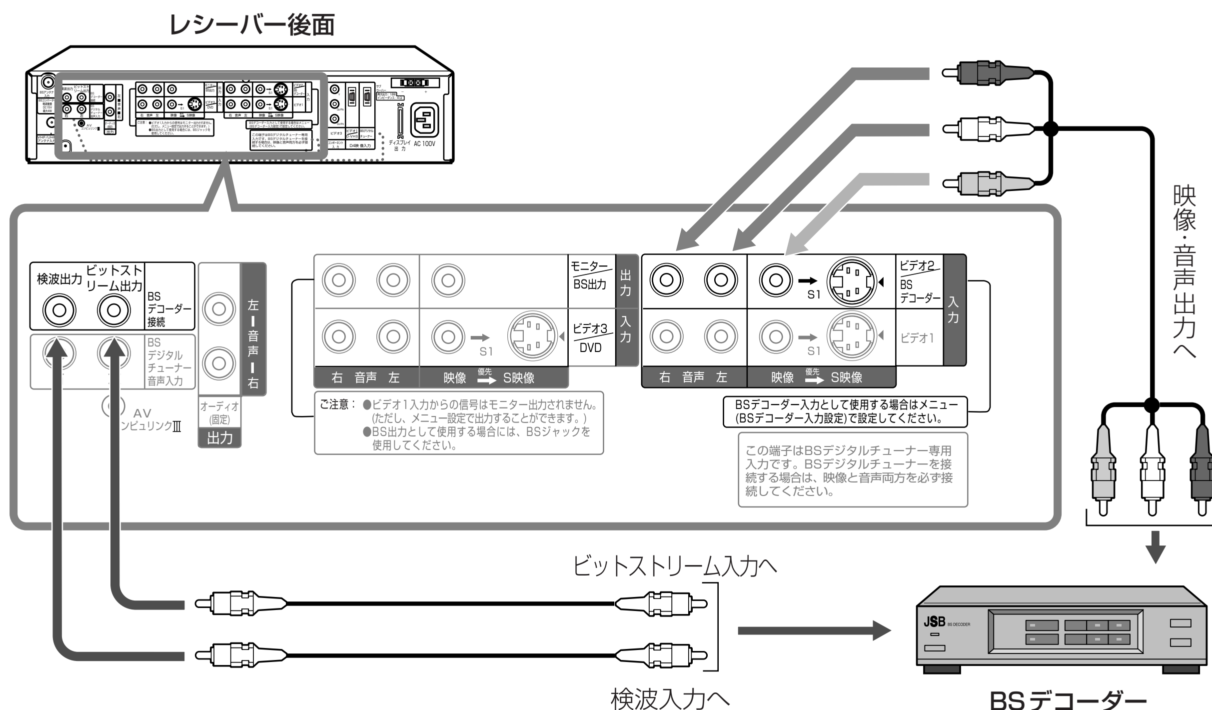
ビデオカメラやテレビゲームを楽しむには

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ4」を選ぶ

入力切換
5
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
BSデジタル

BSデコーダーをつなぐ

ご注意:
- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



■接続後に次の設定をしてください

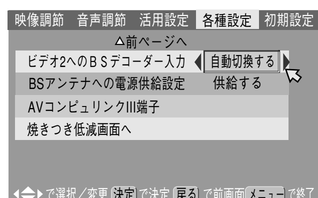
ビデオ2端子をBSデコーダーに設定する

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▼)を押して次ページの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を選ぶ

● 「ビデオ2へのBSデコーダー入力」はカーソルボタン(▼)をくり返し押すと表示されます。

3 カーソルボタン(◀▶)を押して「自動切換する」を選ぶ



設定について

「自動切換する」
BSデコーダーを接続したときに選びます。

「常に使用する」
BSデコーダーで独立音声を選んでもSt.GIGA放送が聞けないときなど、BSデコーダー入力として固定したいときに選びます。

「使用しない」
ビデオ2入力端子として使うときに選びます。

4 メニューボタンを押して終了する

WOWOWを見る

1 デコーダー電源ボタンを押してBSデコーダーの電源を入れる

2 本機でBS5チャンネルを選ぶ

● 音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞く

1 デコーダー電源ボタンを押してBSデコーダーの電源を入れる

2 本機でBS5チャンネルを選ぶ

3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ

● BSデコーダー側で独立音声を選んでもSt.GIGAの音声が聞けないときは、メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」に設定してください。

BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキをつなぐ

ご注意:
- ●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- ●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

接続するビデオデッキに外部BS入力端子（機種により名前が異なることがあります）がないときは、29ページの方法で接続してください。

アンテナの接続： VHF/UHFアンテナとBSアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。（☞28ページ）

ビットストリーム入力へ
検波入力へ
映像･音声出力へ
映像･音声出力へ
BSデコーダー
レシーバー後面
映像･音声出力へ
S映像出力へ
ビットストリーム入力へ
検波入力へ
検波出力へ
ビットストリーム出力へ
映像･音声入力へ
BS内蔵のビデオデッキ

■接続後に次の設定をしてください

- ●メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」にする。（☞75ページ）
- ●メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。（☞79ページ）

ビデオを見る

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」を選ぶ

WOWOWを見る

1 デコーダー電源ボタンを押してBSデコーダーの電源を入れる

2 本機でBS5チャンネルを選ぶ

- ● 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞く

1 デコーダー電源ボタンを押してBSデコーダーの電源を入れる

2 本機でBS5チャンネルを選ぶ

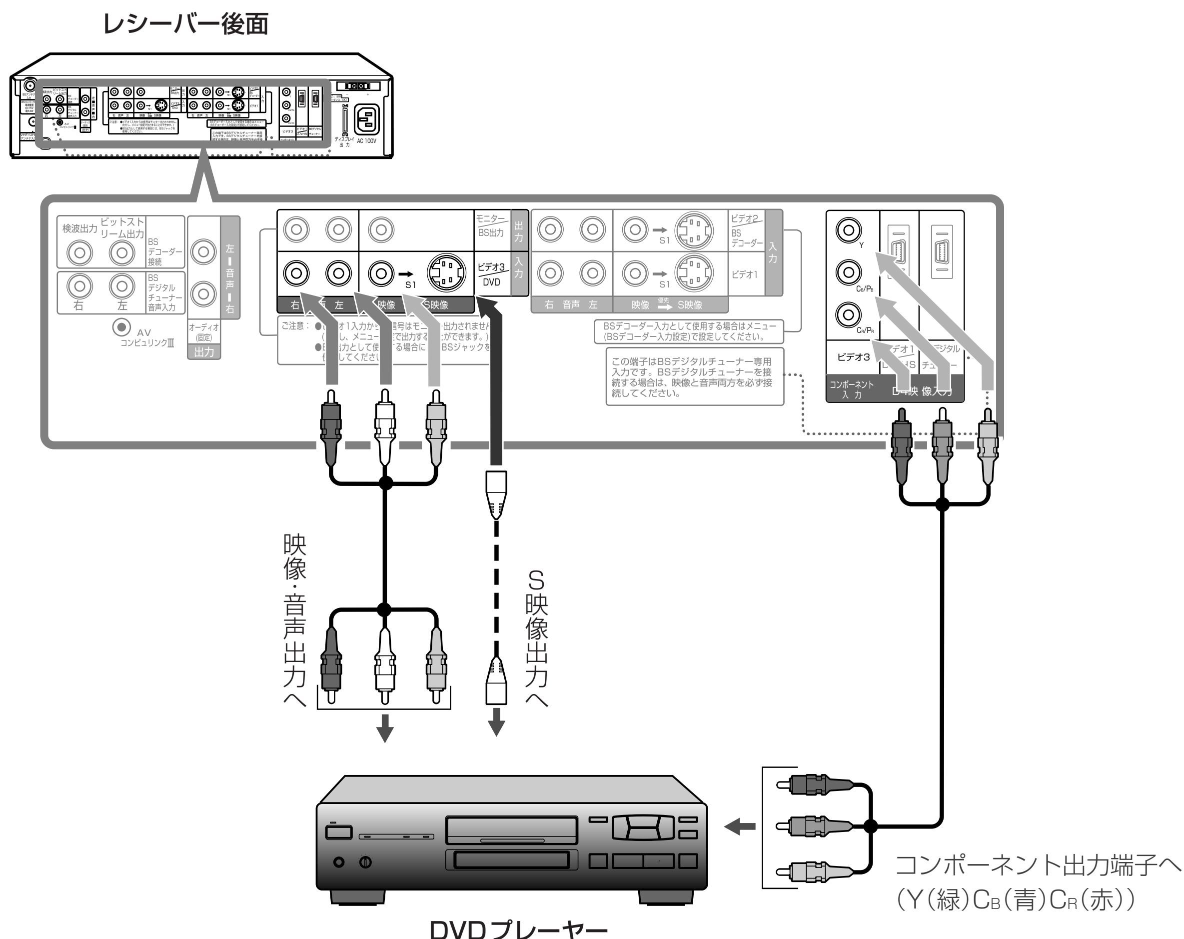
3 BSデコーダー側で独立音声（St. GIGA）を選ぶ

- ● BSデコーダー側で独立音声を選んでもSt.GIGAの音声が聞けないときは、メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」に設定してください。



DVDプレーヤーをつなぐ

ご注意:
●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



● AVコンピュリンク端子のあるDVDプレーヤーに接続するときは81ページもご覧ください。

■接続後に次の設定をしてください

●DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

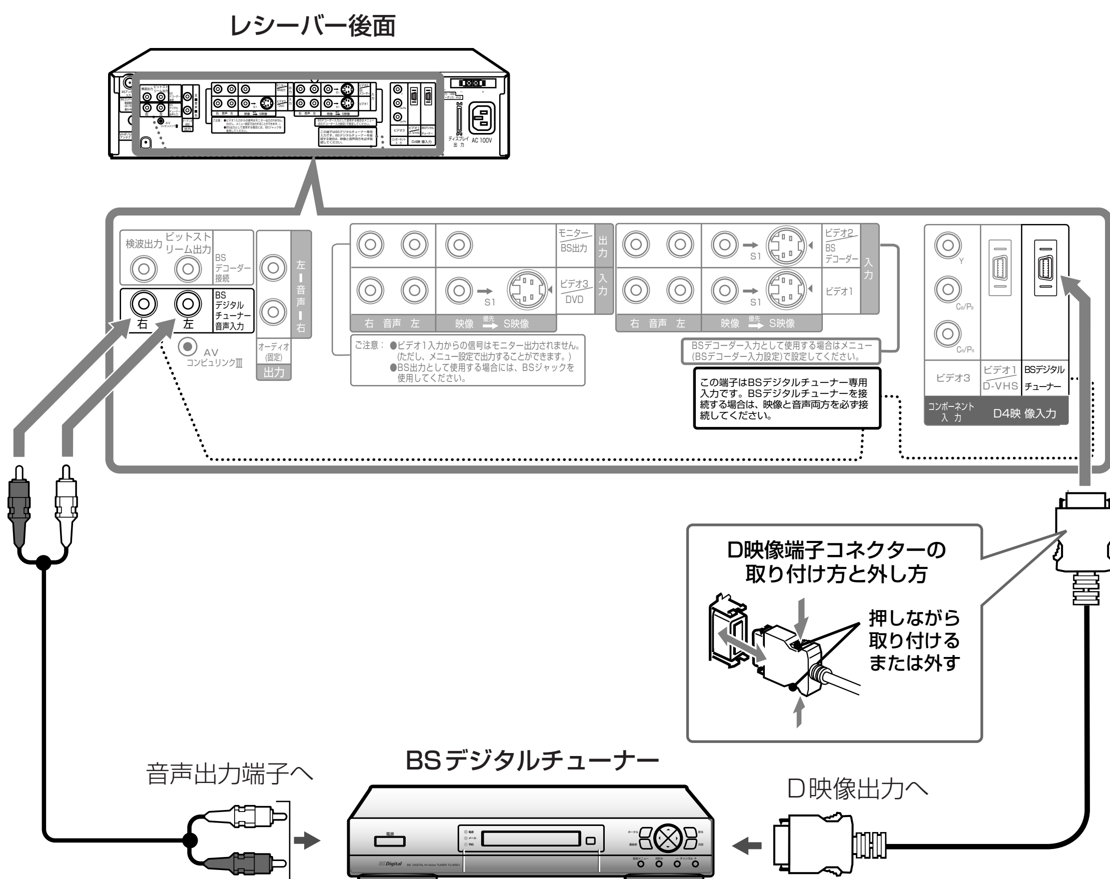
DVDを見るときは

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ3」を選ぶ

入力切換
5
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
BSデジタル

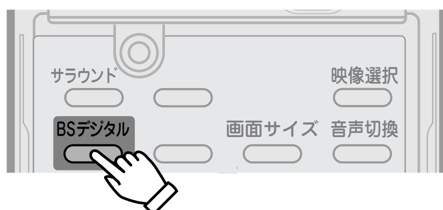
BSデジタルチューナーをつなぐ

ご注意:
●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



BSデジタル放送を見る

ふたを開けたところ



1 **BSデジタルチューナーの電源を入れる**

2 **BSデジタルボタンを押す**

入力が「BS デジタル」に切り換わります。
- 入力切換ボタンをくり返し押しても、「BSデジタル」を選べます。
- BSデジタルチューナー入力(「BSデジタル」)はD4映像端子専用の入力端子です。D映像端子に機器が接続されていないと選べません。

3 **BSデジタルチューナー側でチャンネルを選ぶ**

画面サイズについて

画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

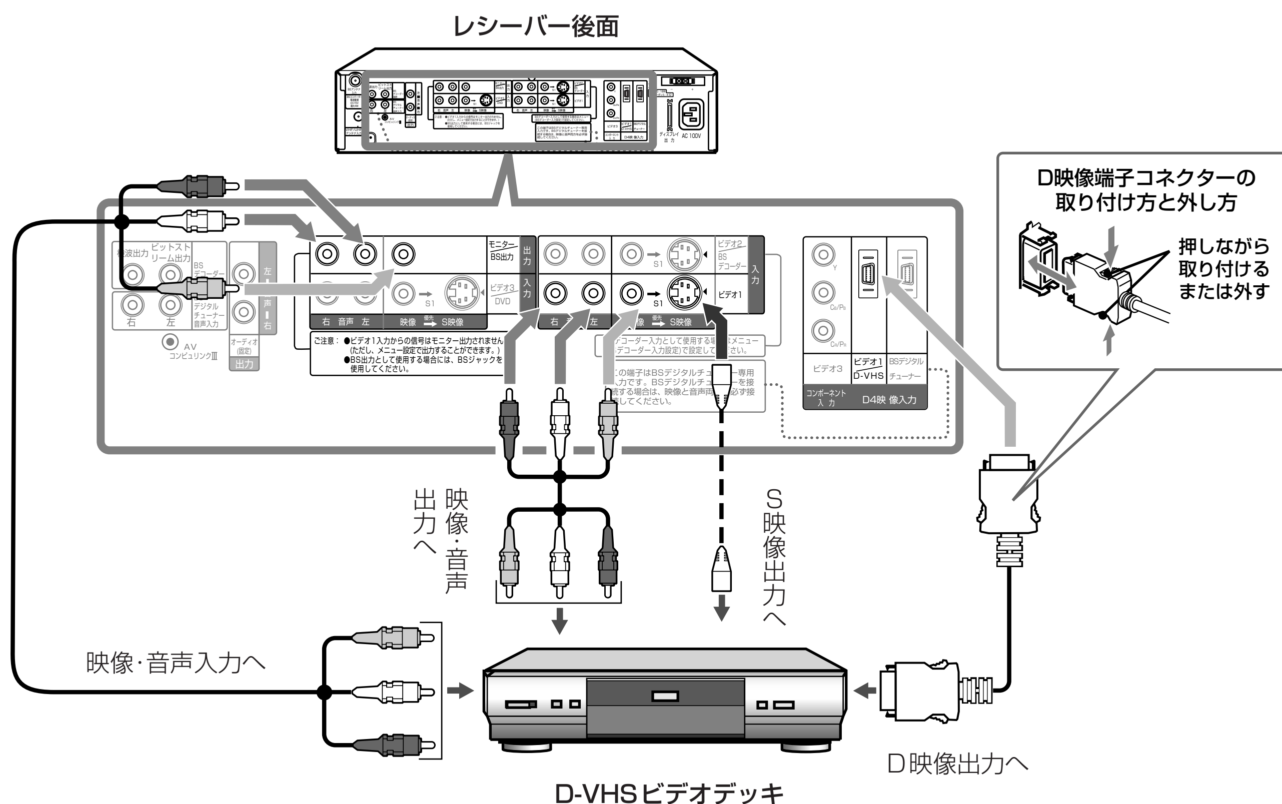
- 16:9の映像の場合:
  「フル」になります。
  ・ハイビジョン(1125i、750p)の映像信号はフルになります。
- 劇場サイズの映像の場合:
  「シネマ」になります。
- 通常の4:3の映像の場合:
  メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。

画面サイズが自動的に切り換わった後で、お好きな画面サイズを選ぶことができます。(ただし、標準(525i)の映像信号のときのみ、オートパノラマを選ぶことができます。)

D-VHSビデオデッキをつなぐ

ご注意:
●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

アンテナの接続： VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。（☞28ページ）
BSチューナーを内蔵していないビデオデッキでは、BSアンテナを本機につなぎます。（☞26ページ）



●D-VHSビデオデッキにD映像出力端子があるときはD映像端子を接続してください。
● AVコンピュリンク端子のあるD-VHSビデオデッキに接続するときは81ページもご覧ください。

■接続後に次の設定をしてください

ビデオ1入力端子からの信号を出力しないように設定する

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◄►)で「各種設定」を選ぶ
2 カーソルボタン(▲▼)を押して「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を選び、決定ボタンを押す
3 カーソルボタン(◄►)を押して「出力しない」を選び、決定ボタンを押す
4 メニューボタンを押して終了する

画面にノイズ（たて線など）が出るときは

ケーブルを通してノイズが入っていることが考えられます。シールドのしっかりしたケーブルに交換したり、ケーブルの位置をかえて、ノイズが少なくなるようにしてください。

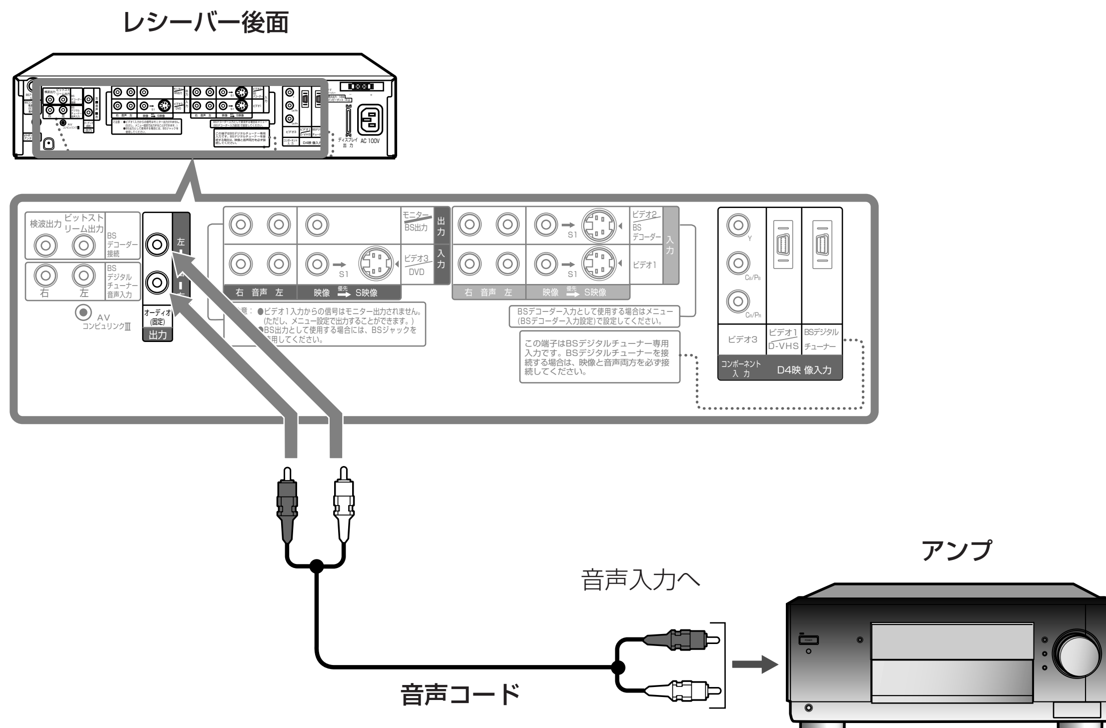
ビデオを見るときは

入力切換ボタンをくり返し押して「ビデオ1」を選ぶ

アンプをつなぐ

ご注意:
●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

別売りのアンプでステレオ音声を楽しむことができます。



● AVコンピュリンク端子のあるAVアンプに接続するときは81ページもご覧ください。

アンプ(オーディオシステム)で ステレオ音声を楽しむには

詳しくは、アンプ(オーディオシステム)の取扱説明書をご覧ください。

1. **アンプ(オーディオシステム)の電源を入れる**
2. **アンプ(オーディオシステム)のソースセレクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ**
3. **アンプ(オーディオシステム)で音量を調節する**

ＡＶコンピュリンクの接続をする

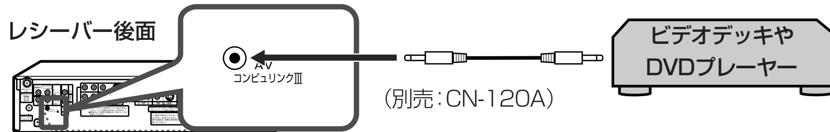
ご注意:
●接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
●接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

本機にはＡＶコンピュリンク機能があります。ＡＶコンピュリンクに対応したビクター製のビデオデッキ、ＤＶＤプレーヤー、ＡＶアンプなどを接続すると、接続した機器と連携した動作ができ、操作がより簡単になります。本機はAVコンピュリンクIIIに対応しています。AVコンピュリンクIIIに対応した機器は本機のD4映像入力(コンポーネント映像信号入力)接続に対応しています。

接続例

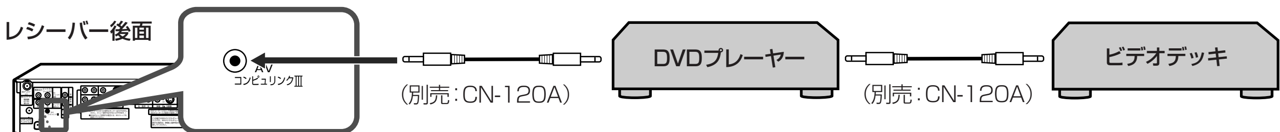
1）ビデオデッキ、またはDVDプレーヤーを接続

●AVコンピュリンク以外の接続は29、77、79ページをご覧ください。



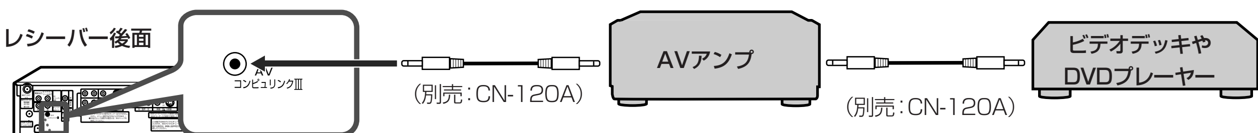
2）ビデオデッキとDVDプレーヤーを接続

●AVコンピュリンク以外の接続は29、77、79ページをご覧ください。



3）AVアンプとビデオデッキ、DVDプレーヤーを接続

●AVコンピュリンク以外の接続はAVアンプの取扱説明書をご覧ください。



AVコンピュリンクを接続するとできる操作

1）ビデオデッキを接続したとき

ビデオデッキ側の操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る(電源が切れていたとき) ビデオデッキをつないだ入力に切り換わる
再生の操作をする	
BSチャンネルの選局(*)	BSジャック「入り」になり、BSチャンネルが選局されます。
BSチャンネルのタイマー録画予約 (*)	予約時間になると、BSジャック「入り」になり、BSチャンネルが選局されます。

*BSチューナーなしのビデオデッキの場合のみ。

2）DVDプレーヤーを接続したとき

DVDプレーヤー側の操作	テレビの動作
再生の操作をする	テレビの電源が入る(電源が切れていたとき) DVDプレーヤーをつないだ入力に切り換わる

3）AVアンプとビデオデッキやDVDプレーヤーを接続したとき

AVアンプ側の操作	テレビの動作
電源を入れる	テレビの電源が入る(前回ビデオデッキやDVDを選んでいて、テレビの電源が切れていたとき)
ビデオデッキやDVDの入力を選ぶ	AVアンプをつないだ入力に切り換わる
電源を切る	電源が切れる

●詳しい操作や設定についてはAVアンプの取扱説明書をお読みください。

ビデオデッキの設定

ビデオデッキでリモコンコードを次のように設定します。

●ビデオ１入力端子に接続したとき
→「Ａコード」に設定します。

●ビデオ２入力端子に接続したとき
→「Ｂコード」に設定します。

DVDプレーヤーの設定

DVDプレーヤーでAVコンピュリンクモードを次のように設定します。

●ビデオ３入力端子に接続したとき
→「DVD1」に設定します。

●ビデオ１入力端子に接続したとき
→「DVD2」に設定します。

●ビデオ２入力端子に接続したとき
→「DVD3」に設定します。

AVコンピュリンクを使えるように設定する

AVコンピュリンク機能を使って、ビデオデッキやDVDプレーヤー、AVアンプと連携操作をするには、次の設定をおこなってください。

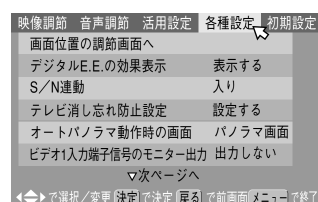


● 画面の焼きつきを防ぐために、設定の途中で3分間操作をおこなわないとメニューが消えます。

AVコンピュリンクIIIを使わないときは

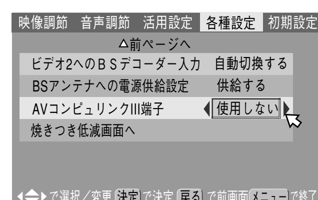
手順1～手順3をおこない、手順3で「使用しない」を選びます。

1 メニューボタンを押してメニューを表示させ、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

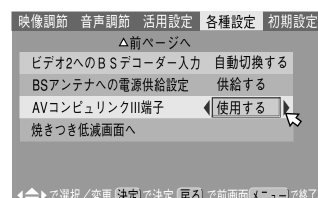


2 カーソルボタン(▼)を押して次ページ目の「AVコンピュリンクIII端子」を選ぶ

「AV コンピュリンク III 端子」はカーソルボタン(▼)をくり返し押すと表示されます。



3 カーソルボタン(◀▶)を押して「使用する」を選ぶ



4 メニューボタンを押して終了する

故障かな?と思うまえに
一症状とその原因と対処方法（Q&A）

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症　状	A 原因と対処（参照ページ）
●電源が入らない ●リモコンで操作できない	■ 電源プラグがはずれていませんか。（30ページ） ■ ディスプレイ後面の主電源ボタンは「入」になっていますか。（31ページ） ■ ディスプレイとレシーバーを接続するシステムケーブルがはずれていませんか。（22～25ページ） ■ リモコンの電源ボタンを押したときにリモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。（30ページ）
●正常に動作しない	■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
●VHF/UHFが映らない	■ アンテナは正しく接続されていますか。（26～28ページ） ■ チャンネル合わせは済んでいますか。（32ページ） ■ チャンネル+/－ボタンで選べないときは、メニューの「+/－ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。（66、67ページ）
●CATVが映らない	■ 受信契約はお済みですか。 ■ ケーブルは正しく接続されていますか。 ■ チャンネル+/－ボタンで選べないときは、メニューの「+/－ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。（69ページ）
●アナログBSが映らない	■ BSアンテナは正しく接続されていますか。（26～28ページ） ■ BSアンテナの向きが変わっていませんか。（71ページ） ■ コンバーターに電源が供給されていますか。（70ページ）
●「BSデジタル」入力が選べない	■ レシーバー後面のBSデジタルチューナー入力端子に何も接続されていないときは、「BSデジタル」は選べません。（78ページ）

一症状とその原因と対処方法(Q&A)(つづき)

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
● アナログBSの有料放送が映らない	■ 受信契約はお済みですか。 ■ BSデコーダーは正しく接続されていますか。(75、76ページ) ■ BSデコーダーの電源は入っていますか。 ■ メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「自動切換する」または「常に使用する」になっていますか。(75ページ)
●色が出ない、おかしい	■ 色あいや色の濃さの調節がズレていませんか。映像調節をやり直してください。(43ページ) ■ 受信周波数がズレていませんか。メニューの「初期設定」の「チャンネル1〜12ボタンの設定変更」で「受像微調整」をおこなってみてください。(66ページ)
●音が出ない	■ ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。 ■ 消音ボタンを押していませんか。(41ページ) ■ フロントスピーカー、サブウーハーは正しく接続されていますか。(22〜25ページ)
●音声が重なって聞こえる	■ 二重音声放送の音声が「主+副音声」になっていませんか。(45ページ)
● アナログBS放送の音声が切り換えられない	■ メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認してください。設定が「自動切換する」または「常に使用する」になっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えができません。(75ページ) ■ BSジャックが「入り(BS固定)」のときは、音声は切り換えられません。(64ページ)

Q 症　状	A 原因と対処（参照ページ）
●チャンネルを選ぶときの動作がおかしい	■ CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。（68ページ）
● メニュー画面が表示中に消えてしまう	■ メニュー設定の途中で 3 分以上放置すると、画面の焼きつきを防ぐために、メニューが消えます。そのときは、もう一度メニューを表示させて操作を行ってください。（61ページ）
●接続したAV機器からの映像、音声が出ない	■ AV機器は正しく接続/設定されていますか。（74～82ページ） ■ 正しいビデオ入力を選んでいますか。（41ページ） ■ AV機器の電源は入っていますか。
●突然電源が切れた	■ オフタイマーを設定していませんか。（49ページ） ■ 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。（58ページ） ■ テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。（60ページ）
●画面表示が消えない	■ ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいますか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。（41ページ）
● アナログBS放送のチャンネルが選べない	■ BSジャックが「入り（BS固定）」のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。（64ページ）
●2画面表示にならない	■ 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映すことはできません。（52ページ） ■ 左右の画面で同時にBS放送を見ることはできません。

Q 症 状	A 原因と対処(参照ページ)
●静止画にならない	■ 2画面、裏番組、番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。
●映像が乱れる	■ 本機の近くで携帯電話を使用していませんか。2m以上離れて使用してください。 ■ ビデオ1入力端子に接続しているビデオデッキからの映像が乱れるときは、「各種設定メニュー」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定してください。(79ページ)
●電源を切っているのに本体があたたかい	■ 電源を切っていても、一部の電気回路は作動しています。故障ではありません。
●ビデオデッキなどを使用しているときに、映像、音声にノイズが入る	■ 本機からの電磁波による影響です。影響をうけなくなるまでビデオデッキを離してご使用ください。(本機から最低40cm以上離してください)

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

Q 症　状	A 原因と対処（参照ページ）
●雪が降っているような画面になる（スノーノイズ）・雑音が出る	■ アンテナは正しく接続されていますか。 ■ 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ■ アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
●画面にはん点が出る・雑音が出る（妨害）	■ ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
●画面にしま模様が出る・雑音が出る（混信）	■ 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなときは故障ではありません

- ディスプレイパネルに手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはディスプレイパネルが静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- ディスプレイパネルやレシーバーの天面や背面の一部は温度が高くなっておりますが、品質、性能には異常はありません。
- 部屋の温度変化により、本機から「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- ディスプレイの内部から機械音がしますが、放熱ファンの回転による風切り音です。本機には、動作中の内部温度の上昇を防ぐため、放熱ファンが内蔵されています。(PD-42DT3)
- ディスプレイパネルの内部から駆動音が聞こえる場合がありますが、画面や音声に異常がなければ心配ありません。

※ 本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

こんなメッセージが出たら

メッセージ	原　因
■ ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	●画面サイズがノーマル(4:3)のときに、「画面位置の調節」項を決定したとき。
■ CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	●CATVチャンネルの設定でCATV選局方式が「12ボタン方式」のとき。
■ ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。	●ビデオ2入力モードのときに、「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を決定したとき。
■ BS放送にしてから、この設定を選んでください。	●ＢＳ以外の入力モードのときに、「TV/独立」、「BSジャック」、「BSアンテナの入力レベル表示」、「BSアンテナへの電源供給設定」を操作/決定したとき。
■ BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。	●BSジャックが「入り(BS固定)」になっているときに、BSチャンネルや音声を切り換えたとき。 またはメニューでBS関連の項目を操作しようとしたとき。
■ BSアンテナに不具合があります。 BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。	●BSアンテナ電源がショートしているとき。
■ マルチ画面のとき、この操作はできません。	●2画面、裏番組、番組一覧モードのときに、ナチュラルシネマ、画面サイズを操作したとき。 または、2画面の右側に対して音声切換ボタンを押したとき。
■ 静止画中のため、この操作はできません。	●静止画のときに、操作画面を選択したとき。
■ BS放送を2つ以上出すことはできません。	●2画面の両方でBS放送を見ようとしたとき。
■ 無信号のためまもなく電源が切れます。	●無信号電源オートオフが働く3分前のとき。(無信号でなくなるまでメッセージは消えません。)
■ 無操作のためまもなく電源が切れます。 続けて見る場合は音量ボタンを押してください。	●何も操作しない状態が3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能により、電源が切れる3分前のとき。(何かのボタンが押されるか電源が切れるまで、メッセージは消えません。)
■ BSチャンネルを固定しました。	●「BSジャック」を「入り(BS固定)」にしたとき。
■ 設定時刻になりますのでまもなく電源が切れます。 続けて見る場合は音量ボタンを押してください。	●深夜電源オートオフの設定時刻の3分前になったとき。

メッセージ	原　因
■ 時計が設定されていませんので、使えません。メニューの初期設定で時計合わせをしてください。	●時計が設定されていないときに、おはようタイマーを設定しようとしたとき。
■ Bモード音声中です。	●BS(アナログ)放送受信中に「TV/独立」を操作したとき。
■ デコーダーで設定してください。	●WOWOWの音声切換をしたとき。
■ 現在のモードではこの操作はできません。	●ビデオ入力モードのときに音声切換をしようとしたときなど。 ●525p、750pを見ているときにナチュラルシネマを「入り」にしたとき。 ●ビデオ入力モードのときにモノラルサウンドを設定しようとしたとき。
■ 映画に最適な映像設定にしました。	●映画モードを「入り」にしたとき。
■ 映画モードが解除されました。	●映画モードを「切り」にしたとき。
■ 表示できないモードです。	●D端子から525i、525p、1125i、750p以外の信号が入っているとき。
■ どこでもズーム機能をデモしています。拡大したいところに枠を合わせます。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	●「どこでもズーム」の自己紹介(機能説明)中のとき。
■ デジタルE.E.機能をデモしています。リモコン受光部に手を当てると効果がわかります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	●「デジタルE.E.」の自己紹介(機能説明)中のとき。
■ 自己紹介(機能説明)を中止しました。	●自己紹介(機能説明)を終了したとき。
■ おはようタイマー設定時刻になりました。	●おはようタイマーの設定時刻になったとき(電源が入ったとき)。
■ D4入力に端子が接続されていません。	●BSデジタルチューナー:D4映像入力端子に機器が接続されていないときに、BSデジタルボタンを押したとき。
■ ヘッドホン音声に対してこの操作はできません。	●ヘッドホン使用時に、リモコンのサラウンドボタンを押したとき ●ヘッドホン使用時に、「音声調節」の「ＢＢＥ」、「高音」、「低音」、「左右バランス」、および「重低音」を変えようとしたとき
■ サラウンド動作時はこの操作はできません。	●サラウンド機能が動作しているときに、「音声調節」の「左右バランス」を変えようとしたとき。

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思うまえに」(83～87ページ) にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	ビクタープラズマシステム
型　　名	PD-42DT3 または PD-35DT3
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電 話 番 号	(　　　)　　－
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　　　(　　　)　　－

ビクター製品のアフターサービスはお買いあげの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭　川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北　見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧　路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯　広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函　館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4番16号 函館五稜郭MFビル
東北				
青森	青　森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八　戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘　前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛　岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水　沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋　田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大　館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横　手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石　巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山　形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒　田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡　山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44 ハイツシンフォニー101号
	福　島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
関信越				
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新　潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長　岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上　越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長　野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松　本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2丁目4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前　橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【サービス関連すべて】のご相談			
	土　浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水　戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	甲　府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	千　葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏　S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦　安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	本　郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練　馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大　田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大　宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊　谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石田B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	横　浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川　崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
	平　塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静　岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62番31号 (中田ビル1階)
	沼　津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜　松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町 丸之坪鴨田121-1
	三　河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙三丁目10-12
	豊　橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐　阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三　重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津　S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富　山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金　沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福　井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋　賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	京　都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
近畿				
京都北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	奈　良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺　S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田　辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	神　戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫　路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福　山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山　口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳　山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下　関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高　松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳　島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高　知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松　山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福　岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長　崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大　分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊　本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮　崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延　岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売（株）サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

0801

用語解説

エー
Aモード音声
BS放送(アナログ)で送信される音声種類の一つ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

ビー
Bモード音声
BS放送(アナログ)で送信される音声の種類のひとつ。音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

ビーエス ブロードキャスト サテライト
BS(Broadcast Satellite)
衛星放送のことです。BS-4先発機から従来のBSアナログ放送が、BS-4後発機からBSデジタル放送が送られています。

ビーエス
BSデコーダー
BS有料放送(JSB、St.GIGA)のスクランブルを解除する機器。

ビーエス
BSデジタルチューナー
BSデジタル放送を見るときに接続する機器。

シーエーティーブイ
CATV(ケーブルテレビ)
ケーブル(有線)テレビ放送のことです。
放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することにより、放送を受信することができます。

ディー
D映像端子
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。
本機(D4)ではハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(750p、525p)・従来の信号(525i)が扱えます。
対応信号は下記の通りです。

	映像信号フォーマット			
対応する映像出力	1125i	750p	525p	525i
D4	○	○	○	○
D3	○	—	○	○
D2	—	—	○	○
D1	—	—	—	○

ディーイーティー デジタル エモーショナル テクノロジー
DET(Digital Emotional Technology)
地上波放送からBSデジタル放送のD4信号フォーマット(525i/525p/1125i/750p)まで、さまざまな映像入力を表示デバイスにあわせた緻密な画像に映す高画質化技術。

エス
S映像信号
映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

エス
S1映像信号
S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。

ブイジーエー ビデオ グラフィクス アレイ
VGA (Video Graphics Array)
ビデオカードの基準で、640×480ドットの解像度を持つ表示モードを指します。

エックスジーエー エクステンディッド グラフィクス アレイ
XGA (Extended Graphics Array)
最大1024×768ドットの高解像度表示が可能なビデオカードです。

525i/525p/1125i/750p
放送される映像信号の走査線数と映像方式を表した呼称。本機は、525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。
1125i: 走査線数1125本
インターレース映像方式
525p: 走査線数525本
プログレッシブ映像方式
525i: 走査線数525本
インターレース映像方式
750p: 走査線数750本
プログレッシブ映像方式

インターレース
従来の映像方式。半分の走査線を交互に表示することによって映像を再現します。

コンポーネント映像端子
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成要素)に分離して伝送する接続方法です。
コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントコード)を用います。
通常の映像端子に比べ、色のキレがよく、ちらつきのない画質が得られます。

イーイー
デジタルE.E.
Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+Electronic Eye(電子の目)
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

デジタルピュア
高画質を実現する「受信チューナー・映像を処理するデジタル回路・ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

独立音声
テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

ハイビジョン
画面サイズが16:9で、走査線数1125本の高精細映像方式。

プラズマディスプレイ
ガス放電による蛍光体発色を利用したディスプレイ。ブラウン管よりも薄くて軽い、液晶よりも見やすいといった特長があります。

プログレッシブ(750p、525p)
一度にすべての走査線で表示(インターレースではその半分)しているため、従来より高精細な映像方式。本機はDETを使い、さらに最適化しています。

ワイドクリアビジョン放送
画面の横縦比16:9の放送。画面サイズが16:9のテレビでは信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。(画面サイズが4:3のテレビで見ると画面の上下に帯が出ます。)

索　引

アルファベット／数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

主な仕様

項目		PD-42DT3	PD-35DT3
種類		プラズマシステム	
受信方式		NTSC（VHF/UHF/CATV/BSアナログ）	
受信チャンネル		VHF 1～12/UHF 13～ 62/CATV C13～C38/BS1、3、5、7、9、11、13、15	
使用電源		AC100V、50Hz/60Hz	
消費電力	ディスプレイ	364W 待機時　0.55W	228W 待機時　0.58W
	レシーバー	49W 待機時　0.93W BSジャック待機時　16.7W （BSコンバーター最大4Wを除く）	49W 待機時　0.93W BSジャック待機時　16.7W （BSコンバーター最大4Wを除く）
画面寸法（幅X高さX対角）		92.1 cm x 51.8 cm x 105.7 cm	78.6 cm x 44.2 cm x 90.2 cm
表示画素数		水　平　：1024 垂　直　：768	水　平　：853 垂　直　：480
音声出力		5W＋5W＋18W	
スピーカー	フロントスピーカー	9.5 cm x 1 cmダイレクトドライブスピーカー、2個	
	サブウーハー（重低音用）	16 cmコーンスピーカー、1個	
アンテナ端子		VHF/UHF　：75Ω、F型 BS　：75Ω、F型(BSコンバーター用電源 DC15V 4W 重畳)	
入力・出力端子	ビデオ1、ビデオ2(BSデコーダー)、ビデオ３(DVD)、ビデオ４入力端子	S1映像(S映像)　：Y　1V(p-p)、75Ω、同期負 C　0.286V(p-p)（バースト信号）、75Ω 映　像　：1V(p-p)、75Ω、同期負 音　声　：0.5V(rms)、ハイインピーダンス	
	D4映像入力（ビデオ1/D-VHS、BSデジタルチューナー）端子	映　像　：D端子（D4） 音声(BSデジタルチューナー用)：0.5V(rms)、ハイインピーダンス	
	コンポーネント入力端子	（1125i） Y　：1V(p-p)、75Ω±20% （同期信号分 ±0.35V(p-p)、3値同期） P_B、P_R　：±0.35V(p-p)、75Ω±20% （750p/525p/525i） Y　：1V(p-p)、75Ω±20%、負同期 C_B、C_R　：0.7V(p-p)、75Ω±20%	
	モニター／BS出力端子	映　像　：1V(p-p)、75Ω、同期負 音　声　：0.5V(rms)、ローインピーダンス	
	オーディオ出力（固定）端子	音　声　：0.5V(rms)、ローインピーダンス	
	BSデコーダー接続端子	ビットストリーム出力端子：0.5V(p-p)、75Ω 検波出力端子　：0.67V(p-p)、75Ω	
	ヘッドホン端子	直径 3.5 mm、ステレオミニジャック	
	AVコンピュリンクIII端子	直径 3.5 mm、ミニジャック	

項目＼型名		PD-42DT3	PD-35DT3
最大外形寸法 (幅x高さx奥行)	ディスプレイ	103.5 cm x 64 cm x 8.9 cm (フロントスピーカー取付時 113 cm x 64 cm x 8.9cm)	88.7 cm x 54.5 cm x 9.9 cm (フロントスピーカー取付時 97.8 cm x 54.5 cm x 9.9 cm)
	レシーバー	43.5 cm x 9.9 cm x 38.2 cm	43.5 cm x 9.9 cm x 38.2 cm
	フロントスピーカー	4.25 cm x 63.9 cm x 4.25 cm	4.25 cm x 54.5 cm x 4.25 cm
	サブウーハー	43.5 cm x 23 cm x 12.6 cm	43.5 cm x 23 cm x 12.6 cm
質量(重さ)	ディスプレイ	32.5 kg (フロントスピーカー取付時 34.8 kg)	26.5 kg (フロントスピーカー取付時 28.3 kg)
	レシーバー	5.2 kg	5.2 kg
	フロントスピーカー	0.675 kg(1本、取付金具を除く)	0.602 kg(1本、取付金具を除く)
	サブウーハー	3.7 kg	3.7 kg
付属品		19ページ参照	
別売品		フロアスタンド : RK-C3542FT3 テーブルトップスタンド : RK-C3542TS3 スピーカースタンド : TS-42SS1 アンテナ混合器 : VZ-84	

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※ テレビの型(42V型、35V型など)は画面寸法を表すものではなく、ディスプレイの外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※ 本機は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

PD-42DT3/PD-35DT3　取扱説明書

ご相談や修理は

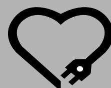
ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
90～91ページをご覧ください。	**東京** 電話　(03) 5684－9311 ファクス　(03) 5684－9317 〒113-0033　東京都文京区本郷３丁目14-7　ビクター本郷ビル
	大阪 電話　(06) 6765－4161 ファクス　(06) 6765－4891 〒543-0028　大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

愛情点検　**●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！**

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

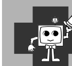


このような症状はありませんか
- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を中止
故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）453-2057

0502-H-MW-VP